

## 地域アクションプランの 上半期の進捗状況等

---

・安芸地域	.....	1
・物部川地域	.....	21
・高知市地域	.....	53
・嶺北地域	.....	67
・仁淀川地域	.....	81
・高幡地域	.....	113
・幡多地域	.....	137



## 安芸地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 1 4  
安 芸 地 域 本 部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全項目（31項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取組と歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取組を推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップや青果の生産拡大に向けた取組として、防除指導や栽培指導等の勉強会を順次開催しているほか、JA土佐あきにおいては、新植・改植を行うための園地台帳の作成を実施している。販路開拓等の取組では、海外への青果の輸出について昨年を上回る目標を設定したほか、県外の集客施設等での青玉ユズの消費宣伝などを行っている。

また、農産物の付加価値向上に向けて道の駅などで加工品の開発などの取組を進めている。

林業分野では、土佐備長炭の後継者の育成のため、研修生の受け入れを行うとともに地域の製炭事業者による炭窯増設への取組も始まっている。また、林業事務所等においてはウバメガシ、カシ類等の原木林の更新調査を継続し、原木の地域内再生産による生産コストの縮減や原木不足の対策への取組を進めている。

水産業分野では、定置網漁業漁獲物への高鮮度処理や近海マグロの加工品開発に向けた生産者協議を行うなど、付加価値向上と販路拡大の取組を進めている。

観光分野では、「志国高知 幕末維新博」第2幕開催下で、歴史的観光資源の磨き上げと周辺施設との連携が一層図られ、地域会場・関連イベント等への集客に繋がっている。また、室戸市に新たに整備された「むろと廃校水族館」が、県内外のメディアで紹介されるなどの注目を集め、来場者が開館4ヶ月足らずで年間目標の4万人を超えるなど好調であり、周辺の観光施設、商業施設にも集客・売上での相乗効果が見られる。昨年度、日本遺産に認定された中芸地区森林鉄道遺産については、今年度に立ち上がった事務局体制の下、関係機関と連携した旅行商品の造成作業や、誘客促進に向けた県内外の旅行博覧会等での情報発信が積極的に行われている。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JA 土佐あき</li> <li>・ JA 馬路村</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>(JA 土佐あき)</p> <p>○青果出荷受入量(1～12月)</p> <p style="padding-left: 20px;">H26実績：449t→H29目標：400t（実績：343t）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：450t→H31目標：500 t</p> <p>○加工仕向量(1～12月)</p> <p style="padding-left: 20px;">H26実績：4,489t→H29目標：4,800t（実績：4,142t）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：5,000t→H31目標：5,000t</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(JA 馬路村)</p> <p>○加工品販売額 (1～12月)</p> <p>H26実績：32億円→H29目標：32億円 (実績：28.6億円)</p> <p>→H30目標：30億円→H31目標：36億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>(JA 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1月～6月末)：11.3億円</p> <p>(前年同期比101%)</p> <p>○新植・改植の推進 (青果の生産拡大と品質向上) (JA 土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培講習での防除指導 (14回)</li> <li>・産地の状況把握に園地台帳作成中 (JA 土佐あき)</li> </ul> <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工原料の品質ワンランクアップ (JA 土佐あき)</li> <li>(勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催：14回)</li> <li>・青玉ユズの消費宣伝 (JA 土佐あき)</li> <li>(石川8/3～8/4、東京8/23～8/24)</li> <li>・青果ユズ輸出目標を10 t に設定 (JA 土佐あき)</li> </ul> <p>○加工品の販売強化</p> <p>⇒消費者ニーズに対応するための加工品製造施設(ユズ コショウ製造施設)の整備 (JA 馬路村)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果実の品質向上と安定供給、販売強化</li> <li>⇒新植・改植の推進などの取組を着実に継続</li> <li>・加工品の販売強化</li> <li>⇒リスティング広告や首都圏の催事でのPRを検討</li> </ul> <p>(JA 馬路村)</p>
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保 による地域振興 (東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンカン生産者</li> <li>・甲浦の果樹仲間</li> <li>・東洋町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○商品数 (累計)</p> <p>H26実績：2アイテム</p> <p>→H29目標：4アイテム (実績：14アイテム)</p> <p>→H30目標：4アイテム→H31目標：4アイテム</p> <p>○既存商品の販売数 (1～12月)</p> <p>H26実績：3,584本→H29目標：4,000本 (実績：3,115本)</p> <p>→H30目標：4,500本→H31目標：5,000本</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>商品数 (7月末)：12アイテム (累計)</p> <p>既存商品の販売数 (1～7月)：2,972本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の駅マルシェへの出店 (4/26)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県産品商談会への参加 (5/29)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げ向上を目指した商品の磨き上げや新商品の開発 ⇒専門家の活用によるパッケージの改良や菓子類等の新商品開発</li> <li>・新商品の販売先の拡大 ⇒商談会等への出展によるPRの強化</li> </ul>
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市木炭振興会</li> <li>・土佐備長炭室戸生産組合</li> <li>・土佐備長炭生産組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○出荷量 H26実績：1,076t→H29目標：1,360t ※H29実績の把握はH31.1予定 →H30目標：1,460t→H31目標：1,580t</p> <p>○新規就労者数 (H28～31累計) H24～H27実績：11人 →H29目標：12人 (実績：8人) →H30目標：19人→H31目標：26人</p> <p>○製炭窯設置 (H28～30累計) H24～26増設7基→H29目標：10基 (実績：5基) →H30目標：15基→H31目標：21基</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>新規就労者数 (7月末)：13人 (累計) 製炭窯設置 (9月末) 6基設置 (室戸市3基、東洋町3基)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭焼研修の実施、研修生募集 実施中：室戸市 2名 (30年生2名) 東洋町 4名 (29年生1名、30年生3名) 30年開始予定：室戸市 1名 東洋町 1名</li> <li>・製炭原木 (ウバメガシ) の更新試験の継続 試験地調査 (4/12、5/21、6/14) 7月にシカネットの障害により調査中断</li> <li>・市有林のウバメガシ人工造林地の保育事業採択決定 (7/10)</li> <li>・原木伐採のための作業道開設へ支援中</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採可能なウバメガシ原木林の減少とシカ被害の拡大 ⇒ウバメガシ等原木の地域内生産等による調達コストの縮減策の普及 ⇒ウバメガシ林 (室戸市有林) 2ha を公売 ⇒施業ロットの拡大等によるシカ被害対策の実施</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産拡大等支援策の検討 ⇒零細経営事業者への支援制度を検討</li> <li>・研修生の自立支援 ⇒既存支援制度の周知</li> <li>・生産者団体の組織強化 ⇒組織化の意向調査</li> </ul>
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エコアス馬路村</li> <li>・馬路林材加工協同組合</li> <li>・馬路村森林組合</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○木製品出荷額 H26実績：251,910千円 →H29目標：264,000千円(実績：190,047千円) →H30目標：270,000千円→H31目標：277,000千円</li> <li>○加工部門雇用者数 H26実績：27人→H29目標：27人(実績：22人) →H30目標：27人→H31目標：27人(現状維持)</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>木製品出荷額(6月末)：38,447千円(前年同期比98.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エコアス馬路村の木製名刺製造過程改善を林業・木材産業生産性向上PTで課題化。生産性向上のための機械開発を検討中</li> <li>・馬路林材加工協同組合の事業戦略づくりを支援 県の事業戦略策定支援事業に採択決定 (6/27、30年6月から最長3年間)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木製品の販売促進 ⇒消費者ニーズに合った木製品の販売強化</li> <li>・加工力の強化 ⇒馬路林材加工協同組合の事業戦略の作成(県事業) ⇒ツインソーの更新による加工力の強化</li> <li>・原木の安定供給策の検討 ⇒原木の村内調達の推進</li> <li>・公共土木工事等での木材利用の推進 ⇒木製工事用資材の利用拡大に向けた働きかけ</li> </ul>
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>[定置網漁獲物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市定置漁業振興協議会</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高鮮度処理魚の販売額 H26実績：0円→H29目標：2,000千円(実績：166千円) →H30目標：2,000千円→H31：目標20,000千円</li> <li>○簡易加工品の販売額 H26実績：0円→H29目標：300千円(実績0千円) →H30目標：300千円→H31目標：3,000千円</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中芸定置網漁業振興協議会 〔近海マグロ〕</li> <li>・土佐室戸鮪軍団</li> <li>・美阿丸 〔水産加工〕</li> <li>・(有) タカシン水産</li> </ul>	<p>○加工品販売額 ((有) タカシン水産室戸工場) H26実績 : 0.8億円 →H29目標 : 0.8億円 (実績97,985千円) →H30目標 : 1.0億円→H31目標 : 1.5億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>高鮮度処理魚の販売額 (6月末) : 0円 簡易加工品の販売額 (6月末) : 0円 加工品販売額 ((有)タカシン水産室戸工場) (6月末) : 30,559千円 (前年同期比114%)</p> <p>○高鮮度処理の取組 (室戸市定置協及び中芸定置協)</p> <p>&lt;高鮮度処理魚の増産&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定置網漁業者等への技術指導5回 (室戸1回、中芸4回)</li> </ul> <p>&lt;高鮮度処理魚の販路拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規参入した産地買受人との事業協議 (2回) ⇒室戸地域での買い付け業務を開始 (4月～)</li> <li>・新規参入を希望する買受人へ漁獲情報を提供 (2社)</li> </ul> <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化に向け加工体制、販路開拓など協議 (4回)</li> </ul> <p>○加工品販売の取組 ((有) タカシン水産室戸工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理体制、施設改修に係る協議 (2回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○高鮮度処理の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働力の確保 ⇒従業員確保対策など</li> <li>・高鮮度処理魚の生産体制の見直し ⇒漁業者の作業負担を軽減するため活魚の増産促進 ⇒高鮮度処理技術や活魚及び高鮮度処理魚の販路を有する産地買受人を誘致 ⇒漁業者と産地買受人の連携による高鮮度処理魚の生産体制を構築</li> </ul> <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工体制の構築、販路の確保 ⇒加工施設の決定、衛生管理 ⇒試作品製造、サンプル出荷を通じた販路開拓</li> </ul> <p>○加工品の取組 ((有) タカシン水産室戸工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理者の育成 ⇒HACCP 講習会への参加を通じた育成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市</li> <li>・協同キラメッセ室戸(有)</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：308,334千円</li> <li>→H29目標：365,000千円(実績382,686千円)</li> <li>→H30目標：382,686千円→H31目標：370,000千円</li> </ul> </li> <li>○来場者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：230,887人</li> <li>→H29目標：260,000人(実績254,754人)</li> <li>H30目標：260,000人→H31目標：260,000人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高(6月末)：123,561千円(前年同期比：93%)  来場者数(6月末)：85,222人(前年同期比：98%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業複合経営拠点の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協同キラメッセ室戸(有)、市、県の三者協議の開催(4/27、5/29、6/14)</li> <li>・庭先集荷の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>職員2名体制、週2回実施(火：中川内、金：西地地区)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○店舗での販売拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発・販売促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>[きゃらぶき(販売：5/16～)・きらきらピクルス(販売：5/26～)]</li> <li>高知県工業技術センターで消費期限検査(5/17)</li> <li>コロッケOEM交渉中(高知市内の食品製造事業者)</li> <li>ジオラーめん開発(レストランでの提供：7/28～)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場の生鮮品不足や農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒葉物野菜等の実証栽培試験の実施</li> <li>⇒庭先集荷の集荷先の開拓</li> </ul> </li> <li>・特産品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒通販サイトのバージョンアップ</li> <li>⇒「まちからむらから館(東京)」への販売など外商活動の強化</li> </ul> </li> <li>・売り場の改修 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒アドバイザーによる売り場の改善指導を受け、今年度中に直販市を改修予定</li> </ul> </li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸本町商店街振興組合</li> <li>・安芸商工会議所</li> <li>・安芸市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空き店舗等を活用した新規開業 H28実績：―→H29目標：1件(実績：0件) →H30目標：1件→H31目標：3件(H29～31累計)</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の活性化への取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりコミュニティの取組 商店街の活性化にむけ、所有者から利用提案があった空き店舗を地域の集いの場、実践の場として活用 検討会の実施(4/16、5/14、7/12) 集客イベントの開催(4/23、6/7、7/29)</li> </ul> </li> <li>○全国「商い甲子園」大会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・さんしんGO!「商い甲子園」(RKC、8/5放送)</li> <li>・全国「商い甲子園」大会開催(8/18)12校17チーム</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりコミュニティの持続的な運営 ⇒活動の担い手確保 集落支援員活用を検討 商店街活性化にむけた計画づくり</li> </ul>
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋町</li> <li>・東洋町観光振興協会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26実績：141,938千円 →H29目標：168,990千円(実績167,576千円) →H30目標：168,990千円→H31目標：168,990千円</li> <li>○来場者数 H26実績：157,790人 →H29目標：180,000人(実績178,883人) →H30目標：180,000人→H31目標：180,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高(7月末)：58,628千円(前年同期比93.5%) 来場者数(7月末)：62,889人(前年同期比94.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランメニューの刷新、弁当の販売開始(4/1～)</li> <li>・海の駅マルシェの開催(4/26)</li> <li>・教育旅行の受入(2校)(修学旅行生への土産物の販売)</li> <li>・町内イベントへの出店(6/2)</li> <li>・大阪府でのPR活動(3回)</li> <li>・直販市活性化セミナー受講及びアドバイザーによる現地指導(6/6、7/10)</li> <li>・野菜売場のレイアウト変更(6/25)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の狭溢対策 ⇒増設や改修に向けてアドバイザーを活用し、関係者間で協議</li> <li>・特産品の開発と販路拡大 ⇒地域食材を活用した新たな加工品開発・生産のための施設整備の検討</li> </ul>
<p>■No. 13 有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株) 熊谷ファーム</li> <li>・(株) マルキョウ</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26実績：—→H29目標：13,500千円（実績：612千円） H30目標：16,500千円→H31目標：20,000千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（7月末見込）：290千円（前年同期比218%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち農商工連携基金を活用したパンフレット等の配布</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットフードの新商品開発と販路拡大 ⇒ペットフード部門への人材の投入 ⇒商談会等への出展による販路拡大 ⇒加工体制強化の検討</li> </ul>
<p>■No. 14 地域食材を活かした奈半利町の特産品の開発及び販路拡大（奈半利町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈半利町</li> <li>・JA 土佐あき</li> <li>・奈半利なんでも市加工グループ</li> <li>・(一社) なはりの郷</li> <li>・NCL48</li> <li>・漁協女性グループ</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○JA 加工施設（奈半利味噌）の売上高 H26実績：5,140千円 →H29目標：9,176千円（実績：7,038千円） →H30目標：7,953千円→H31目標：9,120千円</li> <li>○農水産加工施設の売上高 H26実績：0円 →H29目標11,297千円（実績：19,634千円） →H30目標：19,303千円→H31目標：9,000千円</li> <li>○水産加工施設の売上高 H26実績：3,220千円 →H29目標：17,227千円（実績：38,575千円） →H30目標：36,773千円→H31目標：12,000千円</li> <li>○集出荷センター取扱高 H27.7月～H28.6月実績：2億円 →H29目標：2.5億円（実績：25.8億円） →H30目標：8億円→H31目標：12億円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>JA 加工施設（奈半利味噌）の売上高（6月末） ：1,595千円（前年同期比90%）</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>農水産加工施設の売上高(6月末) : 6,468千円(前年同期比137%)</p> <p>水産加工施設の売上高(5月末) : 6,634千円(前年同期比100%)</p> <p>集出荷センター取扱高(7月末): 1.4億円 (前年同期比233%)</p> <p>○JA加工施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品・販売促進について関係機関と協議(5回)</li> </ul> <p>○農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工グループ、各関係機関と協議(20回)</li> <li>・奈半利観光フェスでの出店(5/20)</li> </ul> <p>○水産加工施設(加領郷魚舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工グループ、関係機関との協議(10回)</li> <li>・新商品を開発中(缶詰・干物串)</li> <li>・食1グランプリ出店(3/31~4/1) 「金目鯛の炙り丼」第9位受賞</li> <li>・おさかなまつりへ出店(5/20)</li> </ul> <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度理事会の開催(2回)</li> </ul> <p>○一次産業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業作業受託状況(7月末): 畦塗り18件/耕起7件/田植11件/畝立2件/代かき1件</li> <li>・オペレーター登録者(7月末): 21名</li> <li>・農畜産物集出荷センター稼働(4月~)</li> <li>・不耕作地解消事業 ジャガイモ、タマネギ、キュウリの栽培・出荷 米の作付(H30.2~)、イチジクの作付(H30.3~)</li> <li>・施設園芸 レンタルハウスにてナスの栽培・出荷</li> </ul> <p>○観光部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なはりの郷活性化協議会観光部会の開催(3回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工施設の人材確保 ⇒移住促進・人材確保センター、関係機関との連携</li> <li>・販路拡大のための販売体制の強化 ⇒新商品の開発や積極的な商談会参加による販路拡大</li> <li>・集落活動センターによる観光振興 ⇒集活センター・観光施設の案内看板設置や海浜センターパンフレットの作成、「夜の街歩き」宣伝物の作成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田野町</li> <li>・民間事業者</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験受入回数 H25実績：24回→H29目標：26回(実績：25回) →H30目標：27回→H31目標：28回</li> <li>○受入人数 H25実績：計1,186人(体験：226人、見学：960人) →H29目標：計1,305人(体験：249人、見学1,056人) (実績計141人(体験：59人、見学：82人)) ※体験施設はH29.10～H30.5末まで休館 →H30目標：計1,364人(体験：260人、見学：1,104人) →H31目標：計1,423人(体験：271人、見学：1,152人)</li> <li>○塩関連での就業者数(累計) H26実績：2人→H29目標：2人(実績：2人) →H30目標：2人→H31目標：10人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>体験受入回数(6月末)：6回(前年同期比42%) 受入人数(6月末)：計54人(前年同期比56%) (体験：27人、見学：27人)</p> <p>※製塩体験施設は6/1より再開のため、4～5月実績なし 塩関連での就業者数：2名(累計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採かんタワーの整備 産振総合補助金(担い手確保事業)を活用 (2/6着工 5/31完成)</li> <li>・製塩体験施設スタッフの受入(2名：5月及び8月)</li> <li>・地域おこし協力隊(製塩研修生)募集のため、移住フェア参加(6月)</li> <li>・塩職人希望者(1名)の研修受入(8/12～13)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○産業振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生の自立支援 ⇒生産用レンタルハウス2棟整備(H30中)</li> <li>・町と関係者間での連携体制の強化 ⇒研修者の受入れ、育成 独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 にがり活用の検討 ⇒地域おこし協力隊(製塩研修生)の募集 製塩研修施設をメディア媒体でPR 研修施設・体験施設のパフレット作成</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客のためのPR(体験施設)</li> <li>⇒田野町内での周遊を促進する取組(パンフレット作成)による集客力のアップ</li> <li>⇒町HP等で情報発信</li> </ul>
<p>■No.16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田野町</li> <li>・道の駅指定管理者</li> <li>・加工施設指定管理者</li> <li>・生産者組織</li> <li>・地域団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高(1~12月)</p> <p>H26実績:258,729千円</p> <p>→H29目標:360,000千円(実績367,094千円)</p> <p>→H30目標:380,000千円→H31目標:400,000千円</p> <p>○入込数(1~12月)</p> <p>H26実績:221千人→H29目標:244千人(実績274千人)</p> <p>→H30目標:255千人→H31目標:265千人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高(1~6月):186,838千円(前年同期比110%)</p> <p>入込数(1~6月):138千人(前年同期比100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町、道の駅指定管理者(田野駅屋連)及び地域本部による情報共有会議の開催(月1回開催)</li> <li>・外商の拡大に向け、外商公社へ田野駅屋野菜情報の提供(月1回)</li> <li>・新メニューの販売(そば、ラーメン、うどんとカレーを組み合わせたメニュー)(3/26~)</li> <li>・ユージおすすめ田野お土産BOX販売開始(4/26~)</li> <li>・中芸高校生オリジナルレシピ「田野学館弁当(420円)」販売開始(4/7~)(土日限定)</li> <li>・四国・高知「道の駅」スタンプラリー2018開始(4/28~10/31)</li> <li>・GW臨時観光案内の実施(4/28~5/6)</li> <li>・田野駅屋15周年記念ビアガーデン開催(7/14)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる集客アップに向けた戦略づくり</li> <li>⇒ブランド化や販売増を目指した体制強化の検討</li> <li>・直販・飲食機能の強化</li> <li>⇒冷蔵庫等の設備整備及び施設・駐車場の拡張の検討</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 17 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化（芸西村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸西村</li> <li>・ (有) かっぱ市</li> <li>・ 生産者グループ</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：135,000千円</li> <li>→H29目標：165,000千円（実績：147,440千円）</li> <li>→H30目標：165,000千円→H31目標：200,000千円</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>売上高（7月末）：47,510千円（前年同期比94.9%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新商品の販売に係る進捗管理、販路開拓等について関係者協議（3回）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上高の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒集落活動センターげいせいと連携した新商品の開発・販売（花卉・白玉糖など村特産品の活用を検討）</li> <li>⇒販売戦略の策定等についてアドバイザーを活用</li> </ul> </li> <li>・ 製糖体験メニューの磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 18 安芸地域の観光振興の推進（安芸地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (一社) 高知県東部観光協議会</li> <li>・ 安芸広域市町村圏事務組合</li> <li>・ 市町村</li> <li>・ 観光協会等</li> <li>・ 地域団体</li> <li>・ 民間事業者</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)（1～12月） <ul style="list-style-type: none"> <li>H27実績：2,401,821人</li> <li>→H29目標：2,468,500人（実績：2,330,806人）</li> <li>→H30目標：2,549,000人→H31目標：2,606,000人</li> </ul> </li> <li>○圏内宿泊者数（1～12月） <ul style="list-style-type: none"> <li>H27実績：138,229人</li> <li>→H29目標：143,000人（実績：137,636人）</li> <li>→H30目標：146,000人→H31目標：150,000人</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>圏内主要施設訪問者数（1～6月末）：1,091,447人 （前年同期比103.2%）</p> <p>圏内宿泊者数（1～6月末）：109,197人 （前年同期比119.5%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民泊登録世帯（7月末）：207世帯（H29:161世帯）</li> <li>・ 教育旅行の受入れ：中学校5校（H29：5校）</li> </ul> <p>○観光の基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光クラスター会議（4回）</li> </ul> <p>○日本版DMOの形成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光戦略策定のための検討会の実施（1回）</li> </ul> <p>○広報・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行会社等へのセールス活動（21日）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域観光パンフレット製作ワーキングの実施 (2回)</li> <li>・ P R コマーシャルの作成・放映 (8月上旬～)</li> <li>○ 旅行商品の造成・販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土佐の観光創生塾 (応用編) 開催 (2回)</li> <li>・ 日本遺産関連の旅行商品化 ツアー商品・体験メニューの造成作業中</li> <li>・ 旅行 A G の旅行商品の造成等への助成・支援 (1件)</li> </ul> </li> <li>○ イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こうち春花まつり」へのブース出展 (高知市・5/3～5) → 東部観光 P R の実施</li> <li>・ 「ツーリズム EXPO ジャパン」(東京都・9/20～23)へのブース出展予定</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育旅行における受入施設・メニューの不足 ⇒ 団体客の受入のため、既存施設・体験メニューの磨き上げ並びに新規体験メニューの造成に取り組む</li> <li>・ 教育旅行における民泊登録世帯の不足 ⇒ 各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、さらなる掘り起こしを実施</li> <li>・ ポスト維新博に向けた各体験プログラム並びに観光施設の磨き上げや周遊プランの造成 ⇒ 土佐の観光創生塾等を活用し、地域素材の磨き上げや事業者の観光スキルの向上を図る</li> </ul>
<p>■ No. 19 日本遺産を活用した中芸地域の活性化 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奈半利町</li> <li>・ 田野町</li> <li>・ 安田町</li> <li>・ 北川村</li> <li>・ 馬路村</li> <li>・ 中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会</li> <li>・ 中芸のゆずと森林鉄道日本遺産推進協議会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ツアー等による林鉄ガイド実績 H26実績：846人 → H29目標：1,300人 (実績：785人) → H30目標：1,300人 → H31目標：1,500人</li> <li>○ 拠点施設年間来館者数 ※H31整備予定 H26実績：— → H29目標：— → H30目標：— → H31目標：1,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績 (6月末)：211人 (前年同期比191.8%)</p> <p>拠点施設年間来館者数：—人 (拠点施設未整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本遺産協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会総会の開催 (5/19)</li> </ul> </li> <li>○ 情報発信及び P R <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本遺産の H P 及びフェイスブックを開設 (4/16)</li> <li>・ 中芸りんてつライブ2018の開催 (4/22) 来客数：250人</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県庁ロビーにて中芸のゆずと森林鉄道のジオラマ及びパンフレットを展示 (4/23～4/30)</li> <li>・ ゴールデンウィーク臨時観光案内所でのパンフレット配布 (4/28～5/6)</li> <li>○ イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の魅力発信イベント「ゆず FeS」の開催 (9/22～11/11予定・全22プログラム) 集客予定400人</li> </ul> </li> <li>○ 保存及び活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用推進委員会を開催 (5/2、6/4、8/21)</li> <li>・ 中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会定期総会を開催 (5/26)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業推進体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 住民・民間団体との連携強化、5町村関連部局との情報共有・協力体制の強化</li> </ul> </li> <li>・ 訴求力のあるイベント企画、旅行商品の開発、情報発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 地域内観光施設間の連携強化</li> <li>⇒ 体験プログラムの造成</li> <li>⇒ 案内ガイドの育成</li> <li>⇒ 旅行雑誌等への掲載、HPの多言語化など情報発信力の強化</li> </ul> </li> <li>・ 日本遺産拠点施設（ビジターセンター）の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 拠点施設の整備計画の策定</li> </ul> </li> <li>・ 補助事業終了後の自走に向けた仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 補助期間終了後の持続的な運営に向けた戦略立案の策定</li> </ul> </li> </ul>
<p>■ No. 20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室戸市</li> <li>・ 室戸ジオパーク推進協議会</li> <li>・ 室戸市観光協会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ジオパークガイド利用者数 H26実績：7,869人→H29目標：8,000人（実績：7,115人） →H30目標：8,000人→H31目標：10,000人</li> <li>○ 室戸世界ジオパークセンター入館者数 H26実績：－（未整備） →H29目標：70,000人（実績：73,811人） →H30目標：70,000人→H31目標：70,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>ジオパークガイド利用者数（H30.4月～6月）：2,459人 (前年同期比116%)</p>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H30.4月～6月) : 23,002人 (前年同期比141%)</p> <p>○集客の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なイベントの開催 ジオパークにみる幕末維新博 (1/6～5/31) GWイベント (5/3～5/5) スマホ de クイズキャンペーン</li> <li>・県内宿泊施設との連携による新たな体験メニュー造成と誘客について協議 (6/15)</li> <li>・インバウンド等に対応した英語が堪能な人材 (国際交流員) を雇用(1名・8/1～)</li> </ul> <p>○ジオパークの磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸ジオパーク全体会議を開催 (5/31) 市民を中心に「学ぶ」「守る」「もてなす」「広める」「稼ぐ」などのテーマ別にジオパークを盛り上げる検討を実施</li> <li>・学研と連携した体験型プログラムの実施検討</li> <li>・体験プログラム・インストラクター養成講座実施中</li> </ul> <p>○日本ジオパーク再認定に向けた取組 (審査日程：8/2～8/5、審査結果：9月下旬予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規サイトへの案内板整備、現地審査対応</li> <li>・サイトの分類の見直し及び新たなサイトの設定 22サイト→78サイト</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規及びリピーター客の確保 ⇒魅力ある周遊コースの開発や磨き上げ、実施体制について検討 ⇒周辺施設等との連携強化 ⇒県内宿泊施設と連携した誘客の仕組みづくり ⇒PR・情報発信の強化</li> <li>・受け入れ体制の充実 ⇒ガイドの増員に向けた養成講座、ガイドのスキルアップ研修 ⇒教育旅行等に対応した民泊の推進</li> <li>・再認定への対応 ⇒来年の世界認定に向けた申請及び準備等</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大（室戸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</li> <li>・ 室戸黒潮協同組合</li> <li>・ (一社) うみ路</li> <li>・ 室戸市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○室戸ドルフィンセンター来場者数 H26実績：24,431人 →H29目標：30,000人（実績：20,446人） →H30目標：30,000人→H31目標：31,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数（6月末） ：6,455人（前年同期比113%）</p> <p>○NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インバウンド対策:社内英会話教室実施（月1回） 海外オンライン旅行会社登録</li> <li>・ 修学旅行受入（大阪の中学校:5月-3校・6月-2校）</li> <li>・ 市内・外イベント参加（むろとの日、マグロックフェス、東洋町マリンフェスティバル・高知市日曜市など）</li> <li>・ ダイビング客受入（6/16・6/17）</li> <li>・ 観光創生塾（応用編）参加</li> <li>・ 各種割引制度実施（雨の日割引・父の日割引など）</li> <li>・ むろと廃校水族館とのコラボ企画展開 共通割引券販売や両施設を利用した方への粗品提供など</li> </ul> <p>○室戸黒潮協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験) (2校142人)</li> </ul> <p>○うみ路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 城西館と連携した体験メニュー（スジアオノリ収穫）の検討（6/15）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集客（リピーター含む）の増加 ⇒近隣施設などと連携した新たなメニューづくり ⇒県内宿泊施設と連携した誘客の仕組みづくり</li> <li>・ 体験プログラム（カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験）等の情報発信強化 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者や東部観光協議会等と連携した広報を検討 ⇒海の駅とろむのHPを改修し、集客を推進</li> </ul>
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進（安芸市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安芸市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市内年間観光客数 H26実績：196,895人 →H29目標：300,000人（実績：281,920人） →H30目標：300,000人→H31目標：300,000人</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市観光協会</li> <li>・漁協</li> <li>・伊尾木あなごう保存会</li> <li>・内原野陶芸館</li> <li>・JA 土佐あき</li> <li>・安芸市観光ボランティアガイドの会</li> <li>・廓中ふるさと館</li> <li>・メリーガーデン</li> <li>・はたやま夢楽</li> <li>・安芸「釜あげちりめん井」楽会</li> <li>・道の駅大山</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（日本一のナス産地拡大プロジェクト）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内年間宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H22～26平均実績：22,721人</li> <li>→H29目標：25,000人（実績：25,331人）</li> <li>→H30目標：25,000人→H31目標：25,000人</li> </ul> </li> <li>○ちりめん井販売食数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：40,846食</li> <li>→H29目標：45,000食（実績：46,493食）</li> <li>→H30目標：50,000食→H31目標：50,000食</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内年間観光客数（1月～6月末）：113,929人</li> <li>市内年間宿泊者数（1月～6月末）：13,919人</li> <li>ちりめん井販売食数（4月～5月末）：8,463食</li> <li>○観光イベントの開催・参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐の食1グランプリ(3/31～4/1)</li> <li>・手づくり登り窯フェスタ(4/21～4/22)</li> <li>・あなごうまつり(5/4～5/5)</li> <li>・安芸市民納涼祭(8/4～8/5)</li> </ul> </li> <li>○観光資源の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸たび(安芸市観光ガイドブック) やぶらりマップの活用による観光客への情報発信</li> <li>・伊尾木洞への観光案内所等の整備 観光拠点等整備事業費補助金交付決定(6/6)</li> </ul> </li> <li>○体験プログラムの造成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「しらす漁見学と船釣り体験」を旅行企画として旅行会社向け企画冊子に提案</li> </ul> </li> <li>○岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩崎家ゆかりの4市区町による協議会が発足(5/16)</li> <li>・第2回協議会を実施(岩手県雫石町：8/6～7) 日本遺産認定に向けての打ち合わせ</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラム等の新たな造成と磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒内原野陶芸館に焼き上げ時間短縮のため、小型電気釜を整備予定</li> <li>⇒シラスやなす、土佐ジロー等の地域食材を活用した地域ブランド力の向上</li> </ul> </li> <li>・岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒日本遺産認定にむけた活動の継続とともに、今後の広域的な観光プランの造成につなげていく。</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋町</li> <li>・地元マリンスポーツ関係事業者</li> <li>・宿泊事業者</li> <li>・東洋町観光振興協会</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H27実績：→H29：1,000人(実績：444人)</li> <li>→H30目標：1,000人→H31目標：5,000人</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <p>体験者数(7月末)：190人(前年同期比77%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験メニューの充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪急交通社と連携した、田舎体験プログラムがメインのツアー実施(夏休み期間の親子向けツアー4組、8/3～4、21～22、8/25～27)</li> </ul> </li> <li>○イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の体験レジャーを中心とした「東洋町マリンフェスタ2018」の開催(6/30)</li> </ul> </li> <li>○情報発信及びPR <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報冊子やチラシをまるごと高知等で配布(6/16～17、7/15)</li> <li>・湖南省、室戸市、東洋町による観光交流に関する協定調印(7/14)</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行の受入：2校(延べ37戸 150名)(5～6月)</li> <li>・海上アスレチックの視察(鳥取県浦富海岸、兵庫県竹野海水浴場)(8/19～20)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラムの受入体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒体験者受入に向けて東洋町観光振興協会の法人化及び事務所開設の準備</li> </ul> </li> <li>・地域資源を生かした体験プログラムの造成及び周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒観光客向けの新たな体験プログラム(「イカダでの釣り体験」や「マリンレジャー体験」の実施を検討)</li> <li>⇒ポータルサイトやパンフレットでの広報強化</li> </ul> </li> <li>・東洋町の体験観光の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒マーケティングを基にした体験プログラムの磨き上げ、モニターツアーの実施、プロモーションビデオの作成、人材育成を実施(農山漁村振興交付金事業を活用)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 北川村観光3施設の誘客強化による 交流人口の拡大(北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北川村</li> <li>・(株)きたがわジャルダン</li> <li>・北川村観光協会</li> <li>・NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○各施設入園(館)者合計数 H26実績：80,983人 (モネの庭：53,174人、北川村温泉：21,682人、 中岡慎太郎館：6,127人) →H29目標：78,000人(実績：87,189人) (モネの庭：68,000人(実績：77,262人) 北川村温泉：閉館中、 中岡慎太郎館：10,000人(実績：9,927人)) →H30目標：100,000人 (モネの庭：70,000人、北川村温泉：20,000人、 中岡慎太郎館：10,000人) →H31目標：108,000人 (モネの庭：70,000人、北川村温泉：28,000人、 中岡慎太郎館：10,000人)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>各施設入園(館)者合計数(7月末)：39,787人 (モネの庭：34,586人、北川村温泉：2,262人、 中岡慎太郎館：2,939人)</p> <p>○モネの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント「チューリップチューリップ」の開催 (3/1～4/15) 4月の入園者数9,215人(前年同期比148%) GW期間入園者数7,802人(前年同期比78.4%)</li> <li>・休園日(5/22)を利用したモネの庭貸し切りツアーの 実施(参加者数：290名)</li> <li>・イベント「渡邊智美展-Imagine-」の開催(5/26～6/17)</li> <li>・イベント「前田博史天然写真展 阿蘇、変わらぬ風× 『くまモンとブルービーの大冒険』絵本原画展」の 開催(7/1～9/2)</li> </ul> <p>○北川村温泉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアルオープン(6/26)</li> </ul> <p>○中岡慎太郎館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慎太郎企画展(4/13～6/25、7/18～8/27)、中岡家花 家紋2018(4/28～5/27)の開催</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内周遊の仕組みづくり ⇒連動したイベントの開催や各施設間での交通アクセ スの検討</li> </ul>

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）  
該当なし

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目  
該当なし

4 県民参画に向けた取組

・産業振興計画シンポジウムへの参加案内

（四国銀行、高知銀行、室戸市商工会、安芸商工会議所、中芸地区商工会、JA 土佐あき、  
JA 馬路村、集落活動センターなど）

・管内事業者等への研修会（HACCP トップセミナー、土佐MBA、土佐FBC」等）などの開催の  
周知

5 相談案件：2件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/10	食品加工	工場の高台移転及び、HACCP 対応の設備導入の支援策について
2	6/8	ゲストハウス運営	県外の若者を対象とした短期就業体験の受け入れについて

## 物部川地域アクションプランの進捗状況等

H30.9.14  
物部川地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

物部川地域では、26 のアクションプランが推進され、各種アドバイザーの導入のほか、助成制度の活用や研修会等への参加等により、経営力の向上や生産体制の強化、販路拡大に向けた取組が進められるなど、概ね順調に推移している。

農業分野では、日本一の生産量を誇るニラやシシトウ、ユズといった地域を代表する施設園芸の産地の維持やブランド化を目指し、省力化に向けた機器の導入や労働力の確保、新規就農者の育成など生産基盤の充実・拡大に向けた多様な取組を引き続き推進している。

農産物を活用した新たな6次化の取組として、ブドウの栽培からワインの生産・販売までを県内で行う県内産ワインとしてのブランドづくりや、香美市への移住者によるクラフトビールづくりなど、加工品の開発や販路の拡大に向けた新たな動きが出てきている。

林業分野では、各森林組合や林業事業体が主体となり、森の工場の拡大に向けた施業地の集約と原木の増産に向けて、間伐の推進や作業道の開設をはじめ、林業大学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいる。

水産業分野では、香南市でシイラを活用した加工品づくりが進められており、売り上げアップを目指した衛生管理の向上や生産体制の強化とともに、県外の取引先との定期的な情報交換等を通じた、取引量の安定確保や販路拡大などに取り組むことにより、順調に販売額が増加している。

商工業分野では、南国市が（株）海洋堂と連携して中心市街地の活性化に取り組んでおり、その中核となる「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けて、着実に各種計画を実行するとともに、センターや海洋堂の取組を広く市民に理解してもらうために、海洋堂が手がける事業を紹介・体験できるイベント「ナンフェス」の開催に向けた取組を進めている。

香美市では、伝統的工芸品である土佐打刃物の後継者育成を目指した「鍛冶屋の学校（仮称）」の平成31年度開校に向け、実習施設の建設計画や講師の選定、カリキュラムの検討等、具体的な計画づくりが着実に進展している。

観光分野では「物部川DMO協議会」を中心に、ウェブサイトや観光パンフレットを活用した情報発信や、観光客を呼び込むためのマーケティング調査など、観光施設や事業者等と連携した広域観光の仕組みづくりが進んでいる。

また、ポスト「幕末維新博」に向けた観光拠点づくりの取組が、それぞれの地域で進められている。龍河洞では、龍河洞保存会、商店街、地域住民、行政が一体となり平成30年度に「龍河洞エリア活性化協議会」を立ち上げ、平成29年度に策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に沿って、観光コンテンツづくりや商店街の整備のみならず、龍河洞地域全体の活性化に向けた本格的な取組が始まっている。ヤ・シィパークでも、平成30年度に「ヤ・シィパーク活性化協議会」を立ち上げ、ヤ・シィパークを核とした地域のにぎわいの拠点づくりを進めており、公園や商業施設の機能強化、海浜を活用した新たな体験型観光コンテンツづくりに着手している。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市、香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 土佐香美</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>(JA 土佐香美)</p> <p>○ニラ販売額</p> <p>H27 園芸年度実績：27.1 億円</p> <p>→H29 園芸年度目標：28.4 億円(実績：26.9 億円)</p> <p>→H30 園芸年度目標：27.0 億円</p> <p>→H31 園芸年度目標：29.7 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○ニラ販売額(H29.8月～H30.6月)25.5 億円 (前年同期比 99.3%)</p> <p>○産地パワーアップ事業計画に関する関係機関の協議と農業者への周知 (香美市 PT 会：1 回、香南市 PT 会：2 回、説明会：2 回)</p> <p>○労働力確保対策について協議 (香美・香南労働力確保対策 PT 会：5/15)</p> <p>○営農意向調査の検討と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実施</li> </ul> <p>○クラスタープランの協議(クラスタープラン PT 会：5/15)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスタープランの見直し</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○生産者の高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の受入体制の強化</li> </ul> <p>○作業労働者の確保と労働力の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国事業を活用した調整作業機械の更なる導入</li> </ul>
<p>■No.2 南国市の園芸基幹品目シシトウの振興(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 南国市</li> <li>・JA 長岡</li> <li>・JA 十市</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>○JA シシトウ出荷量</p> <p>H27 園芸年度実績：679 t</p> <p>→H29 園芸年度目標：720 t(実績：708 t)</p> <p>→H30 園芸年度目標：740 t</p> <p>→H31 園芸年度目標：760 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>○産地ビジョンの推進、本年度の取組事項について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3JA 合同会議、シシトウ4部会、南国市営農改善会</li> </ul> <p>○モデル農家に対する重点指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回指導(週1回)、進捗管理指導(月1回)の実施、個別面談</li> </ul> <p>○現地検討会・勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3JA 合同：2回、JA 十市：1回、JA 南国市中央：1回、JA 長岡：1回</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市施設園芸環境制御研究会：1回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○産地ビジョンの推進</li> <li>○収量向上・低コスト化の推進</li> <li>○担い手の育成</li> <li>○出荷量の増加及び販売額の維持</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高収量安定生産技術の普及、労働力の確保、省力化対策</li> </ul>
<p>■No.3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 南国市出資農業生産法人（株）南国スタイル</li> <li>・（株）トリムエレクトリックマシナリー</li> <li>・高知大学</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（南国市還元野菜プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○協力農家の戸数（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績：3 戸</li> <li>→H29 目標：1 戸（実績：0 戸）</li> <li>→H30 目標：1 戸</li> <li>→H31 目標：7 戸</li> </ul> </li> <li>○還元野菜の売上 <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績：1,200 千円</li> <li>→H29 目標：3,000 千円（実績：2,245 千円）</li> <li>→H30 目標：3,000 千円</li> <li>→H31 目標：10,000 千円</li> </ul> </li> <li>○機能性に基づく差別化ができた品目数（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績：0 品目</li> <li>→H29 目標：0 品目（実績：0 品目）</li> <li>→H30 目標：0 品目</li> <li>→H31 目標：3 品目</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○かざぐるま市・風の市における還元野菜の売上（7/25 現在）：1,248 千円</li> <li>○雇用労働者数：管理者 1 人、作業員 6 人</li> <li>○JA 南国市や南国スタイルを含めた複合経営拠点としての機能を強化する取組の推進（4 月～） <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月補正による関連予算の計上（南国市）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的体制とノウハウの構築</li> <li>・協力農家の増加に向けた協議・検討</li> </ul> </li> <li>○還元野菜の販売先の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・還元野菜セット販売の拡大</li> <li>・地元レストランへの供給</li> </ul> </li> </ul>

<p>■No.4 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・JA 土佐香美</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○ユズ販売額</p> <p>H27 園芸年度実績：5.2 億円</p> <p>→H29 園芸年度目標：5.0 億円（実績 5.5 億円）</p> <p>→H30 園芸年度目標：5.0 億円</p> <p>→H31 園芸年度目標：5.2 億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○ユズ販売額</p> <p>H30 園芸年度実績：4.4 億円（前年比 80%）</p> <p>○担い手確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地研修受入先（指導農業士）増員への支援（1 名、4 回）</li> <li>・ユズ担い手支援活動の発信（1 回）</li> <li>・新規就農希望者面談（1 名、1 回）</li> <li>・新規就農者支援（1 名、3 回）</li> <li>・担い手の経営発展に向けた支援（4 名、6 回）</li> <li>・担い手に集積可能な園地の紹介活動（3 ヶ所）</li> </ul> <p>○収量増の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有望系統普及に向けた取組支援（苗木 40 本作成）</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会（4 回）、三役会（4 回）の開催</li> <li>・地理的表示保護制度申請協議（2 回）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○担い手の確保、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手に集積可能な園地不足⇒農地の出し手への担い手紹介、農地中間管理事業等の周知活動</li> </ul> <p>○省力化、生産安定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省力化向き優良系統（短棘等）・生産安定技術の普及</li> </ul> <p>○ブランド力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的表示保護制度活用により訴求力向上</li> </ul>
<p>■No.5 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA 長岡</li> <li>・(株) なの工房</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○直販所等の売上高</p> <p>H26 実績：171,000 千円</p> <p>→H29 目標：165,000 千円（実績：134,313 千円）</p> <p>→H30 目標：117,000 千円</p> <p>→H31 目標：171,000 千円</p> <p>○直販所等の雇用者数</p> <p>H26 実績：32 人</p> <p>→H29 目標：32 人（実績 11 人）</p> <p>→H30 目標：11 人</p> <p>→H31 目標：32 人</p>

	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直販所の売上高（6月末）：30,687千円</li> <li>○経営力向上会議の開催（4/17、5/17、6/26、7/30） <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営計画の進捗管理及び経営状況の把握</li> </ul> </li> <li>○産振アドバイザーによる現場指導の実施（4/17、5/14）</li> <li>○産振アドバイザーによる売り上げデータ等の予実管理指導（5/8）</li> <li>○株主総会の開催（5/31）</li> <li>○「はたけの食堂C o p a n」オープン（7/2）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新体制に即した安定的な経営手法の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・予実管理の実施（日次管理表作成）</li> <li>・経営力向上会議（なの工房、JA長岡、県、市、専門家等）による定期的な経営状況の確認</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.7 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA南国市出資農業生産法人（株）南国スタイル</li> <li>・農家レストランまほろば畑</li> <li>・南国市</li> <li>・道の駅南国風良里</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（南国市還元野菜プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食における地元野菜の供給金額 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：5,373千円</li> <li>→H29目標：6,455千円（実績：9,428千円）</li> <li>→H30目標：6,455千円</li> <li>→H31目標：6,455千円</li> </ul> </li> <li>○学校給食における地元野菜の供給割合 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：20.81%</li> <li>→H29目標：25%（実績：29.5%）</li> <li>→H30目標：25%</li> <li>→H31目標：25%</li> </ul> </li> <li>○業務筋への供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：20事業体</li> <li>→H29目標：29事業体（実績：32事業体）</li> <li>→H30目標：29事業体</li> <li>→H31目標：25事業体</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>（（株）南国スタイル）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食への地元野菜の供給金額（7月末）：2,782千円（対前年同月比：76.55%）</li> <li>○学校給食への地元野菜の供給割合（7月末）：28.59%（対前年同月比：78.32%）</li> <li>○業務筋への供給（7月末）：36事業体（対前年同月比：105.88%） （農家レストランまほろば畑）</li> <li>○農家レストラン開店日：14日（9/30見込） <ul style="list-style-type: none"> <li>・来店者数：1,957人（7月末現在：1日平均178人）</li> </ul> </li> </ul>

	<p>○高校生（高知農業高校）レストラン開店日：1日（8/7）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来店者数：195人</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○農家レストラン運営メンバーの高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間削減に向けた組織体制と営業方法の見直し</li> </ul>
<p>■No.8 農園レストランによる地域食材の消費拡大（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）ナイフアンドフォークカンパニー</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p>H26実績：0円</p> <p>→H29目標：183,500千円（実績：169,171千円）</p> <p>→H30目標：192,500千円</p> <p>→H31目標：200,500千円</p> <p>○食材の地産地消率：</p> <p>H27実績：83%</p> <p>→H29目標：83%（実績：85.5%）</p> <p>→H30目標：83%</p> <p>→H31目標：83%</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○売上高（H29.9月期）：169,171千円（前年比76.6%）</p> <p>（H29.10～H30.6月末）：122,793千円（前年同期比98.6%）</p> <p>○食材の地産地消率（H29.10～H30.6月末）：85.4%</p> <p>○トリトンライス開始、パプリカ使用（3月～）</p> <p>○リョーマの休日像のCM（ネット、テレビ）による全国放映（4月）</p> <p>○誘客を図るため庭園に遊具（すべり台3台）設置（5月）</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○売上の回復に向けた取組の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なイベントや商品企画などの実施</li> <li>・マスコミや広報誌等を活用したPR活動の継続</li> </ul>
<p>■No.9 加工品販売による夜須地域の活性化（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協同組合やすらぎ市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○加工品販売額</p> <p>H26実績：0.96億円</p> <p>→H29目標：0.96億円（実績0.97億円）</p> <p>→H30目標：0.98億円</p> <p>→H31目標：1億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○生産販売計画及び実績の検討、ならびに既存商品の改良や新商品開発等に向けた検討（3回：9/20予定含む）</p> <p>○既存商品の改良及び新商品の開発、販売（5品：赤生姜シロップ（黒糖）、とびだしいちご大福、やすのトマトカレーパン（改）、お米スティック、お米スティック（黒ゴマ））</p> <p>○SNS等を活用した顧客への情報発信（30回：8/19現在）</p>

	<p>○直販所個別セミナーによる、現状共有と商品改善、店内レイアウト変更等に向けた検討(2回:8~9月の2回目含む)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○加工技術と商品開発力の向上による商品の充実と生産の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーの活用等によるノウハウと技術の習得</li> <li>・主力商品の商品別生産数量をもとにした製造販売計画の作成及び実績の検証・改善</li> </ul>
<p>■No. 10 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業組合ごめんシャモ研究会</li> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p style="padding-left: 20px;">H26実績：21,553千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29目標：50,000千円（実績：60,080千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：64,000千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31目標：65,000千円</p> <p>○ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内）19店舗(累計)</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：19 店舗</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29目標：20店舗（実績：19店舗（累計））</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：20店舗</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31目標：20店舗</p> <p>○シャモ飼育羽数</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：1,859 羽</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：3,000 羽（実績：3,437 羽）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：3,000 羽</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：3,000 羽</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○売上高(4~5月) 8,693 千円（前年比 94%）</p> <p>○ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内・4~6月）：19 店舗（対前年同月比：100%）</p> <p>○シャモ目標飼育羽数(4~6月)794 羽（前年同期比 136%）</p> <p>○食1 グランプリへの出店（3/31、4/1）</p> <p>○地産地消ごめん軽トラ市への出店（5/27）</p> <p>○道の駅 19 周年祭への出店(7/15)</p> <p>○シャモ鍋社中における新メニュー「十菜シャモあんバリかた麺」の開発（十市小学校と連携）</p> <p>○定例会（4/26、6/21、7/19）の開催</p> <p>○総会の開催及び新メニュー開発で連携した十市小学校との交流（5/30）</p> <p>○HACCP の認証に向けた取組(6/12 現地アドバイザーによる指導)</p>

	<p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○シャモ肉の安定的な供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育マニュアルに基づく生産管理の徹底</li> <li>・飼育技術の向上による高品質化、均等化</li> </ul> </li> <li>○自社商品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への参加等、外商の推進</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 11 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川添ヤギ牧場</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（1～12月） <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：1,800千円</li> <li>→H29目標：9,010千円（実績：5,340千円）</li> <li>→H30目標：15,980千円</li> <li>→H31目標：30,200千円</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上（1～6月）2,852千円（前年比124%）</li> <li>○飼育ヤギ頭数（7月末）：175頭（前年同期比146%）</li> <li>○H30.4月から正社員1名を新規雇用（正社員2人、パート雇用3人）</li> <li>○各種メディアへの取材対応（TV、タウン誌等 随時）</li> <li>○搾乳量増加に向けた飼料の改善（濃厚飼料による飼育）</li> <li>○自給飼料の栽培（約15ha）</li> <li>○香北ふるさとみらいと連携した新たな加工品の開発</li> <li>○ヤギ肉の販路開拓及びPR（アグリフードEXPOへ参加予定）</li> <li>○産振アドバイザーの導入（9月上旬予定）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ヤギミルクの安定的な供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育技術の向上によるヤギミルクの生産拡大</li> </ul> </li> <li>○ヤギミルクの販路の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤギミルクの製造・販売事業者と連携した商品PRや営業活動の強化（バイヤー視察対応等）</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 12 民有林における原木の増産（物部川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各森林組合</li> <li>・林業事業体等</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原木生産量（民有林のみ）：H26実績：35,887 m<sup>3</sup></li> <li>→H29目標：47,000 m<sup>3</sup>（実績：41,699 m<sup>3</sup>）</li> <li>→H30目標：48,000 m<sup>3</sup></li> <li>→H31目標：50,000 m<sup>3</sup></li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原木生産量（9月末見込）：20,000 m<sup>3</sup>（前年同期比88%）</li> <li>○市町村、森林組合、事業体への林業振興関連事業の説明会の開催（1回 4/28）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な事業地の確保</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業学校と連携した担い手の確保・育成</li> </ul> <p>○平成 30 年 7 月豪雨の影響による生産量の減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下方道の被災により事業地に入れないため、代替地の確保を検討中</li> </ul>
<p>■No. 13 シイラ等の加工商材活用（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知県漁協手結支所</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○シイラ加工事業の販売額</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績 16,011 千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：22,000 千円（実績：44,263 千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：30,000 千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：20,000 千円</p> <p>○新たな魚種の取扱い尾数（新規）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：300 尾（実績 0 尾）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：300 尾</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：3,000 尾</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○シイラ加工事業の販売額（6 月末）：8,182 千円 （前年同期比 97.1%）</p> <p>○新たな魚種の取扱い尾数（4～9 月末見込）：0 尾</p> <p>○原魚加工量（6 月末）：12.6 t（前年同期比 57.3%）</p> <p>○取引先との定期的な情報交換（週 1～2 回）</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○衛生管理の向上と生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「高知県食品衛生高度管理手法」に基づく自主管理マニュアルの徹底と効率的な加工体制の構築</li> </ul>
<p>■No. 15 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地活性化プロジェクト（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南国市商工会</li> <li>・ 南国市</li> <li>・ 南国市中心市街地活性化推進協議会</li> <li>・ (株) 海洋堂</li> <li>・ (株) 奇想天外</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○空き店舗活用数（累計）</p> <p style="padding-left: 20px;">H26実績：1件</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29目標：4件（実績：2件）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30目標：5件</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31目標：7件</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○空き店舗活用数（4～9 月見込）：0 件</p> <p>○「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けた関係者間(海洋堂、市、県)の定例会議実施(4/23、5/23、6/22、7/24、8/24)</p> <p>○ソフト戦略に係る(株)海洋堂と県関係課との協議（5/15、6/19、7/24、9/3）</p> <p>○中心市街地活性化推進協議会総会(7/3)</p> <p>○クラフト市(仮)の実施に向けた打ち合わせ(7/12、7/17、7/25、8/21)</p>

	<p>○地域おこし協力隊の新規採用（4/1～、1名）及び追加募集（6月～、1名募集中）</p> <p>○ものづくりサポートセンター基本設計受託契約（4月）</p> <p><b>【課題と今後の対応】</b></p> <p>○「ものづくりサポートセンター（仮称）」の整備に向けた進捗状況の確認、検証、役割分担の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋堂、商工会、市、県等による定例的な関係者協議</li> </ul> <p>○「ものづくりサポートセンター（仮称）」を核とした人づくりや賑わいづくりなどソフト面の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等の連携による仕組みの構築に向け、南国市中心市街地活性化推進協議会等での戦略づくり</li> </ul>
<p>■No. 16 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化推進プロジェクト（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）ヤ・シィ</li> <li>・香南市</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <p>○加工所兼店舗の売上高</p> <p style="padding-left: 20px;">H27 実績：0円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：51,022千円（H29 実績：16,356千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：52,578千円</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：54,193千円</p> <p><b>【取組状況】</b></p> <p>○加工所兼店舗の売上高（H30.4～6月）：6,847千円 (前年同月比 166.4%)</p> <p style="padding-left: 20px;">(加工場兼店舗 (mana*mana) 体制の強化)</p> <p>○（株）ものべみらいからの役員派遣による戦略の立て直し（5/2～）</p> <p style="padding-left: 20px;">(販売促進・PR)</p> <p>○商談会等への参加（1回、高知県産品商談会（5/29））</p> <p>○イベントへの出店・出品（7回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末維新博開幕イベント（4/21）</li> <li>・第2戦 MAX ライダー2018（4/22）</li> <li>・第61回土佐赤岡どろめ祭り（4/29）</li> <li>・第14回若武者杯争奪少年剣道錬成大会（7/1）</li> <li>・マリンフェスティバル YASU2018（7/15）</li> <li>・AKOMEYA TOKYO 京都 BAL 店での販促（7/7～）</li> <li>・第72回全国レクリエーション大会 in 高知（9/21 予定）</li> </ul> <p>○自主イベント等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチメニューのリニューアル・拡充（4/5～7/10）</li> <li>・山田高校との協働企画 GW イベント（5/3～5）</li> <li>・リニューアルオープン（7/12～）</li> <li>・手結盆踊り大会花火観覧特別営業（8/15）</li> </ul> <p>○新規成約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都会の農園」（東京）での小売開始（4月～）</li> <li>・お中元カタログ販売（高島屋・高知食糧㈱）（6月～）</li> </ul>



	<p>○広報、P R</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元広報誌への掲載（高知新聞（5/4、6/12）、こじゃんと6月号、ランチパスポート Vol. 25、ほっとこうち7月号）</li> <li>・TVでの放送（高知 eye+（5/7）、おはようこうち（5/13）、ヒルナンデス（7/4）、イブニング KOCHI（7/11））</li> <li>・県庁生協売店でのアイスバーの販売（6/11～） （ヤ・シィパーク全体）</li> </ul> <p>○ヤ・シィパーク活性化推進協議会の開催（毎月開催：4/24、6/21、7/26、8/29）</p> <p>○役員等体制の見直し（5/1）</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>（加工場兼店舗（mana*mana））</p> <p>○アイスバー&amp;カフェの売上アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁忙期の注文に対する生産の強化</li> <li>・店舗リニューアルオープン後の周知・運営</li> </ul> <p>○ヤ・シィパークの拠点化に向けた強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤ・シィパーク活性化推進協議会による事業計画作成</li> </ul>
<p>■No. 18 香美市における特産品づくりの推進 （香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）香美市観光協会</li> <li>・（協）葦生の里</li> <li>・奥ものべじじばばあんぜん会</li> <li>・コハマ農産物直販所</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>（開発商品売上高）</p> <p>H26 実績：8,717 千円、14 商品 →H29 目標：8,800 千円、15 商品 （実績：16,312 千円、15 商品） →H30 目標：10,000 千円、16 商品 →H31 目標：10,000 千円、17 商品</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○開発商品売上高（9月末見込）：5,127 千円（前年比 83%）</p> <p>○特産品販売出店（9月末見込）：7 回 （コハマ農産物直販所）</p> <p>○食品表示研修受講（6/13）</p> <p>○一般衛生管理研修受講（6/6）</p> <p>○HACCP 研修受講（7/10, 11）</p> <p>○自主検査勉強会受講（6/28）</p> <p>○HACCP アドバイザー書類作成指導（7/31）</p> <p>○産業振興アドバイザー事業活用による新商品開発指導（7/25）</p> <p>○香美市特産品振興事業活用による商品パンフレット及びパッケージ作成中 （（協）葦生の里にろうまいこ）</p> <p>○集落の活力づくり補助金活用による新商品開発検討中</p>

	<p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品のラインナップの充実と商品力の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の支援制度の活用による新商品づくり、既存商品のブラッシュアップ</li> </ul> </li> <li>○食品表示及び HACCP 制度への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修の受講による新制度への対応を促す</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 19 地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県土佐打刃物連合協同組合</li> <li>・香美市商工会</li> <li>・フラフ製造業者</li> <li>・香美市観光協会</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地場産業（土佐打刃物、フラフ）後継者数（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 目標：1 人（実績：0 人）</li> <li>→H30 目標：1 人</li> <li>→H31 目標：3 人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地場産業（土佐打刃物、フラフ）後継者数（9 月末）：0 人</li> <li>○香美市ものづくり会議の開催（5/29） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鍛冶屋の学校（仮称）」創設に向けた方針等の協議（土佐打刃物）</li> </ul> </li> <li>○「鍛冶屋の学校（仮称）」検討委員会の開催（4/16、5/29、6/18、7/31） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鍛冶屋の学校（仮称）」の建設場所を刃物流通センターとして進めていくことを確認（4/16）</li> <li>・講師就任承諾状況の確認、カリキュラム及び研修方法の検討、導入研修機械の検討（5/29）</li> <li>・開発審査会に向けての取組手順確認</li> <li>・伝統的工芸品産業に関する法律に基づく土佐打刃物の第 2 次振興計画（案）に関する質疑</li> <li>・施設及び鍛造用機械について協議（6/13）</li> </ul> </li> <li>○産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ）の活用（7/27 交付決定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鍛冶屋の学校（仮称）」実習棟建設にかかる基本設計、測量及び基本構想の策定（フラフ）</li> </ul> </li> <li>○セレネ広場及び香美市役所へのフラフ掲揚（4 月、5 月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「鍛冶屋の学校（仮称）」開校に向け、建設スケジュールの確定と学校の運営方針の決定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県土佐刃物連合協同組合を中心とした具体的な計画づくり</li> </ul> </li> <li>○フラフの振興策の具体化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市ものづくり会議における具体的な施策づくり</li> </ul> </li> </ul>

<p>■No. 20 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市商工会</li> <li>・えびす街協同組合</li> <li>・地域活動団体</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空き店舗を活用した新規開業（H28～31 累計） <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績：3 件</li> <li>→H29 目標：4 件（実績：4 件）</li> <li>→H30 目標：5 件</li> <li>→H31 目標：16 件</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【取組状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふらっと中町へ地域支援員（1 人）の継続配置</li> <li>○チャレンジショップ運営員（1 人）の継続配置</li> <li>○チャレンジショップ運営委員会開催（4 回）</li> <li>○えびす商店街活性化検討委員会開催（3 回）</li> <li>○ふらっと中町での集客イベントの開催（お花見会、FUSE セミナー、えびすでフリーマーケット、えびす歌声広場、ふらっと夏まつり～浴衣でビアパーティー～）</li> <li>○新たなチャレンジャーによる出店 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「do11 CAT」（手作りアクセサリー、雑貨販売：7/3～）</li> <li>・「洋菓子店 kozue nishimori」（焼き菓子等販売：7/14～）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【課題と今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チャレンジショップ（チャレンジャー）の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジャーの売上げ増加に向けた広報の充実等の取組の実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 21 広域観光の取組の推進（物部川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、（一社）南国市観光協会、（一社）香南市観光協会、（一社）香美市観光協会</li> <li>・物部川DMO協議会</li> <li>・（株）ものべみらい</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客入込数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績：134.1 万人</li> <li>→H29 目標：153.7 万人（実績：141.5 万人）</li> <li>→H30 目標：154.5 万人</li> <li>→H31 目標：144.5 万人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【取組状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客入込数（1～6 月）：73.2 万人（前年同期比 107%）</li> <li>○高知中央広域観光協議会総会の開催（4/25） <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29 事業報告、決算報告及び監査報告等</li> </ul> </li> <li>○物部川DMO協議会推進会議の開催（4/18、5/25） <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 事業計画等</li> </ul> </li> <li>○物部川DMO協議会通常総会の開催（6/20） <ul style="list-style-type: none"> <li>・規約改訂、役員選任等</li> </ul> </li> <li>○高知県観光説明会参加（6/27 広島・岡山）</li> <li>○土佐の観光創生塾参加（6/14～）</li> <li>○デジタルスタンプラリーの実施（5/3～6、6/2～7/1）</li> <li>○大学との連携による周遊ツアー造成支援（8/25～26 催行）</li> <li>○広域観光パンフレットの作成（9/28 納品予定、2 万部）</li> </ul>

	<p>○広域でのイベントの実施（9/30 予定）</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○地域の観光資源の一層の発掘・磨き上げによるさらなる誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊コース等旅行商品の造成</li> <li>・ターゲットに応じた情報発信、ランドオペレーター機能の構築</li> <li>・エージェントセールス</li> </ul> <p>○物部川DMO協議会の広域観光組織としての体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング調査の実施</li> <li>・観光人材の育成</li> </ul>
<p>■No. 22 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）南国市観光協会</li> <li>・南国市観光クラスター連絡協議会</li> <li>・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○主要4観光施設の観光客入込数（1～12月）</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：53.9 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：55.5 万人（実績：52.7 万人）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：55.5 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：55.5 万人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○主要 4 観光施設の観光客入込数（1～6 月）：29.2 万人 (前年同期比 115%)</p> <p>○各種イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡豊山さくらまつり・土佐の食 1 グランプリ (3/31・4/1) : 9,000 人</li> <li>・長宗我部フェス (5/19) : 1,100 人</li> <li>・土佐のまほろば祭り (8/4)</li> <li>・物部川フェスタ (9/30 予定)</li> </ul> <p>○移動販売車の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにおける販売 (5/19、7/15、8/2、8/21、8/25)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○体験型メニューの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市クラスター連絡協議会での周遊コースの造成、旅行商品づくり</li> </ul> <p>○移動販売車の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや出張販売における特産品販売</li> <li>・周遊マップやグルメ情報誌の提供等、観光情報発信</li> </ul>
<p>■No. 23 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）香南市観光協会</li> <li>・香南市</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>○観光客入込数（1 月～12 月）</p> <p style="padding-left: 20px;">H26 実績：51.8 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H29 目標：70 万人（実績：62.8 万人）</p> <p style="padding-left: 20px;">→H30 目標：70 万人</p> <p style="padding-left: 20px;">→H31 目標：55 万人</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会</li> <li>・香南市観光クラスター協議会</li> <li>・地域の体験メニュー等提供団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（日本一のニラ産地拡大プロジェクト）</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客入込数（1～6月）：33.3万人（前年同期比105.5%）</li> <li>○新聞バッグづくり体験の実施（4/20：香川県藤井中108人）</li> <li>○モニターツアーの開催（1回、参加者 延べ9人）</li> <li>○歌舞伎をテーマにしたワークショップ等の開催（9回、参加者：延べ166人）</li> <li>○香南市観光施設連絡会（観光クラスター協議会の位置づけ）の開催（2回）</li> <li>○土佐の観光創生塾への参加（4回）</li> <li>○塩の道トレイルランニング大会募集開始（6/11）</li> <li>○着付け体験&amp;赤岡町歩きの開催（9月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な職員の確保及び専門知識やノウハウの習得</li> <li>・旅行業務取扱管理者の確保</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 24 三宝山プロジェクト（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市</li> <li>・民間事業者</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客入込数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H27実績：0人</li> <li>→H29目標：－（実績：－）</li> <li>→H30目標：－</li> <li>→H31目標：20万人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地・建物所有者との無償貸借契約締結（H29～、5年間）</li> <li>○運営事業者と関係者間（（株）ものべみらい、香南市、県）の協議、調整（4～7月）</li> <li>○香南市三宝山周辺エリア広域観光ビジョン検討委員会の開催（7/23）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺施設との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山頂に限らない、三宝山一帯の持続可能な観光拠点化</li> <li>・山頂での一体的な事業展開が可能な事業者との交渉及びその他の事業者との調整</li> <li>・物部川地域の他の観光関係事業者との連携・協働に向けた仕組みづくり</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 25 香美市における滞在型・体験型観光の推進（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・（一社）香美市観光協会</li> <li>・（株）香北ふるさとみらい</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要4観光施設の入込数（アンパンマンミュージアム、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート、龍河洞、べふ峡温泉） <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：284,665人</li> <li>→H29目標：282,000人（実績：259,773人）</li> <li>→H30目標：290,000人</li> </ul> </li> </ul>

<p>・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体</p>	<p>→H31 目標：340,000 万人</p> <p>※H29 の目標・実績のみ主要 3 観光施設入込数（ピースフルセレネ改修工事のため）</p> <p>※H29. 10. 22 の台風被害により、べふ峡温泉は宿泊客の受け入れを中止</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○観光客入込数（1～6 月）：10. 7 万人（前年同期比 92. 8%）</p> <p>○日ノ御子河川公園キャンプ場の期間限定オープン（GW）</p> <p>○とさてらすでの観光PRの展開（5/3～4）</p> <p>○ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートのオープン（7/12）</p> <p>・広報番組「さんしん GO！」で特集・放送（8/19）</p> <p>○各種イベントの開催</p> <p>・「ひかりの試練をクリアせよ。」（3/24～4/1） ：3, 381 人（前年同曜日比 109. 7%）</p> <p>・「龍の洞窟の歴史を変えろ。」（4/28～5/6） ：10, 035 人（前年同曜日比 91. 3%）</p> <p>・「Coloful Summer Adventure」（7/14～8/26）</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○組織体制の強化</p> <p>・体験観光メニューの受け入れ体制づくりと情報発信の充実</p> <p>○台風被害により宿泊の受入を停止しているべふ峡温泉の修復</p>
<p>■No. 26 龍河洞エリア活性化プロジェクト（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・龍河洞エリア活性化協議会</p> <p>・（公財）龍河洞保存会</p> <p>・（株）龍河洞みらい</p> <p>・（株）ものべみらい</p> <p>・香美市</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○観光客入込数</p> <p>H29 新規（実績：103, 481 人）</p> <p>→H30 目標：11. 4 万人</p> <p>→H31 目標：12 万人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○観光客入込数（1～6 月）：41, 004 人（前年同期比 98%）</p> <p>○龍河洞エリア活性化協議会の開催（5/16）</p> <p>・今後の事業の方向性を確認</p> <p>○龍河洞エリア活性化協議会「部会」の開催（4/18、7/18）</p> <p>・商店街や情報発信拠点、珍鳥センター等のあり方について検討</p> <p>○観光案内用看板の設置及び既存看板位置の修正（4/27）</p> <p>○業務の見直しによる新シフトの稼働・効率化（4 月～）</p> <p>○レジシステム導入による業務の効率化、入洞者のデータ蓄積（5 月～）</p>

	<p>○高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用した事業（洞内の安全性及び利便性の向上のための調査設計）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洞内整備について文化財課との現地確認、協議 (5/10、7/23)</li> <li>・調査設計に係る委託事業者との協議、現地確認（6月～）</li> </ul> <p>○集客イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひかりの試練をクリアせよ。」（3/24～4/1） ：3,381人（前年同曜日比109.7%）</li> <li>・「龍の洞窟の歴史を変えろ。」（4/28～5/6） ：10,035人（前年同曜日比91.3%）</li> <li>・「Coloful Summer Adventure」（7/14～8/26）</li> </ul> <p>○観光モノレール導入に向けた先進地視察（徳島県東みよし市）（5/18）</p> <p>○珍鳥センターのあり方に関する有識者会議の開催（5/31）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・珍鳥センターの存続方針、夏期に向けての環境向上策について協議</li> </ul> <p>○香美市地域おこし協力隊（龍河洞エリア活性化支援業務）の着任（6/1）</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高知県観光拠点等整備事業費補助金の計画的な執行と進捗管理の徹底</li> <li>○龍河洞を円滑に運営するための体制づくりと仕組みづくり</li> </ul>
--	--

## 2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費（補助金額）
<p>■No.19 地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興（香美市）</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>7/27 交付決定</p>	<p>伝統的工芸品産業である土佐打刃物の後継者育成及び振興を目的とした「鍛冶屋の学校」（仮称）を創設するための基本構想の策定、測量・設計の実施</p>	<p>5,065（2,000）</p>

## 3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進

（概要）ブドウの栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組むとともに、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立する。

■高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売

(概要) 高知県産の食材を活用したクラフトビールを製造し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会、観光協会と連携した地元商店街のにぎわい創出を図る。

[修正] ■No.5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上(南国市)

(理由) 平成30年1月末で「なのカフェ」が営業終了し、新たな経営者のもとで平成30年7月より「畑の食堂C o p a n」がオープンしたことに伴い、地域アクションプランの名称を変更するとともに、事業主体に「畑の食堂C o p a n」を追加する。

■No.14 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～

(理由) なんこく空の駅推進協議会が平成30年5月に解散したことに伴い、事業主体から削除する。

4 県民参画に向けた取組

- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明(4/29)
- ・香美市山水会における第3期産業振興計画の説明(5/16)
- ・香美市商工会総会における第3期産業振興計画の説明(5/22)
- ・香南市商工会通常総会における第3期産業振興計画の説明(5/24)
- ・香美市行政連絡会における第3期産業振興計画の説明(5/26、5/29)
- ・香南市産業振興計画策定委員会における第3期産業振興計画の説明(6/5)
- ・第1回地域連絡会議(商工会・商工会議所との連携会議)における地域アクションプランの進捗状況の説明(6/13)
- ・香美市との補助金制度等の研修会における第3期産業振興計画及び産業振興・観光振興等に関する補助制度の説明(7/26)
- ・中央東行政事務地域連絡会議における地域アクションプランの進捗状況等の説明(8/3)

5 相談案件：5件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/19	特用林産物	香美市で、新たな菌床椎茸栽培施設への空調設備等を導入したい
2	4/20	食品加工	香南市で、ワイン醸造施設の整備や社員研修を行いたい
3	5/15	食品加工	香南市で、みかんジュースの販路拡大やラベルのリニューアル、搾汁機の導入等を行いたい
4	5/30	食品加工	香美市で、クラフトビールの販路拡大と製造機器等の整備を行いたい
5	7/2	食品加工	南国市で、ドライフルーツの加工設備の導入等を行いたい



**有望素材シート（30年度）（案）**

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香南市、南国市	素材名	ワイン用ブドウ
		関連素材	ワイン用ブドウ栽培圃場、周辺観光施設(三宝山)

現状・課題	<p>【現状】</p> <p>株式会社井上石灰工業の新事業として、平成26年にワイン用ブドウの生産を開始。南国市稲生地区（3.5反）と香南市山北地区（3反）の圃場で、ワイン用ブドウ栽培に着手し、その後、新たに開墾した香南市手続地区（1反）の圃場も併せて、現在のところ約7.5反の圃場を確保している。</p> <p>一般的に高温多湿の高知県での「ブドウ栽培」は難しいとされてきたが、自社の主力商品である「10ポルドー（安心安全な農業）」や「土壌改良剤（消石灰）」を武器に、ワイン造りの専門家に指導を仰ぎながら、3年間に亘り、県内での栽培技術の習得に努めた結果、平成28年に念願の高知県ワイン（TOSA）を完成させた。</p> <p>これを機に、平成28年4月にワインの製造・販売を行うことを目的として、新会社（井上ワインナリー株式会社）を設立。「かつおのたたき」に合うワインをコンセプトに高知県の食材ともマッチしたPRを行い、個人会員制による個別販売を展開するほか、高知市内の有名レストランやホテルなどを中心に販売している。（現在個人会員数は約600名）</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自前のワイン醸造施設がない（現在は山梨県の醸造所に委託）</li> <li>・ブドウの生産量の更なる増加</li> <li>・ワイン醸造技術を持った社員の育成</li> <li>・高知県産ワインの知名度の向上</li> </ul>
今後の方向性	<p>ブドウの栽培からワインの醸造、出荷、販売までを一貫した総合的な体制と仕組みの確立に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の生産量を確保するための更なる圃場の拡大</li> <li>・ワイン醸造施設の建設等による生産体制の構築</li> <li>・安定的に醸造を行えるよう、生産技術の習得に向けた人材の育成</li> <li>・高知県産ワインのブランド化の推進</li> </ul> <p>等に取り組む。</p> <p>こうした取り組みを通じて、耕作放棄地の活用や雇用の創出、更には観光振興にもつなげていく。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取組（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取組（案）

項目	取組名	地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進
	関係市町村名	香南市、南国市

事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栽培面積の拡大 ブドウ栽培の圃場を2反増加し9.5反まで拡大するなど更なるワイン用ぶどうの生産規模を拡充する。</li> <li>2. 醸造・生産体制の確立 香南市内にワイン醸造施設を建設し、一貫したワイン生産体制を確立しつつ、醸造施設の見学や圃場での収穫体験ができる仕組みを構築する。</li> <li>3. ブランドの確立 県の食材や産品とのコラボレーション等により、県内産ワインとしてのブランドを確立する。</li> <li>4. 人材育成 醸造技術習得のための研修等を実施し、ブドウ栽培から醸造に至るすべての工程管理を行う人材（スペシャリスト）を育成する。</li> </ol>
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】 井上ワインナリー株式会社、株式会社井上石灰工業</p> <p>【関係機関】 ・香南市、南国市</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】
栽培面積の拡大 (井上石灰工業株式会社)	・7.5反(H30.4月時点)	・2反増(山北)→計9.5反	必要に応じて耕作放棄地等を活用して開墾、圃場の確保		
醸造・生産体制の確立	・県外施設の視察等(3回) (ステップアップ事業の活用) ・基本・実施設計 (~H31.3月末)	・施設の建設(4月~3月)	・保健所許可 ・醸造準備(4月~7月)	○醸造開始(8月)	
ブランドの確立	・空港等での広告 ・PRイベントの実施 ・PR動画の制作 (ステップアップ事業の活用)	・PRイベントの実施 ・県内食材とのコラボ商品の開発(トマト等)	PRイベントの実施		
人材育成	・醸造技術取得を目的とした研修の実施(8月、10月) (ステップアップ事業、アドバイザーの活用)	生産技術の確立に向けたアドバイザーによる栽培、醸造指導			

項目	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34】																								
売上げ 【設定根拠】	4,318千円	9,869千円	16,160千円	23,361千円	26,430千円																								
【推計の考え方】	<p>○葡萄栽培年数と圃場拡大を考慮した栽培量から推計 ワイン生産本数 (H30:3200本、H31:5240本、H32:7575本、H33:8570本、H34:10550本)</p> <p>○売上げ内訳 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30年度)</th> <th>(平成31年度)</th> <th>(平成32年度)</th> <th>(平成33年度)</th> <th>(平成34年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人会員販売</td> <td>3,622</td> <td>8,279</td> <td>13,557</td> <td>19,598</td> <td>22,172</td> </tr> <tr> <td>飲食店・ホテル等販売</td> <td>696</td> <td>1,590</td> <td>2,603</td> <td>3,763</td> <td>4,258</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,318</td> <td>9,869</td> <td>16,160</td> <td>23,361</td> <td>26,430</td> </tr> </tbody> </table>						(H30年度)	(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)	(平成34年度)	個人会員販売	3,622	8,279	13,557	19,598	22,172	飲食店・ホテル等販売	696	1,590	2,603	3,763	4,258	計	4,318	9,869	16,160	23,361	26,430
	(H30年度)	(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)	(平成34年度)																								
個人会員販売	3,622	8,279	13,557	19,598	22,172																								
飲食店・ホテル等販売	696	1,590	2,603	3,763	4,258																								
計	4,318	9,869	16,160	23,361	26,430																								

総事業費等	<p>総事業費 150,000千円 (うち30年度 未定)</p> <p>(内訳 国: 県: 未定 市町村: 未定 その他: )</p> <p>想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)</p> <p>国: 県: 高知県産業振興推進総合支援事業 (一般事業、ステップアップ) 人的支援: 産振アドバイザー</p> <p>その他:</p>
-------	--

備考	
----	--

## 【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進</p> <p>&lt;香南市、南国市&gt;</p>	<p>ブドウ栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組みとともに、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立する。</p>	<p>井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業株式会社</p>	<p>アクションプランの取組開始 H30</p>		<p>◆栽培面積の拡大 (井上石灰工業株式会社)</p> <p>◆醸造・生産体制の確立</p> <p>◆ブランドの確立</p> <p>◆人材育成</p>

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
			栽培面積の拡大 2反増(山北)→計9.5反	必要に応じて耕作放棄地等	ワインの売上高	9,869千円
		醸造・生産体制の確立 県外施設の視察等(3回) 基本・実施設計	施設の建設	保健所許可 醸造準備 醸造開始		
		ブランドの確立 空港での広告 PRイベントの実施 PR動画の制作	PRイベントの実施 県内食材とのコラボ商品の開発(トマト等)	PRイベントの実施		
		人材育成 醸造技術取得を目的とした研修の実施	アドバイザーによる栽培、醸造指導			

# 地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進

## 事業の概要

ブドウ栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組みとともに、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、高知県産ワインとしてブランドを確立する。

【事業主体：井上ワイナリー株式会社、株式会社 井上石灰工業】

## これまでの取組

- 平成26年、(株)井上石灰工業の新事業として、ワイン用ブドウの栽培を開始。(現在：7.5反)
- ワインづくりの専門家をコンサルタントに迎え県内での栽培技術を習得（「ブドウ栽培」は、高温多湿の高知県では、一般的に難しいとされていた）
- 平成28年4月、ワインの製造・販売を目的に、井上ワイナリー株式会社を設立。個人会員制を取り、個人以外では有名料理店・ホテルを主体として販売。

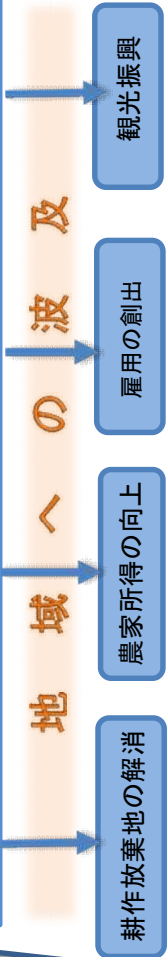
## 直面する課題

- (**圃場の確保**)
  - ・ワインの生産量の安定的な確保に向けて、更なる圃場の拡大が必要。
- (**ワインの生産体制の構築**)
  - ・自前のワインの醸造施設がなく、計画的かつ戦略的な事業展開が行えない。
- (**専門人材の育成**)
  - ・栽培・生産技術を持った専門的な人材が不在で、品質の安定と向上が難しい。
- (**知名度の向上**)
  - ・高知県産のワインの知名度が低い。

## 一貫体制の確立

## 取組の内容

- 1. 栽培面積の拡大**  
ブドウ栽培の圃場を2反増加し9.5反まで拡大するなど更なるワイン用ぶどうの生産規模を拡充する。(7.5反→9.5反)
- 2. 醸造、生産体制の確立**  
香南市内にワイン醸造施設を設置し、一貫したワインの生産体制を確立。→醸造施設の見学や圃場で収穫体験ができる仕組みづくり
- 3. ブランドの確立**  
県の食材や産品とのコラボレーション等により、高知県産ワインを積極的にPR活動を展開し、独自ブランドとして確立する。
- 4. 人材育成**  
醸造技術習得のための研修等を実施し、ブドウ栽培から醸造に至るすべての工程を管理できる人材(スペシャリスト)を育成する。



## 今後のスケジュール

- 【平成30年度】
- ・県外先進施設の調査・視察(9月)  
(産振補助金[ステップアップ事業]の導入)
  - ・基本設計、実施設計(11月～3月)
  - ・PRイベント、動画の制作、空港での広告
  - ・醸造技術の研修会の実施(9月～3月)  
(アドバイザー事業の導入)

- 【平成31年度】
- ・圃場の拡大(2反開墾。計9.5反)
  - ・施設の建設工事に着手(4月～3月)
  - ・PRイベントの実施
  - ・県内食材とのコラボ商品の開発
  - ・専門家による栽培、醸造指導

- 【平成32年度～】
- ・醸造準備(4月～7月)、醸造開始(8月)
  - ・必要に応じて耕作放棄地等を活用して開墾、圃場の確保
  - ・醸造準備(4月～7月)、醸造開始(8月)
  - ・PRイベント等の継続的なプロモーション活動の実施

**有望素材シート（30年度）**

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	香美市	素材名	クラフトビール
		関連素材	ユズ等の地元食材、地元商店街（土佐山田えびす商店街）、周辺観光施設の飲食店

現状・課題	<p><b>【現状】</b> 高知県での起業を目指し、H27年度に県が主催する「活き・生き・スキルUP」起業塾に参加。翌年の高知家ビジネスプランコンテスト「優秀賞」の受賞を契機に、H29年に県の補助事業等を活用しながら、香美市土佐山田町でクラフトビールの醸造所の開業に向けた準備を進めてきた。酒造免許の取得を経て本年1月に合同会社 高知カンパーニュフルワリーを設立し、4月から本格的なクラフトビール（TOSACO）の製造を着手した。香美市の特産品であるユズをはじめ、米や山椒、文旦を活用した商品を開発し、東京銀座のアンテナショップ「まるごと高知」をはじめ、地元スーパーや酒屋等で販売している。（【出荷量】5月：瓶3,394本、樽170L 6月：瓶3,743本、樽60L） 現在、小規模な施設で生産を行っているが、生産量が限られており、主要な卸先である地元スーパーでも品薄状態が続いていることから、段階的な増産に向けた体制づくりが急務となっている。今後は、こうした生産体制の強化に加え、商品開発に係るマーケティング、販路拡大に向けたフェア等へ出店するなど積極的な外販活動を推進する。</p> <p><b>【課題】</b> 1 効率的・安定的な増産体制の確立 小規模な醸造施設で生産しているため、生産能力に限界がある。 2 増産に向けた人的体制づくり 基本的には、経営者のみでビールの製造・販売・PR活動等を行っており、新たな人材確保が急務となっている。 3 製品の質（味や香り）の確保と衛生管理の徹底 ビールの品質等の確認は、試飲等で行っていることから、今後システム化・データ化による管理が必要となる。 また、県版HACCPの認証取得が不可欠となる。 4 商品力の向上およびブランドの確立 全国的にクラフトビールを製造する事業者が増加しており、特色ある独自ブランドを確立し、県内外に訴求していかなければならない。</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産規模の段階的な拡大と安定的な稼働体制の確立による生産体制の構築 生産規模の拡大に向け、設備投資計画を策定するとともに、作業工程を見直し、効率的な生産体制を確立する。</li> <li>地域食材を活用した積極的な地産外販の推進 本県ならではの食材をクラフトビールの副原料にした商品を製造し、積極的な外販活動を展開する。</li> <li>地元商店街「土佐山田えびす商店街」のにぎわい創出 香美市、商工会、商店街、観光協会と連携。「香美バル」や地域イベント等の集客に繋げていく。</li> </ul>

「有望素材」を活かした具体的な取組（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取組（案）

項目	取組名	高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売
	関係市町村名	香美市

事業の概要	<p><b>【事業目標】</b> 香美市の特産品であるユズをはじめ、高知県産の米、文旦等を活用したクラフトビールを生産体制を確立し、積極的な地産外販を目指す。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・生産規模の拡大と安定的な稼働体制の確立による「生産体制の構築」 ・地域食材を活用した「積極的な地産外販の推進」 ・商工会、観光協会等と連携した「地元商店街のにぎわい創出」</p> <p><b>【事業効果】</b> ・本県の特産品を効果的に外販、PRすることができる ・特産品をクラフトビールの副原料にすることで、地元農家に還元できる ・地元へ新たな雇用を生み出すことができる ・地域イベント（「香美バル」等）や商店街の取り組みと連携することで、集客を促進し、地域の活性化に繋げることができる</p>
-------	---

事業主体等	<p><b>【事業主体】</b> 合同会社 高知カンパーニュフルワリー</p> <p><b>【関係機関】</b> 香美市 香美市商工会 土佐山田えびす商店街 株式会社土佐山田ショッピングセンター 香美市観光協会</p>
-------	---

取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34以降】
生産体制の構築	生産工程の見直し(高知県産振アドバイザー活用(2回)) 施設の充実、販促活動(ステップアップ事業活用)	生産規模の段階的な拡大(整備投資、ラインの拡大) 県版HACCPの認証取得		新たな工場の確保又は建設	工場の完成・増産体制の確立
積極的な地産外販の推進		「まるごと高知」等でのテストマーケティングの実施	ブランディング及び戦略的なPR、フェア等への出店、新商品の開発		
地元商店街のにぎわい創出		地元イベント(「香美バル」等)への出店、商店街との連携			地元食材(ジビエ等)を活用したご当地グルメの開発

項目	事業実施【H30】	事業実施【H31】	1年後【H32】	2年後【H33】	3年後【H34以降】	
売上	12,285千円	18,048千円	23,034千円	31,763千円	35,906千円	
【設定根拠】	【推計の考え方】 ○売上の内訳【単位：千円】 (H30年度) (平成31年度) (平成32年度) (平成33年度) (平成34年度)					
	直販(330mL)	2,591	2,591	2,591	6,215	10,358
	ピン(330mL)	5,704	9,976	13,169	16,461	16,461
	樽(19L)	3,990	5,481	7,274	9,087	9,087
	計	12,285	18,048	23,034	31,763	35,906

総事業費	千円 (うち30年度 千円)				
(内訳 国 :	県 :	市町村 :	その他 :		
想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国 : 県 : 高知県産業振興推進総合支援事業(ステップアップ) 人的支援 : 産振アドバイザー				
その他 :					

備考	
----	--

## 【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売</p> <p>&lt;香美市&gt;</p>	<p>高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会や観光協会等と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。</p>	<p>合同会社 高知カンパニー バーニュブルワリー</p>	<p>アクションプランの取組開始 H30</p>		<p>◆生産体制の構築</p> <p>◆積極的な地産外高の推進</p> <p>◆地元商店街のにぎわい創出</p>

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
		<p>生産体制の構築</p> <p>生産工程の見直し</p> <p>施設の充実、販促活動</p>	<p>生産規模の段階的な拡大(設備投資、ラインの拡大)</p> <p>新たな工場の確保又は建設</p> <p>県版HACCPの認証取得</p>		クラフトビール 売上高	18,048千円
		<p>積極的な地産外商の推進</p> <p>アンテナショップ「まるごと高知」等でのテストマーケティングの実施</p>	<p>工場の完成・増産体制の確</p> <p>ブランディング及び戦略的なPRフェア等への出店、新商品の</p>			
		<p>地元商店街のにぎわい創出</p> <p>地元イベント(「香美バル」等)への出店、商店街との連携</p> <p>地元食材(ジビエ等)を活用したご当地グルメの開発</p>				

# 高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売

## 事業の概要

地域の食材を活用した高知県産のクラフトビールの製造体制を構築するとともに、商工会等との連携を図りながら販売、PR活動を推進し、独自ブランドの確立を目指す。【事業主体：合同会社 高知カンパニーニューブルワリー】

## これまでの取組

- ・H27年、県が主催する「活き・生き・スキルUP」起業塾に参加。（大阪府出身。高知県とビールをこよなく愛し、県内で起業を決定）
- ・H28年、高知家ビジネスコンテラ（ローカルビジネス部門）優秀賞を受賞
- ・H29年、ココブラビジネスサポート（専門家派遣、補助金等の支援）を受け香美市土佐山田町にて開業に向け準備。
- ・平成30年1月に酒造免許取得。同年4月、合同会社 高知カンパニーニューブルワリーを設立し、クラフトビール（TOSACO）の醸造所を開業。
- ・香美市の特産品であるユズや米、文旦を活用した商品開発を行い、5月から、「まるごと高知」や地元スーパ、酒屋等で販売。
- ・現在、小規模な施設で生産体制を構築しているが、生産量が限られており、主要な卸先である地元スーパでも品薄状態が続いている。
- ＜出荷量＞ 5月：瓶3,394本、樽170ℓ、6月：瓶3,743本、樽60ℓ

TOSACO(とさこ)と申します。

土佐の素材を思い、山田にて生まれる、とさこのビール、それがTOSACOです。

ALC. 6%

モリタイ

酒造 高知家ビジネスコンテラ

クラフトビール

ピスター

インテグリティビール

エール (IPA)

ALC. 5%

ほのかに

香りの

上品なゆず

酒造 高知家ビジネスコンテラ

クラフトビール

ピスター

インテグリティビール

エール (IPA)

ALC. 4%

すっきり

爽やかな

飲み心地

酒造 高知家ビジネスコンテラ

クラフトビール

ピスター

インテグリティビール

エール (IPA)

弊社のビール紹介 各500円税別

## 次段階にステップアップ

## 今後の取組

- 1 生産規模の拡大と安定的な生産体制の確立による生産体制の構築**  
生産規模の拡大に向け、設備投資計画を策定するとともに、作業工程を見直し、効率的な生産体制を確立する。  
【平成30年度】生産工程の見直し、備品、設備の充実  
【平成31～32年度】生産規模の段階的な拡大（ラインの増強）  
【平成33～34年度】新たな工場の確保又は建設及び稼働
- 2 地域食材を活用したクラフトビールの地元産外産の推進**  
本県ならではの食材をクラフトビールの副原料にした商品を製造し、積極的な外商活動を展開する。  
【平成30年度】「まるごと高知」でのテストマーケティングの実施  
【平成31年～】ブランディング及び戦略的なPR、フェア等への出店
- 3 商工会、観光協会等と連携した地元商店街のにぎわい創出**  
香美市、商工会、商店街、観光協会と連携し、「香美バル」や地域イベント等の集客に繋げる。  
【平成30年度】地元イベント「香美バル」等へ出店  
【平成33年～】地元食材（ジビエ等）を活用したご当地グルメの開発

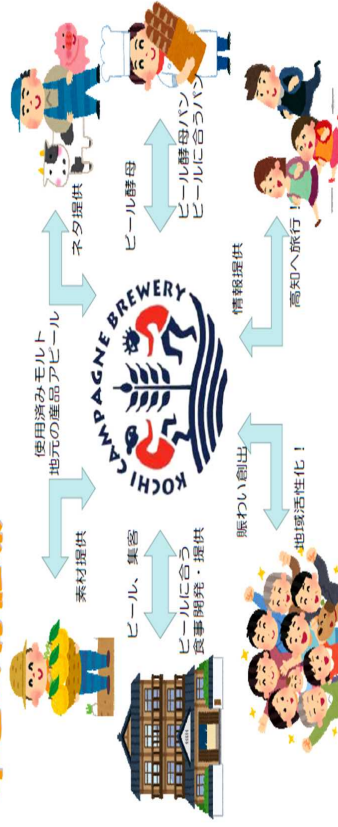
## 香美市発のクラフトビールとしてブランド化

## 地域資源の活用

## 地域雇用の創出

## 商店街の賑わい

## 幸せの好循環



## 直面する課題

- **生産施設の整備**  
小規模の醸造施設では生産能力に限界があり、次段階に向けた整備の導入が必要。
- **人材確保**  
ビール製造・販売・PR活動等をほぼ1人で担っており、新たな人材確保が必要。
- **システム・データ管理**  
味の安定化に向けたシステム化・データ化による管理が必要。
- **商品力の向上によるブランド化**  
特色ある独自ブランドを確立し、県内外に訴求していくことが必要。





修正項目(案)



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 「なの市」なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上 《南国市》	旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」なのカフェで、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。	・JA長岡 ・(株)なの工房	アクションプランの取組開始:H24 ・国道195号線沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン(H25～26) ・売上目標達成に向けた商品構成の見直しやイベントを企画開催 ◆移転拡充により、雇用者数・売上ともに伸びており、農家所得の向上に繋がっている。 ・カフェ部門で、新メニューの提供開始(H27) ・地元果物を使った新商品の販売開始(H28) ・経営改善に向けた産振アドバイザーの導入(H29)	・新商品、新メニューの開発 ・経費削減 ・カフェ部門の経営改善	◆利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発  ◆組織体制や運営方法の改善による経費削減
修正前					

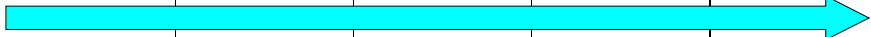


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 《南国市》	旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」なのカフェで、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。	・JA長岡 ・(株)なの工房 ・はたけの食堂 ・Copan	アクションプランの取組開始:H24 ・国道195号線沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン(H25～26) ・売上目標達成に向けた商品構成の見直しやイベントを企画開催 ◆移転拡充により、雇用者数・売上ともに伸びており、農家所得の向上に繋がっている。 ・カフェ部門で、新メニューの提供開始(H27) ・地元果物を使った新商品の販売開始(H28) ・経営改善に向けた産振アドバイザーの導入(H29)	・新商品、新メニューの開発 ・経費削減 ・カフェ部門の経営改善	◆利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発  ◆組織体制や運営方法の改善による経費削減
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						直販所等の売上高 (H22:33,000千円) (H26:171,000千円)	171,000千円
利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発 ・地域特産物を使ったパン、惣菜等の利益率の高いオリジナル商品の開発を行う ・客層に合わせた商品やメニューの開発を行う							直販所等の雇用者数 (H22:3人) (H26:32人)
							
組織体制や運営方法の改善による経費削減 ・会計システムの導入や勤務シフトの見直しによる人件費削減 ・原価率の見直しや財務分析による経費削減							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						直販所等の売上高 (H22:33,000千円) (H26:171,000千円)	171,000千円
利益率が高く、客層にあった新商品、新メニューの開発 ・地域特産物を使ったパン、惣菜等の利益率の高いオリジナル商品の開発を行う ・客層に合わせた商品やメニューの開発を行う							直販所等の雇用者数 (H22:3人) (H26:32人)
							
組織体制や運営方法の改善による経費削減 ・会計システムの導入や勤務シフトの見直しによる人件費削減 ・原価率の見直しや財務分析による経費削減							

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～ 《南国市》	農産物等の6次産業化の推進に向けて、地域資源を活用して特産品開発に取り組む組織・グループを育成するとともに、顧客ニーズに沿った特産品づくりを促進する。また、商品化された加工品の売り込みを通じて、地域の魅力を発信する。	・なんこく空の駅推進協議会・西島園芸団地など既存企業・組織・グループ、新しい組織・グループ ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・(一社)南国市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・地域産品を活用した特産品づくり(H21～) ・農業生産法人実証組織(地域雇用創出実現事業)をもとに、JA南国市が出資する農業生産法人が設立された(H24) ・特産品づくりのための市単独補助金の創設(H24～) ・南国市雇用創出推進協議会による試作品開発や公開セミナー等の実施(H25～27) ・南国FOOD PLUSによる6次産業化の推進及び特産品開発事業費補助金(市単)の活用(H28) ◆特産品づくりに取り組む組織・グループが新たに設立され、商品開発やパッケージ改良等がすすみ、開発商品売上高は増加している。	・特産品づくりに取り組むプレーヤーの育成 ・顧客ニーズに沿った商品づくり、既存商品のさらなる磨き上げ ・開発商品の販路拡大及び外商促進	◆特産品づくりの振興  ◆直販所等の活用により、販路拡大につながる取組(地産地消から外商へ)
修正前					



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～ 《南国市》	農産物等の6次産業化の推進に向けて、地域資源を活用して特産品開発に取り組む組織・グループを育成するとともに、顧客ニーズに沿った特産品づくりを促進する。また、商品化された加工品の売り込みを通じて、地域の魅力を発信する。	・西島園芸団地など既存企業・組織・グループ、新しい組織・グループ ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・南国市商工会 ・(一社)南国市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・地域産品を活用した特産品づくり(H21～) ・農業生産法人実証組織(地域雇用創出実現事業)をもとに、JA南国市が出資する農業生産法人が設立された(H24) ・特産品づくりのための市単独補助金の創設(H24～) ・南国市雇用創出推進協議会による試作品開発や公開セミナー等の実施(H25～27) ・南国FOOD PLUSによる6次産業化の推進及び特産品開発事業費補助金(市単)の活用(H28) ◆特産品づくりに取り組む組織・グループが新たに設立され、商品開発やパッケージ改良等がすすみ、開発商品売上高は増加している。	・特産品づくりに取り組むプレーヤーの育成 ・顧客ニーズに沿った商品づくり、既存商品のさらなる磨き上げ ・開発商品の販路拡大及び外商促進	◆特産品づくりの振興  ◆直販所等の活用により、販路拡大につながる取組(地産地消から外商へ)
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
特産品づくりの振興 ・特産品づくりに取り組むプレーヤー(企業・組織・グループ)の育成 ・特産品づくりのための市単独補助金の活用促進 ・市、商工会、観光協会のコーディネーターから農商工連携を提案することによる特産品づくりの推進 ・テストマーケティング等による既存商品のブラッシュアップ					地域資源を活用した 新たな特産品数 (H26:0品目)	10品目(H28～31 累計)	
直販所等の活用により、販路拡大につなげる取組(地産地消から外商へ) ・直販所や道の駅等の既存施設を活用し、開発した特産品・加工品の販路拡大を図る。 ・地産地消でブラッシュアップされたものを外商に結びつけていく。							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
特産品づくりの振興 ・特産品づくりに取り組むプレーヤー(企業・組織・グループ)の育成 ・特産品づくりのための市単独補助金の活用促進 ・市、商工会、観光協会のコーディネーターから農商工連携を提案することによる特産品づくりの推進 ・テストマーケティング等による既存商品のブラッシュアップ					地域資源を活用した 新たな特産品数 (H26:0品目)	10品目(H28～31 累計)	
直販所等の活用により、販路拡大につなげる取組(地産地消から外商へ) ・直販所や道の駅等の既存施設を活用し、開発した特産品・加工品の販路拡大を図る。 ・地産地消でブラッシュアップされたものを外商に結びつけていく。							



## 高知市地域アクションプランの進捗状況等

H30. 9. 14  
高知市地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

第3期の地域アクションプラン全30項目については、実行支援チームを編成し、各種アドバイザーの導入、助成制度等の活用により、生産体制の強化や経営力の向上、販路拡大等をはかり、それぞれの目標の達成に向け取組を進めている。

地域産業クラスターの取組では、「竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出」について、竹材の集荷や加工・販売などの竹産産を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地への集材エリアの拡大を図るなど、竹資源を活用したクラスターの形成を目指した取組を進めている。

農業分野では、土佐山地区のユズの搾汁残渣の有効活用や、スイーツの製造販売について、平成28年度稼働を開始した施設・設備を活用して新商品の開発に取り組んでいるほか、販路開拓に向け都市圏を中心に営業活動を行っている。また、高知県産イタドリの外商については、鏡地区を中心に栽培産地の拡大に取り組んでおり、ブランドの確立に向け、8月に、生産者と食品メーカー等で作る「イタドリ生産普及販売促進協議会」を設立し、生産から加工・販売が一体となった体制を整備した。

観光・商工業分野では、大型クルーズ客船の寄港などに伴い増加する外国人観光客に対応するため、店舗向けの接客講座を開催するなど、中心商店街における受入体制の強化が図られている。

また、日曜市では新規出店基準を緩和し、農業者以外にも出店の機会を拡げたことにより、新規事業者が出店するなど、担い手を確保する取組が進んでいる。

高知市を核とした周遊観光を促進する取組については、体験型旅行商品の一層の拡がりに向けて、県内各地の地域資源の発掘と新たな商品の開発が進んでいる。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A高知春野</li> <li>・ J A高知春野キュウリ部会</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出荷量（園芸年度）</li> <li style="padding-left: 20px;">H27実績：10,174 t → H29目標：11,104 t（実績9,850 t）</li> <li style="padding-left: 20px;">→ H30目標：11,878 t → H31目標：12,700 t</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出荷量（7月末）：10,454 t（前年同期比：106%）</li> <li>○新たな担い手の確保（8月～） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独立自営就農（3名）</li> <li>・ 研修生（1名）</li> <li>・ 新規就農者支援チーム会での支援策の検討（3回）（4/16、6/13、8/1）</li> <li>・ 新規就農者勉強会（4回）</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業次世代人材投資事業(国)にかかるサポートチーム会(4/12)及びチーム巡回(4/18)</li> <li>・労働力確保プロジェクトチーム会等(4回)</li> <li>○就農希望者募集活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・春野高校就職ガイダンス(5/23)</li> <li>・こうち暮らしフェア(6/24)</li> <li>・市町村合同就農相談会(8/14)</li> </ul> </li> <li>○新防除技術(天敵利用)の確立・普及に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黄化えそ病対策協議会(6/6)</li> <li>・土づくり勉強会(5/25)</li> <li>・キルパー(土壌消毒薬剤)処理現地検討会(6/20)</li> <li>・天敵勉強会(6/14)</li> <li>・天敵利用マニュアルの作成</li> </ul> </li> <li>○生産の収量・品質向上に向けた対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境制御技術導入農家の巡回指導(7回:4/3,4)</li> <li>・現地検討会の支援(7回:4/20)</li> <li>・環境制御技術の成果発表及び勉強会(5/24,6/25,8/21)</li> </ul> </li> <li>○流通・販売・消費拡大に向けた対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・量販店での販売促進活動の実施(3回)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地の維持拡大のための担い手確保 ⇒担い手研修生の就農に向けた受入支援の継続 ⇒JA高知春野無料職業紹介所の設置</li> <li>・高収量・高品質化のための技術導入 ⇒黄化えそ病対策の徹底 ⇒環境制御技術や新防除技術 (天敵利用、キルパー処理の普及促進)</li> </ul>
<p>■No.3 生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA高知市</li> <li>・JA高知市長浜支所園芸部花卉部会</li> <li>・JA高知春野</li> <li>・JA高知春野花卉部会球根部会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(園芸年度) H27実績:3.8億円→H29目標:3.5億円(実績:2.9億円) →H30目標:3.5億円→H31目標:3.8億円</li> <li>○摘蕾実施農家率(園芸年度) H27実績:50%→H29目標:60%(実績:73%) →H30目標:78%→H31目標:67%</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出荷量(7月末見込み):1.9億円(前年同期比:99%)</li> <li>○市場ニーズに応じた生産出荷対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引市場を交えた目慣らし会の実施(4/5)</li> <li>・植付計画検討会の実施(7/12)</li> </ul> </li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低エタノール土壌消毒現地試験 (7/6、7/9)</li> <li>○品質向上対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な目慣らし会の実施 (6回)</li> <li>・H29年度炭酸ガス施用試験結果の報告及びH30年度試験内容の検討</li> </ul> </li> <li>○新たな販売戦略の検討と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地提案書に基づくH30年度活動計画の検討</li> <li>・ユリでの就農について、新規就農者へ説明 (7/13)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者及び出荷量が減少する中での販売額の維持・拡大 ⇒市場ニーズを踏まえた品種の育成 ⇒県内外からの新規就農者の確保</li> </ul>
<p>■No.7 新ショウガの生産振興(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA高知春野</li> <li>・JA高知春野ショウガ部会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(園芸年度) H27実績:7.91億円→H29目標:8億円(実績:8.69億円) →H30目標:8億円→H31目標:8億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(7月末):8.65億円(前年同期比107%)</li> <li>○収量・品質向上に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭酸ガス施用試験結果の掘り取り調査(4/6)</li> <li>・ファインバブル水施用試験結果の掘り取り調査 (4/27、5/28)</li> </ul> </li> <li>○流通・販売・消費拡大に向けた対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野、東京、大阪、横浜の量販店で試食宣伝による販売促進活動(4/20~22、5/19~20、6/2~3、9~10)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○収量・品質向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭酸ガス施用試験を通じた技術の確立</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.8 ユズを核とした中山間農業の活性化(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA高知市</li> <li>・JA高知市土佐山柚子生産組合</li> <li>・土佐山ファクトリー協同組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(1~12月) H26実績:0.8億円→H29目標:1.4億円(実績:1.8億円) →H30目標:1.8億円→H31目標:1.9億円</li> <li>○未活用(廃棄)果皮 H24-26平均実績:111t→H29目標:0t(実績0t) →H30目標0t→H31目標0t</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生産拡大に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ栽培技術情報誌の作成と配布(3回)</li> <li>・定植苗木の定植指導(1回)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地検討会開催 (7/20)</li> <li>○担い手確保に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農者希望者の研修受入のための指導農業士の確保 現在1名が申請中</li> <li>・県新規就農推進事業活用による生産拡大等に向けた産地提案書の変更について検討 (8月)</li> <li>・共同防除に関する検討 (8回)</li> <li>・共同防除: 1事例</li> </ul> </li> <li>○搾汁残渣を活用したユズ精油等の販促活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外都市圏の大手香料メーカーなどとの商談 (成約4件)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地の維持拡大に向けた担い手の確保 ⇒JA高知市無料職業紹介所等を通じたユズ収穫作業労働者の確保 ⇒産地提案書による新規就農者の募集と確保</li> <li>・販路拡大 ⇒首都圏・関西圏を中心とした営業活動の強化 ⇒搾汁残渣から抽出される蒸留水の販売先確保</li> </ul>
<p>■No.10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一財) 夢産地とさやま開発公社 等</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 H26実績:1.03億円→H29目標:1.92億円(実績1.70億円) →H30目標1.97億円→H31目標:2.02億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 (6月末): 33,427千円 (前年同期比: 93%)</li> <li>○各種商談会への出展による販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファベックス2018 (4月)</li> <li>・高知県産品商談会 (5月・11月)</li> </ul> </li> <li>○各イベント出店、インターネットによる販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐の食1グランプリ (4月)</li> <li>・よこせとにぎわい市 (5月)</li> <li>・水のふるさとフェスティバル (6月)</li> <li>・高知大丸ディスカバリー高知 (6月)</li> <li>・販売サイト「土佐山マルシェ」の開始 (5月)</li> <li>・大手通販サイトへの出品開始 (6月)</li> </ul> </li> <li>○スイーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売戦略見直しのため産振アドバイザーを活用 (6月～)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スイーツ事業</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各店舗の売上の安定化及び拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒販売戦略の見直し(提供メニュー、営業時間等)</li> <li>⇒生産性向上に向けた人員体制の見直し及び社員教育</li> <li>⇒新たな加工品開発による商品ラインナップのさらなる充実</li> <li>⇒集客増に向けたイベント等への参加</li> </ul> </li> <li>○その他加工品事業(ジンジャーエール等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒商談会等への出展、日曜日等での対面販売の強化、セット商品の販売やネット販売、ふるさと納税返礼品での展開</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 11 直販店を核とした鏡地域の活性化(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡村直販店組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績:1.62 億円→H29 目標:1.66 億円(実績 1.55 億円)</li> <li>→H30 目標:1.68 億円→H31 目標:1.7 億円</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(H30.1~7月):0.90 億円(前年同期比:94%)</li> <li>○消費者ニーズに対応した生産対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他産地からの農産物の出荷(1件、4月)</li> <li>・組合員への現地巡回指導(4~6月、ナス、シントウ、キャベツ、ハクサイ、イチジク、サツマイモ、キビ等)</li> <li>・土着天敵の試験ほ場の設置と調査(4~6月、3カ所、週1回)</li> <li>・新規栽培者への相談対応(6月、オレンジ栽培の決定)</li> </ul> </li> <li>○販売促進に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節イベントや商材を使った料理講習会の実施(6月)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品ラインナップの充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒他産地からの仕入協議及び防除技術の実証・組み立て</li> <li>⇒新たなPOSシステム導入による消費者ニーズに合わせた販売対策の実施</li> </ul> </li> <li>・販売額の増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒イベント等を活用したPRの強化</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 12 「食」の提供による地域農産物の消費拡大</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA高知市</li> <li>・JA高知市女性部</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直販所販売額 <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績:74,609 千円</li> <li>→H29 目標:75,304 千円(実績:85,366 千円)</li> <li>→H30 目標85,000 千円→H31 目標:90,000 千円</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○加工グループ販売額 H27実績：25,136千円 →H29目標：25,568千円(実績：32,088千円) →H30目標：33,500千円→H31目標：35,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○直販所販売額(H30.1～6月)：42,438千円 (前年同期比：104%)</p> <p>○加工グループ販売額(H30.1～6月)：16,561千円 (前年同期比：111%)</p> <p>○加工グループの加工品の販売拡大に向けた取組 ・POSデータ分析による課題の検討、取組の進捗管理、製造計画の策定(2回)</p> <p>○加工品の内容充実に向けた取組 ・産振アドバイザーによる新メニューの開発(5/14)</p> <p>○作業時間の短縮によるコスト削減に向けた取組 ・加工器具の洗浄機の導入について検討(5/14)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>・加工事業の維持拡大に向けた取組 ⇒生産性向上に向けた人材育成 ⇒新規メニューの導入や既存メニュー等の磨き上げ</p>
<p>■No.13 伝統作物の復活と関連産業の振興 (高知市)</p> <p>《事業主体》 ・Team Makino</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○販売額 H27実績：0円→H29目標：800千円(実績：801千円) →H30目標：1,000千円→H31目標：9,000千円</p> <p>○品目数・面積(累計) H27実績：0品目・0a →H29目標：5品目・20a(実績：4品目・14.5a) →H30目標：6品目・20a→H31目標：10品目・150a</p> <p>○加工品数(累計) H27実績：0品目→H29目標：2品目(実績：2品目) →H30目標：5品目→H31目標：7品目(累計)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○普及啓発に向けた取組 ・Team Makino総会において活動計画の検討(4/28) ・小学校の食育活動への支援(7/11、7/25)</p> <p>○生産拡大に向けた取組 ・種子保有量・作付計画の確認(1回) ・採取圃の設置(5月) ・新規栽培者の確保(1人)と栽培指導(4回)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成 30 年度植物品種等海外流出防止総合対策事業」採択決定 (7/23)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統野菜の新規生産農家の確保及び栽培面積の拡大 ⇒集落営農組織等の生産意欲のある団体へ情報提供・普及活動</li> </ul>
<p>■No. 16 森の工場の拡大による原木の増産 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知市森林組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森の工場面積 (累計) H26 実績 : 1,453ha→H29 目標 : 1,900ha (実績 : 2,460ha) →H30 目標 : 2,600ha→H31 目標 : 2,600ha</li> <li>○素材生産量 H26 実績 : 2,660 m<sup>3</sup>→H29 目標 : 3,600 m<sup>3</sup> (実績 2,376 m<sup>3</sup>) →H30 目標 : 3,800 m<sup>3</sup>→H31 目標 : 4,200 m<sup>3</sup></li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森の工場面積 (9 月末見込) : 2,460ha (累計)</li> <li>○素材生産量 (9 月末見込) : 302 m<sup>3</sup> (前年同期比 59%)</li> <li>○原木増産に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村、森林組合、事業体を対象とした林業振興関係事業説明会の開催 (4/27)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験豊富な伐採作業員の減少による生産性の低下 ⇒伐採事業地を増加させることで、伐採経験機会をさらに拡大し、作業員の技術力を向上</li> <li>・ 平成 30 年 7 月豪雨による影響による生産量の減 ⇒作業道の災害復旧事業による支援</li> </ul>
<p>■No. 18 イタドリの外商推進による中山間地域の振興 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知県食品工業団地事業協同組合</li> <li>・ 連携農家</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○加工品販売額 H28 実績 : —→H29 目標 : 5,000 千円 (実績 : 2,000 千円) →H30 目標 : 10,000 千円→H31 目標 : 30,000 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○加工品の販路開拓・販促活動に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種展示商談会への出展 ファベックス 2018 (4/11~4/13) 高知県産品商談会 (5/29)</li> <li>・ 食品メーカーによるイタドリを用いた新商品の開発 (4 月~)</li> </ul> </li> <li>○高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 高知市鏡支所においてイタドリ加工技術講習会の実施 (4/27、35 名)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡産イタドリ苗(ポット苗)の販売(4月)</li> <li>・高知県イタドリ普及販売促進協議会発起人会の開催 (7/9)</li> <li>・高知県イタドリ普及販売促進協議会設立総会の開催 (8/9)</li> </ul> <p>○鏡地域における産地強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イタドリ実証圃場の生育調査(4月～、8回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の外商強化・ブランド化の推進 ⇒市場ニーズに対応した原料の確保 ⇒産地と販売者が一体となった組織(イタドリ普及販売促進協議会)による事業推進体制の強化</li> <li>・高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大 ⇒新たにイタドリ栽培に着手する地域への技術講習会等の実施</li> </ul>
<p>■No. 19 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)スタジオ・オカムラ</li> <li>・連携農家</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○販売額</p> <p>H26実績: 45,110千円 →H29目標: 70,000千円(実績: 56,000千円) →H30目標: 70,000千円→H31目標: 120,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○販売額(6月末): 22,781千円(前年同期比: 141.8%)</p> <p>○百貨店・高質系スーパー等への外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の採用(OEMも含む)(4月～): 5件</li> <li>・高知県産品商談会への出展(5/29)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料の供給体制の強化 ⇒原料調達可能な連携農家への個別協議の実施</li> <li>・安定的な売り先の確保 ⇒既存取引先を中心とした営業の強化による販売拡大 ⇒秋冬時期に向けたセット商品の開発</li> </ul>
<p>■No. 20 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)コスモ工房</li> <li>・(同)高知竹材センター</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p>H27実績: 90,000千円 →H29目標: 100,000千円(実績: 80,890千円) →H30目標: 75,000千円→H31目標: 160,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○売上高(6月末): 19,259千円(前年同期比: 91%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連（竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出）</p>	<p>○集材・加工体制の維持・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用ブラシの受注増対応に向けた原竹の集材確保等についての関係者協議（6月）</li> </ul> <p>○安定経営に向けた計画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業戦略策定の検討（(株)コスモ工房）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原竹の収量増 ⇒土佐山地域周辺の出荷者の確保及び集材エリアの拡大に向けた体制整備</li> <li>・労働力の確保 ⇒地域への呼びかけによる竹ブラシの検品・穴あけ作業等のパート・アルバイトの募集継続</li> <li>・自動車のモデルチェンジによる竹ハンドル部材の需要量変動への対応 ⇒安定的な生産量の確保 ⇒新たな製品需要の掘り起こし及び販促活動</li> <li>・業務用ブラシの取扱量及び生産量の拡大 ⇒加工機械等の導入検討</li> </ul>
<p>■No. 21 防災食の開発・製造・販売（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県食品工業団地事業協同組合の企業等</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○アイテム数（累計）</p> <p>H26 実績：3→H29 目標：6（実績：3） →H30 目標：6→H31 目標：10</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○アイテム数（7月末）：3（累計）</p> <p>○新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発中商品：2</li> </ul> <p>○既存商品の用途拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車メーカーに対して車内保存用防災食品の提案 ⇒採用に向けてメーカーと協議中</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発力の向上 ⇒商品開発に係る公的機関等との連携強化</li> <li>・販路拡大 ⇒展示会等への出展による営業活動の強化及び自治体・企業等の防災食ニーズの把握</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.22 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市</li> <li>・高知市商店街振興組合連合会ほか関係団体</li> </ul>	<p>[目標 (H34)] ※第二期中心市街地活性化基本計画の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地の居住人口の割合 H30 目標：—→H34 目標：1.65%</li> <li>○歩行者通行量 H30 目標：—→H34 目標：123 千人/2 日・17 地点</li> <li>○拠点施設入館者数 H30 目標：—→H34 目標：1,748 千人/年</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高知市中心市街地活性化基本計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 10 回高知市中心市街地活性化協議会の開催（4/26）</li> <li>・内閣府へ第一期計画の最終フォローアップ報告（5/16）</li> </ul> </li> <li>○街なかにおけるにぎわいづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち春花まつりの開催（5 月）</li> <li>・第 10 回まちゼミの開催（5 月）</li> <li>・土曜夜市の開催（6/30～7/28 までの毎週土曜日）</li> <li>・まちなかよさこいの実施（4/8～6/10 までの毎週日曜日）</li> <li>・商店街各種イベントの開催 板垣生誕祭（5 月・天神橋通商店街） おまちにヒーロー（6 月・壱番街商店街） 高知大道芸フェス（9 月・高知市再開発協議会）</li> <li>・中心市街地活性化検討部会の開催（6/12、7/24）</li> <li>・高知市中心商商店街における情報発信等について関係各所との協議（5/13、7/12、8/3）</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街東部エリアのさらなる活性化</li> <li>・外国人観光客の受入態勢の充実 ⇒中心商店街に外国人観光案内所を設置</li> </ul>
<p>■No.23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市、出店者 4 組合ほか関係団体等</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規出店数 H26 実績：14 件→H29 目標：20 件(実績：13 件) →H30 目標：20 件→H31 目標：20 件</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規出店数（6 月末）：4 件</li> <li>○街路市活性化に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土佐の日曜市散策と生鯉の薫焼きタタキ体験」をセットにした旅行商品の販売開始（4 月）</li> <li>・空き小間の活用、集客イベント等について街路市運営協議会で協議（5 月、7 月）</li> <li>・日曜市事務所の設置（7 月）</li> </ul> </li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「れんけいこうち日曜日出店事業」の実施(7/15～)</li> <li>○街路市のPRに向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日空機内誌「翼の王国」(H30年5月号)への日曜日紹介の記事掲載</li> <li>・高知求人ネットへの「街路市出店者募集」掲載(7月～)</li> </ul> </li> <li>○出店基準の規制緩和(H30年度から適用) <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ出店制度の創出</li> <li>・店舗を持つ事業者の出店適用範囲を整理</li> </ul> </li> <li>○街路市を活用した職場学習等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知商業高校生徒による日曜日販売体験の実施(通年)</li> <li>・高知県立農業大学校の日曜日出店(通年)</li> <li>・県内小学校児童の木曜日での学習会の実施(通年)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規出店者のさらなる拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒出店基準の緩和等についてのチラシ制作や農協、生産農家等へのPR強化</li> </ul> </li> <li>・地元利用客の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒パンフレットの配布や他団体広報誌、旅行雑誌等への広報掲載、ホームページ等を活用した情報発信</li> </ul> </li> <li>・街路市の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒新規出店者の増加と既存店舗の品揃えの充実</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 24 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)城西館等</li> <li>・高知市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績：約93.4万人</li> <li>→H29目標：113.6万人(実績：108.2万人)</li> <li>→H30目標：120万人→H31目標：127.3万人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：214,603人(5月末) (前年同期比：113.8%)</li> <li>○城西館による着地・体験型旅行商品「とき恋ツアー」の実施・企画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域や東部地域などのツアーメニューの企画(4月～)</li> <li>・大手旅行会社からの要望による企業旅行・サークル旅行などの団体向け旅行商品の企画・提案(4月～)</li> <li>・新たなツアーの検討に向けた関係事業者等との協議(6/15 室戸市、6/28 東洋町)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着地・体験型旅行商品の開発による観光資源の磨き上げ ⇒企業旅行・サークル旅行等に対応するため、集落活動センターや地域A P等を絡めた旅行商品の磨き上げ</li> </ul>
<p>■No. 25 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市</li> <li>・(公社) 高知市観光協会ほか関係団体等</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よさこい祭り来場者数 (近年の最高来場者数の維持) H26 実績 : 1,200 千人 →H29 目標 : 1,200 千人 (実績 : 1,100 千人) →H30 目標 : 1,100 千人→H31 目標 : 1,200 千人</li> <li>○高知よさこい情報交流館入館者数 (累計) H25. 4. 27~H27. 3. 31 実績: 119,643 人 →H29 目標 : 290 千人(実績 : 283 千人) →H30 目標 : 345 千人→H31 目標 : 400 千人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高知よさこい情報交流館入館者数 (6月末) : 297,887 人(累計) ・累計入館者 30 万人達成</li> <li>○よさこい発祥の地P R及び普及促進 ・まちなかよさこいの開催 (4/8~6/10 までの日曜日) ・こうち春花まつり (5/3~5/5)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よさこい鳴子踊りの持続・発展及び県内外でのP R ⇒2020 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた全国のよさこいと連携 ⇒踊り子の参加しやすい環境整備</li> </ul>
<p>■No. 27 浦戸湾を活用した観光の振興 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐レジン</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光遊覧船の乗船客数 H26 実績 : 0 人→H29 目標 : 1,400 人(実績 1,631 人) →H30 目標 : 1,800 人→H31 目標 : 2,000 人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光遊覧船の乗船客数(7月末) : 351 人 (前年同期比 : 44.5%)</li> <li>○利用客拡大に向けた取組 ・新たなクルーズツアーの検討に向けた関係者協議 (4月~) ・御豊瀬まつり (浦戸湾ワンコインクルーズの実施) に向けた協議 (7/10) ・SNS、HPによる情報発信 ・公共交通機関等でのパンフレット配布</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗船客のさらなる増加</li> <li>⇒県内外に向けたPRの強化</li> <li>⇒旅行会社を絡めたクルーズツアー商品の開発</li> </ul>
<p>■No. 30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知おせっかい協会</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品表記の多言語化店舗数(累計)</li> <li>H26実績:0店舗→H29目標:50店舗(実績:48店舗)</li> <li>→H30目標:60店舗→H31目標:100店舗</li> <li>○オセッカイストの認定者数(累計)</li> <li>H26実績:0人→H29目標:150人(実績190人)</li> <li>→H30目標:230人→H31目標:300人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品表記の多言語化店舗数(8月末見込み):50店舗</li> <li>○オセッカイストの認定者数(8月末見込み):200人</li> <li>○中心市街地の店舗関係者を対象とした接客講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張型接客英会話個別講座の開催:1回</li> </ul> </li> <li>○外国人観光客への観光ガイド等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国客船の来航に伴う観光ガイド等(4回)</li> </ul> </li> <li>○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おせっかいメルマガ」による情報発信(7/11～)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の維持・拡大に向けた組織体制の強化及びサービスの充実</li> <li>⇒組織体制の強化に向けた法人化の検討</li> </ul>

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)  
該当なし

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目  
該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・四国電力高知支店に対して地域アクションプランの取組について説明(4/6)
- ・高知銀行、四国銀行に対して地域アクションプランの取組について説明(4/9)
- ・「土佐山の日」に土佐山地区住民や関係団体に対して産業振興の取組について説明(4/29)
- ・農事組合法人梅ノ木ファーム設立総会にて、役員及び組合員に対して産業振興の取組について説明(5/18)
- ・第7回長宗我部まつりにて、参加者及び関係者に対し産業振興の取組について説明(5/20)

- ・春野商工会等に対して地域アクションプランの取組について説明（5/25）
- ・平成30年度第3回あじさいまつり実行委員会にて産業振興の取組について説明（5/31）
- ・特定非営利活動法人土佐山アカデミーとの情報交換会にて産業振興の取組について説明（6/8）
- ・その他、訪問、来所企業等に対して第3期計画 ver.3 の説明

## 5 相談案件：8件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	宿泊業	土佐備長炭の仕入れについての相談
2	4/19	製造業	陶芸教室の教育現場へのPRについての相談
3	4/28	食品加工業	食品事業者の新規店舗の出店について相談
4	5/18	販売業	地域特産物のカタログ販売について相談
5	5/25	製造業	商品パッケージの作成についての相談
6	7/20	移住	高知市への移住について相談
7	7/27	観光業	観光地整備に係る支援制度について相談
8	7/27	園芸	ふるさと納税返礼品に係る商品開発について相談

## 嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 1 4  
嶺北地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

嶺北地域アクションプラン（24項目）については、嶺北4町村において相互に関連する取組や、4町村全てに関わる取組が多いことから、常に連携を図りつつ、各町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取組とベクトルを合わせながら推進している。

また、地域アクションプランの取組と連携させた畜産と林業の2つの地域産業クラスターの形成を、地域への波及効果を生み出すべく進めている。

農業分野では、3町のJA出資法人等が中山間農業複合経営拠点として、昨年度に策定（一法人は策定中）した事業戦略に基づく取組を進めている。

畜産分野では、土佐あかうしの増頭が順調に進んでいるほか、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の生産拡大に向けた体制強化を図っている。また、整備された HACCP 対応の食鳥処理・加工施設が稼働したことで、土佐はちきん地鶏の生産から加工・販売までの一貫体制が整いつつあり、これを生かした首都圏等での営業活動に取り組んでいる。

林業分野では、さらなる原木増産に向けて地域内での連携した取組や森林組合への支援に取り組んでいる。また、集落活動センター西峯におけるスギのコンテナ苗の栽培は、今年度から規模を拡大して開始した。

観光分野では、県外企業の監修によるアウトドア拠点施設の整備に向けた取組や、さめうら荘の建設のほか、山岳観光プログラムの磨き上げなどを進めている。また、関西圏などからの教育旅行者が飛躍的に増え、さらなる広域での民泊受入体制の強化を進めている。さらに、さめうら湖を活用したカヌーのまちづくりを進め、嶺北高校の魅力向上も含めた地域の活性化や合宿誘致、集落活動センターと自然体験型観光の連携に向けた取組など交流人口の拡大につながる環境整備に着手している。あわせて、平成31年度に開催する「アウトドア」「生活文化」「食」をテーマとした地域博覧会「土佐れいほく博」の開催に向けた準備も着実に進めている。

そのほか、新たにアクションプランとして追加した地元産の酒米にこだわった日本酒の国内外への販路拡大に向け、蔵元の新工場の整備計画づくりや地元酒米農家の確保に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA 出資型法人 ((株) れいほく未来) を核とする地域活性化の取組 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株) れいほく未来</li> <li>・ JA 土佐 れいほく</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修による新規就農者数 (雇用者数含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>H24~27 実績 (累計) : 8 人</li> <li>→ H29 目標: 3 人 (実績: 2 人)</li> <li>→ H30 目標: 3 人 → H31 目標: 12 人 (H28~31 累計)</li> </ul> </li> <li>○農業経営事業 (園芸) 売上高 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績: 23,670 千円</li> <li>→ H29 目標: 37,300 千円 (実績: 27,745 千円)</li> <li>→ H30 目標: 40,000 千円 → H31 目標: 50,000 千円</li> </ul> </li> <li>○米粉等の販売額 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績: 1.04 億円</li> <li>→ H29 目標: 1.1 億円 (実績: 1.0 億円)</li> <li>→ H30 目標: 1.1 億円 → H31 目標: 1.1 億円</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修による新規就農者数 (雇用者数含む) : 0 人</li> <li>○農業経営事業 (園芸) 売上高 (5 月末) : 793 千円</li> <li>○米粉等の販売額 (6 月末) : 23,340 千円 (前年同期比 101%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業経営事業 (園芸) の打合せ : 3 回</li> <li>・ インターンシップ事業実施 : 1 回、3 人参加</li> <li>・ 栽培技術向上のための米なすチーム会 : 3 回</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンシップ生及び研修生の募集、受入 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 嶺北高校との連携、インターンシップ等による農業に意欲のある研修生の確保及び独立自営就農にむけた支援</li> </ul> </li> <li>・ 栽培技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 野菜栽培管理技術の向上支援</li> </ul> </li> <li>・ 経営の安定・強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 品目の集約、労働力に応じた栽培計画の作成支援</li> </ul> </li> <li>・ 米粉製品の生産効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 作業機械の導入 (こうち農業確立総合支援事業)</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 (本山町、土佐町、大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JA 土佐 れいほく</li> <li>・ (株) れいほく未来</li> <li>・ 肉用牛生産組合</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土佐あかうしの販売額 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績: 1.5 億円</li> <li>→ H29 目標: 2.8 億円 (実績: 2.9 億円)</li> <li>→ H30 目標: 2.8 億円 → H31 目標: 3.0 億円</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土佐あかうしの販売額 (6 月末) : 0.7 億円 (前年同期比 121%)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山町</li> <li>・ 土佐町</li> <li>・ 大豊町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)れいほく 未来飼養頭数（6月末）：284頭 （繁殖雌牛125頭、肥育118頭、子牛41頭）</li> <li>・ レンタル畜舎整備事業：土佐町1戸</li> <li>・ 受精卵移植で生まれた子牛の取引（4月、6月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭 ⇒繁殖雌牛導入事業及び土佐あかうし増頭対策事業 （受精卵移植、キャトルステーション飼育）の継続実施</li> <li>・ 飼育担当者及び飼養管理技術の向上 ⇒OJTの徹底（定期的な勉強会の開催）</li> <li>・ 堆肥の活用 ⇒堆肥の活用に向けた企業との連携（農商工連携事業）</li> </ul>
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産の活性化（大川村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)むらびと本舗</li> <li>・ (一社)大川村ふるさとむら公社</li> <li>・ 大川村</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○黒牛の販売額 H26実績：34,000千円 → H29目標：50,000千円（実績：53,413千円） → H30目標：50,000千円 → H31目標：54,900千円</li> <li>○出荷羽数 H26実績：5.2万羽 → H29目標：8.0万羽（実績：7.6万羽） → H30目標：8.0万羽 → H31目標：12.5万羽</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○黒牛の販売額（6月末）：13,812千円（前年同期比98%）</li> <li>○出荷羽数（6月末）：1.9万羽（前年同期比99%）</li> <li>・ 大川村PT産業振興部会の開催：2回（5/15, 8/2）</li> <li>・ 大川村の活性化に向けた大川村・高知県連携会議での協議：1回（6/15）</li> <li>・ 産振総合補助金活用による食鳥処理・加工施設の稼働</li> <li>・ 産振アドバイザーの活用（食鳥処理及び流通の検証、販売戦略の検討等）：2回（5/11, 7/19）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繁殖雌牛の増頭 ⇒一貫生産体制における繁殖成績のさらなる向上</li> <li>・ 円滑な食肉処理体制の早期構築 ⇒処理工程の改善と職員の技術向上</li> <li>・ はちきん地鶏のブランド化 ⇒首都圏等における営業活動の強化 （営業担当人材の増強と外商会社との連携）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 ⇒方田鶏舎の稼働に向けた整備</li> <li>・堆肥の活用 ⇒新たな堆肥舎建設と活用方法の検討</li> </ul>
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林所有者</li> <li>・自伐林家</li> <li>・森林組合</li> <li>・素材生産事業体</li> <li>・高知おおとよ製材(株)</li> <li>・嶺北広域原木安定供給協議会</li> <li>・大豊町</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○素材生産量 H26実績:98,515 m<sup>3</sup> → H29目標:120,000 m<sup>3</sup>(実績:110,963 m<sup>3</sup>) → H30目標:120,000 m<sup>3</sup> → H31目標:130,000 m<sup>3</sup></p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○素材生産量(6月末):26,824 m<sup>3</sup>(前年同月比91%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材増産推進プロジェクトチーム会:1回</li> <li>・森林組合支援ワーキング:1回</li> <li>・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議(森林組合、事業体計12事業体)</li> <li>・間伐関係補助事業の周知</li> <li>・ストックヤード造成工事(H28.4月着手、進入道完成、造成作業/進捗率は6月末現在で全体の65.5%)</li> <li>・原木(C材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発</li> <li>・嶺北広域原木安定供給協議会:1回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬出間伐の生産性向上 ⇒森の工場を中心とした事業地の集約化</li> <li>・皆伐事業地の拡大に伴う再造林の推進 ⇒伐採・再造林の一貫施業の推進、コンテナ苗の普及</li> <li>・林業事業体の体質強化 ⇒木材増産に向けた計画的な生産(皆伐・搬出間伐)</li> <li>・林業従事者及び担い手の育成確保</li> <li>・原木の安定供給 ⇒嶺北広域原木安定供給協議会の取組 必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整に向けたICT化の推進等</li> </ul>
<p>■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成(嶺北地域全域)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○木材の出荷量: H26実績:744 m<sup>3</sup> → H29目標:1,200 m<sup>3</sup>(実績:1,031 m<sup>3</sup>) → H30目標:1,200 m<sup>3</sup> → H31目標:2,000 m<sup>3</sup></p>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)SUN SHOW</li> <li>・レイホク木材工業(協)</li> <li>・吉野川リビング(協)</li> <li>・木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン)</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○木材の出荷量(6月末):157.58 m<sup>3</sup>(9棟)(前年同期比37%)</li> <li>・かがわ家博出展予定(8/18,19)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北材の販路拡大 ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを強化</li> <li>・香川県を中心とした営業活動の展開 ⇒ウッディフェスティバル出展予定(10/6,7)</li> </ul>
<p>■No.10 特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者</li> <li>・(一財)本山町農業公社</li> <li>・土佐町森林組合</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売数量 H26実績:2,350kg → H29実績:2,500kg(実績:336.5kg) → H30目標:2,500kg → H31目標:2,500kg</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売数量(6月末):0kg</li> <li>・生産者の実態把握、生産増加のための訪問:2回</li> <li>・本山町農業公社との打合せ:1回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公社の人員体制の整備 ⇒人材の確保に向けた検討</li> <li>・生産量の増加 ⇒栽培放棄地での生産委託の拡充 農業公社等による集出荷の検討</li> <li>・品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催</li> </ul>
<p>■No.11 嶺北地域の特産品販路拡大への支援(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・NPO法人土佐さめうら観光協会</li> <li>・ポータルサイト利用事業者</li> <li>・土佐町</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県外飲食店等との直接取引による販売額 H27実績:0円 → H29目標:16,000千円(実績:12,819千円) → H30目標:16,000千円 → H31目標:85,200千円</li> <li>○ポータルサイト年間売上高 H26実績:564千円 → H29目標:700千円(実績:252千円) → H30目標:700千円 → H31目標:1,200千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県外飲食店等との直接取引による販売額(6月末) :4,450千円(前年同期比492%)</li> <li>○ポータルサイト売上高(6月末):42千円(前年同期比68%)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受発注管理システムを活用した地産外商の実施</li> <li>・直接取引飲食店等：40件</li> <li>・直接取引関係生産者等：15件</li> <li>・ホームページへのアクセス数（6月末）：854件 (前年同期比84%)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅を拠点とした新たな販売モデルの構築 ⇒地産地消の取組との連携（農産物の量的確保）</li> <li>・効率的な集荷システムの構築 ⇒新たな集荷スペースの設置に向けた検討</li> <li>・ポータルサイト売上高の増加 ⇒ポータルサイトのリニューアルの検討 ⇒通販商品の確保</li> </ul>
<p>■No.12 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会</li> <li>・商工会</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○調達額（H28～31累計）</p> <p>H27実績：0円 → H29目標：2,100千円（実績：1,077千円） → H30目標：5,000千円 → H31目標：15,000千円</p> <p>○嶺北地域のプロジェクト数</p> <p>H27実績：0件 → H29目標：3件（実績：1件） → H30目標：3件 → H31目標：5件</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FAAVO 高知運営体制に係る協議（5/31）</li> <li>・高知銀行嶺北及び豊永支店との情報共有会議（7/27）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制の変更による今後の運営方法 ⇒地域での活用を促進する運営方法の検討</li> </ul>
<p>■No.13 ばうむ合同会社による地域資源（木材・米）活用の取組（本山町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばうむ合同会社</li> <li>・本山町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○木工製品全般の売上高</p> <p>H26実績：33,000千円 → H29目標：79,000千円（実績：36,634千円） → H30目標：84,000千円 → H31目標：89,000千円</p> <p>○焼酎の販売額</p> <p>H26実績：4,655千円 → H29目標：11,700千円（実績：5,985千円） → H30目標：15,650千円 → H31目標：19,590千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○木工製品全般の売上高（6月末）：9,428千円 (前年同期比122%)</p> <p>○焼酎の販売額（6月末）：1,134千円（前年同期比67%）</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大・販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>取引先累計：172件(6月末)</li> <li>「販促 Expo」への出展・商談(7月)</li> <li>「かがわ家博」での販促活動(8月)</li> </ul> </li> <li>・親子学習机づくり等ワークショップの開催(6月末) <ul style="list-style-type: none"> <li>: 3回・12組39人</li> </ul> </li> </ul> <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大・販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>取引先累計(6月末)：230店舗</li> <li>販売本数(6月末)：870本</li> </ul> </li> <li>・イベント出展(6月末)：6回</li> <li>・ひろめ市場での定期的な試飲販売(5月～)</li> <li>・シンガポールでの営業(6月)</li> <li>・新商品「土佐泡盛 REIHOKU 35% 玄米&amp;白米仕込」の限定販売の開始(6月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒営業活動の強化、海外へのアプローチ、商品開発</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 14 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豊町碁石茶協同組合</li> <li>・(株)大豊ゆとりファーム</li> <li>・大豊町</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○碁石茶関連商品の総販売額(1～12月) <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績:0.1億円</li> <li>→ H29目標:0.18億円(実績:0.28億円)</li> <li>→ H30目標:0.32億円 → H31目標:0.6億円</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○碁石茶関連商品の総販売額(1～4月)：0.08億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>(前年同期比70%)</li> </ul> </li> <li>・販促活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>見本市への出展(4回、延べ11日)</li> </ul> </li> <li>・H30年度生産開始(H30.5～)</li> <li>・地域おこし協力隊の導入(H30.4～新規1名)</li> <li>・機能性表示申請に向けた関係機関との協議：4回 <ul style="list-style-type: none"> <li>(H30.4～)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生産者の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒担い手確保や支援体制の構築に向けた検討</li> </ul> </li> <li>・営業体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ハローワークでの人材募集</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さめうらこむ</li> <li>・犬小屋製作工房 K</li> <li>・土佐地区商工会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>(犬小屋製作工房 K)</p> <p>○注文数</p> <p>H27 実績:500 件 → H29 目標:600 件(実績:468 件)</p> <p>→ H30 目標:600 件 → H31 目標:750 件</p> <p>(さめうらこむ)</p> <p>○従業者数</p> <p>H27 実績:4 人 → H29 目標:5 人(実績:5 人)</p> <p>→ H30 目標:5 人 → H31 目標:6 人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○注文数(6月末):118 件(前年同期比 74%)</p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <p>○従業者数:5 人 [さめうらこむ]</p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン及び紙面での商品 PR・販売</li> </ul> <p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの商品 PR・販売</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場ニーズの変化</li> </ul> <p>⇒ニーズに応じた新たな商品の開発</p> <p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路の拡大</li> </ul> <p>⇒新たな商品の開発</p>
<p>■No. 16 嶺北地域で140年間続く酒蔵の地産外商を核とした地域活性化(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐酒造(株)</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p>H28 実績:135,000 千円</p> <p>→ H30 目標:145,000 千円 → H31 目標:160,000 千円</p> <p>○地元産原料米調達量</p> <p>H29 実績:77 t → H30 目標:85 t → H31 目標:95 t</p> <p>○従業者数</p> <p>H29 実績:13 人 → H30 目標:14 人 → H31 目標:16 人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○売上高(6月末):30,172 千円</p> <p>○地元産原料米調達量(6月末):0 t</p> <p>○従業員数(6月末):14 人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来戦略本部長の採用(4月)</li> <li>・酒米増産に向けた農家の確保(4月～)</li> <li>・産振総合補助金の採択申請の準備・申請(4～6月)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産振総合補助金を活用した新工場の建設(審査会 7/26) (総事業費:131,597千円 補助金申請額:50,000千円)</li> <li>・海外等のイベントへの参加 Food and Hotel Asia2018(シンガポール)への出展 (4/24~27)</li> <li>四国×酒国 2018 への出展(5/27)</li> <li>東京・パリ・マドリッド・台湾での桂月酒の会の開催 (4月~)</li> <li>・Kura Master2018(フランス) プラチナ賞及び金賞受賞 (6月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大に伴う商品の生産体制の整備 ⇒産振総合補助金を活用した新工場の建設</li> <li>・市場ニーズに対応した衛生管理 ⇒保健所との協議</li> </ul>
<p>■No.17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北地域観光・交流推進協議会</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共関連宿泊施設での宿泊者数 H26実績:11,461人 →H29目標:16,000人(実績:15,721人) →H30目標:17,900人 →H31目標:29,000人</li> <li>○民泊受入世帯数 H26実績:49世帯 →H29目標:90世帯(実績:83世帯) →H30目標:105世帯 →H31目標:120世帯</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共関連宿泊施設での宿泊者数(6月末):3,597人 (前年同期比99%)</li> <li>○民泊受入世帯数(6月末):81世帯(前年同期比96%)</li> <li>・教育旅行の受入(7月末):10件、715人</li> <li>・グルメMAP、広域観光パンフレットの配布(4月~)</li> <li>・嶺北地域4町村観光関係課長会:2回</li> <li>・嶺北地域観光・交流推進協議会:1回</li> <li>・土佐れいほく博開催に向けた協議 幹事会の開催:2回 部会(広報誘客部会、企画受入部会)の開催:3回</li> <li>・旅行会社等への教育旅行のセールス(6月末):28社</li> <li>・土佐れいほく博ロゴマーク決定(6月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行の推進体制の整備 ⇒地域の活動者や行政との連携による研修会の開催 ⇒農家等民泊受入家庭の確保</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒安全管理や体験交流メニュー等民泊の品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐れいほく博の開催に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒土佐れいほく博推進協議会の運営支援</li> <li>⇒観光資源の発掘、既存プログラムの磨き上げ</li> <li>⇒地域観光情報の効果的な収集と発信</li> </ul> </li> <li>・広域観光を担うコーディネート組織の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒土佐れいほく博の開催を通じて必要な機能の検討</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山町</li> <li>・ 大豊町</li> <li>・ 土佐町</li> <li>・ 大川村</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アウトドア拠点施設の利用者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績:0人 → H29 目標:—</li> <li>→ H30 目標:— → H31 目標:50,000人</li> </ul> </li> <li>○白髪山・工石山への観光客数(H28~31累計) <ul style="list-style-type: none"> <li>H24~26 累計:75人 → H29 目標:10人(実績:41人)</li> <li>→ H30 目標:90人 → H31 目標:200人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○白髪山・工石山への観光客数(6月末):12人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山町アウトドアの里づくり推進協議会(5月)</li> <li>・ 地域事業者の育成及び受入体制の充実のためのインストラクターやガイド研修(6月末):8回</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 総会(6月)</li> <li>・ 白髪山登山モニターツアーの開催(6月)</li> <li>・ アウトドアの里拠点施設造成工事の開始(6月~)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アウトドアの里拠点施設建設に向けた土地造成の早期完成 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒スムーズな工事請負契約手続きや関係者間の連絡調整・情報共有</li> </ul> </li> <li>・ 嶺北広域での事業展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒交付金を活用した広域連携事業の実施</li> <li>⇒広域観光組織の機能強化</li> </ul> </li> <li>・ 登山ルートを整備及びガイド育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒アウトドア拠点施設整備の取組と連動して実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大川村</li> <li>・ (一社)大川村ふるさとむら公社</li> <li>・ 本山町</li> <li>・ 大豊町</li> <li>・ 土佐町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○白滝の里施設利用者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績:6,175人</li> <li>→ H29 目標:11,470人(実績:9,977人)</li> <li>→ H30 目標:11,470人 → H31 目標:15,000人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○白滝の里施設利用者数(6月末):2,155人 (前年同月比:64%)</li> <li>・ 日本ロングトレイル協会加入(4月)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石鎚山系連携事業協議会(4月)</li> <li>・石鎚山系連携事業協議会分科会:2回</li> <li>・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催:2回</li> <li>・石鎚山系ルートマップ及びグレーディングを石鎚山系ウェブサイトに掲載、登山アプリでの配信(4月～)</li> <li>・人材の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊の募集(4月～)</li> <li>民間企業との業務委託契約締結(4月)</li> </ul> </li> <li>・白滝の里山歩きツアーの実施(6月末) <ul style="list-style-type: none"> <li>:4回開催、延べ14人参加</li> </ul> </li> <li>・自然を活用した募集型体験ツアー(田舎暮らし体験)の実施(7月末):2回、11名参加</li> <li>・白滝の里施設改修基本計画策定委託業務契約相手先候補者決定(7月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規プログラムの開発及び既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒アドバイザーの助言を活かした周遊ルートの検討</li> <li>⇒ダム湖面を活用した体験メニューの開発</li> <li>⇒石鎚山系連携事業協議会との連携</li> </ul> </li> <li>・人材の育成・確保(プロジェクトリーダー等) <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒地域おこし協力隊の活用、民間企業を活用した専門研修やOJT研修の実施</li> </ul> </li> <li>・白滝の里改修に向けた基本計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒委託先業者の早期決定</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数  H26実績:2万人 → H29目標:2.3万人(実績:2.2万人)  → H30目標:2.4万人 → H31目標:2.5万人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○さめうら荘利用者数(6月末):3,722人(前年同期比62%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント参加者数:延べ51名 <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツフィッシング大会等:4回</li> </ul> </li> <li>・さめうら荘新メニュー開発に係る講習:2回</li> <li>・さめうら荘建設(9月末竣工予定)</li> <li>・ワカサギ釣り導入に向けた環境整備(4月～)</li> <li>・浮き栈橋、カヌーレーン等の整備に向けた調整(5月～)</li> <li>・カヌーのまち嶺北推進協議会総会(6/27)</li> <li>・全中カヌー大会での合宿誘致に向けた営業(7月)</li> <li>・早明浦カヌーアカデミー実施(週2回)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して利用者が訪れる取組の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒カヌー艇庫等練習環境整備の検討・財源の確保</li> <li>⇒湖面・湖畔アクティビティの観光商品化、受入体制の検討</li> <li>⇒湖面利用に関する調整</li> <li>⇒土佐れいほく博に向けた受入体制の整備</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人れいほく田舎暮らしネットワーク</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>○移住者数(H28～31 累計)</p> <p>H24～26 累計:214 人</p> <p>→ H29 目標:80 人 (実績:82 人 (66 件))</p> <p>→ H30 目標:80 人 → H31 目標:280 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○移住者数(6月末):23 人(15 件)(前年同期比:70%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進連絡会の開催:3 回</li> <li>・移住相談受付件数:86 件</li> <li>・空き家調査件数:13 件</li> <li>・お山のでづくり市の開催:1 回</li> <li>・県外の移住相談会への参加:2 回(大阪・東京)(6 月)</li> <li>・土佐町 Web サイト「とさちょうものがたり」による地域情報の発信</li> <li>・新規単身用町営住宅の入居者募集(H30.6 満室)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒空き家改修補助金の活用促進</li> </ul> </li> <li>・移住相談等増加への取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒勉強会の開催や、CCRC、教育魅力化、起業支援(チャレンジショップ等)など、新たな人の流れの構築</li> </ul> </li> <li>・大川村における移住支援体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒集落活動センター結いの里の機能拡充</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組（大豊町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西峯地区活性化推進委員会</li> <li>・大豊町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標]</p> <p>○スギ苗木生産本数</p> <p>H27 実績:1,920 本</p> <p>→ H29 目標:2 万本(実績:0 本(枯損)※)</p> <p>→ H30 目標:4 万本 → H31 目標:4 万本</p> <p>※H29 出荷本数:12,500 本(H27、28 年度播種)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナへの移植(播種:2 月):3.0 万本(5 月)</li> <li>・育苗ハウス整備(2 棟目)(5 月)</li> <li>・播種(8 月)及びコンテナへの移植(9 月):1.0 万本</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移植作業の効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒油圧駆動キャビティ培土圧入機の導入検討</li> <li>⇒新たな労働力の確保</li> </ul> </li> <li>・ 発芽不良及び移植後の苗の生育不良 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒勉強会等の開催による技術向上</li> <li>⇒温度センサー等管理システムの設置の検討</li> <li>⇒かん水作業の効率化(スプリンクラー改良)</li> </ul> </li> <li>・ 継続的な販売先の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒森林組合等事業者との協議の継続</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 24 集落活動センターいしはらの里による地域活性化の取組 (土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしはらの里協議会</li> <li>・ 合同会社いしはらの里</li> <li>・ 土佐町</li> <li>・ 民間事業者((株)FPI)等</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宿泊者数(延べ) <ul style="list-style-type: none"> <li>H28 実績:0人 → H30 目標:100人 → H31 目標:500人</li> </ul> </li> <li>○ 林業研修者(H28~31 累計) <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績:0人 → H29 目標33人(実績:55人)</li> <li>→ H30 目標:60人 → H31 目標:60人</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 林業研修者(6月末):0人</li> </ul> <p>[交流人口の拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしはらの里協議会総会での事業説明(4月)</li> <li>・ 合同会社いしはらの里総会での事業説明(5月)</li> <li>・ 中山間地域対策課アドバイザーとの協議(6月)</li> <li>・ 産振アドバイザーの派遣(7月)</li> <li>・ 城西館との連携による大手旅行会社ツアー受入れ(2回)</li> <li>・ 中山間地域対策課アドバイザーの派遣(7月)</li> <li>・ 基幹ビジネス確立支援事業を活用した施設改修に向けた事業計画の策定(8月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[交流人口の拡大]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入体制確立に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒世代を超えた関係者(地域住民等)の連携</li> <li>⇒宿泊客確保に向けた情報発信</li> <li>⇒体験メニュー及び土産物等の開発</li> </ul> </li> </ul> <p>[森の教習所]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業研修者の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒民間事業者が主催する林業インターンシップ事業との連携</li> <li>⇒民間事業者(FPI)、移住支援団体等との連携による広報の強化、Facebook等による情報発信</li> </ul> </li> </ul>

2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）  
該当無し

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目  
該当無し

4 県民参画に向けた取組

- ・土佐町森林組合理事会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/16）
- ・土佐町地区長会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/20）
- ・土佐わいほく農協理事会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/24）
- ・大川村部落長会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/25）
- ・大豊町区長会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（4/26）
- ・大豊町商工会総会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（5/23）
- ・本山町商工会総会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（5/24）
- ・土佐町商工会総会での第 3 期産業振興計画 ver. 3 の説明（5/25）

5 相談案件： 4 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	農商工	県外出資法人による畜産事業への参入について
2	4/25	農業	果実酒の原料生産について
3	5/8	農業	6次産業化による加工品の開発
4	6/7	産業	再生可能エネルギーに関して

## 仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H30.9.14  
仁淀川地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全37のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取組を進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体的なサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して整備した日高村の直販所「村の駅ひだか」については、平成26年度の開店以降の集客数が4月には70万人を突破し、売上についても、平成31年度目標の2億円を平成29年度中に達成するなど好調である。引き続き、集荷体制の整備や商品の品揃えや加工品の開発など、さらなる売上を目指すとともに、観光案内所機能の充実を図り、体験観光客の誘客においても取組を進めている。

農業分野では、平成28年度末に産振総合補助金を活用して(有)吉本乳業の牛乳製造設備の機能強化を行い、衛生管理の徹底を図るとともに販路拡大に取り組んでいる。また、(株)フードプランにおいても、産振総合補助金を活用して平成29年度に整備した新工場が本格稼働するとともに、関係者と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取組を進めている。

林業分野では、平成28年4月に完成した大型製材工場の原木利用量が増加しており、引き続き、稼働率の向上、製品流通の拡大に継続して取り組むとともに、原木増産と安定確保に向けて管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興を図っている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用し加工施設の拡張整備を行ったことで、衛生管理の高度化や生産性の向上が実現した。これらを基盤に、うるめいわしと他魚種の鮮魚及び加工品のさらなる販路拡大に取り組んでおり、さらには水産業クラスターにおけるウルメ産業の振興の担い手としても大きな役割を果たす一員として、積極的に活動している。

観光分野では、越知町がアウトドアの拠点施設となるキャンプ場の整備を町内2ヵ所で進めており、平成30年4月に日ノ瀬エリアでオープンした「スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド」では、県外からも多くの利用者が訪れている。また、平成29年度から新たに地域アクションプランに追加された、酔鯨酒造(株)の新工場を核とした観光振興の取組においては、インバウンドによる集客も視野に入れた計画を進めており、今秋からの施設見学受入実施に向けて、現在、醸造棟の整備を実施している。

「志国高知 幕末維新博」の地域会場である紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）では、第二幕の開幕以降も入館者は堅調に推移しており、さらなる集客に向けて、「観光クラスター整備計画」に基づく周遊促進の取組や観光情報の発信をこれまで以上に幅広く、またきめ細かに実践し、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標]</p> <p>○薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ H27実績:55ha → H29目標:56ha(実績:49ha) → H30目標:56ha → H31目標:70ha</p> <p>サンショウ H27実績:73ha → H29目標:70ha(実績:65ha) → H30目標:70ha → H31目標:80ha</p> <p>ダイダイ H27実績:28ha → H29目標:30ha(実績:27ha) → H30目標:30ha → H31目標:30ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐 9月末見込)</p> <p>ミシマサイコ:51ha サンショウ:63ha ダイダイ:26ha</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊による栽培支援(4月～)</li> <li>・ミシマサイコ被覆資材処理試験発芽状況調査(6回)</li> <li>・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置(6/1)及び試験処理(3回)</li> <li>・ヒューマンライフ土佐総会(6/4)</li> <li>・ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員1名(県委託事業)を29年度から引き続き配置(4/1～)</li> <li>・サンショウ・ダイダイ栽培講習会(6/21)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した2年株専用品種の栽培技術確立</li> <li>・ミシマサイコの発芽促進 ⇒発芽不良圃場における被覆資材処理効果の検証</li> </ul>
<p>■NO.6 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[目標]</p> <p>○生姜加工品の販売額(園芸年度:10月～9月)</p> <p>H26実績:40,946千円 → H29目標:80,000千円(実績:46,633千円) → H30目標:100,000千円 → H31目標:200,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○生姜加工品の販売額(H29.10月～H30.9月見込): 51,295千円(前年同期比110.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産農家との打合せ会</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生協関係者との現地検討会</li> <li>・商談会への参加</li> <li>・生姜加工の取組に関する協議（4回） 食品ビジネスまるごと応援事業の活用による生姜加工商品のパッケージ等の改良に向けた協議など</li> <li>・HACCP 研修への参加</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム（自社）と幡多地域の農業者との連携した栽培・原料買い上げ拡大を検討</li> </ul>
<p>■NO.7 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西村青果(株)</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生姜等加工品の販売額（10～9月） H26実績：3.4億円→H29目標：4.0億円（実績：4.6億円） →H30目標：4.0億円→H31目標：4.0億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生姜等加工品の販売額（H29.10月～H30.6月末）： 3.45億円（前年同期比 89.3%）</li> <li>・町内取引農家との打合せ：49回</li> <li>・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高（H29.10月～H30.6月末）：147.3t（前年同期比 116%）</li> <li>・平成30年度第1回クラスタープラン検討会議開催(5/28)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ⇒工場既存設備の計画的な更新 ⇒県版 HACCP 第2ステージ取得に向けた取組（PRP 研修及び HACCP 研修の受講）</li> <li>・原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の維持による取引の継続</li> </ul>
<p>■No.8 本川きじの販路拡大（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本川手箱きじ生産企業組合</li> <li>・いの町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 H26 実績：4,913千円 → H29 目標：12,400千円（実績 14,919千円） → H30 目標：12,990千円 → H31 目標：13,580千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(7月末)：4,527千円（前年同期比 103.6%）</li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県産品商談会への参加（5/29）</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者向けの広報ツール作成に向けたステップアップ補助金の活用（8/20 交付決定）</li> </ul> <p>○広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内 PR イベントへの参加：3 回</li> <li>・高知食 1 グランプリへの参加：10 位／45 品</li> </ul> <p>○人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町の地域おこし協力隊へのきじの飼育方法の教育を実施（4 月～）</li> </ul> <p>○施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の施設改修に向けた大川村のはちきん地鶏の食鳥処理施設の視察（6 月）</li> <li>・関係者協議の実施（6 月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進 ⇒県内イベント・県外での商談会における営業活動</li> <li>・衛生管理体制の確立 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討 ⇒大川村のはちきん地鶏の食鳥処理場の視察に基づき、具体的な計画について関係者と協議が必要</li> <li>・運営体制の強化 ⇒定例会を活用した連携体制の強化</li> </ul>
<p>■NO. 10 日高村まるごとブランド化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・J A コスモス</li> <li>・(株) コスモスアグリサポート</li> <li>・(株) イチネンホールディングス</li> <li>・日高村商工会</li> <li>・特定非営利活動法人日高わのわ会</li> <li>・農事組合法人霧山茶業組合</li> <li>・(株) 村の駅ひだか</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○農産物等の販売額</p> <p>H26 実績：4.3 億円</p> <p>→ H29 目標：4.3 億円（実績：4.5 億円）</p> <p>→ H30 目標：4.3 億円 → H31 目標：4.5 億円</p> <p>○「オムライス街道」によるオムライス販売数</p> <p>H27 実績：66,200 食</p> <p>→ H29 目標：67,000 食（実績：82,905 食）</p> <p>→ H30 目標：70,000 食 → H31 目標：100,000 食</p> <p>○商品・加工品開発件数（H28～31 累計）</p> <p>H27 実績：0 件 → H29 目標：7 件（実績：9 件）</p> <p>→ H30 目標：10 件 → H31 目標：10 件</p> <p>○県外からの移住者数（H28～31 累計）</p> <p>H27 実績：2 組 → H29 目標：4 組（実績：7 組）</p> <p>→ H30 年目標：10 組 → H31 年目標：10 組</p> <p>○新規就農者数</p> <p>H27 実績：2 名 → H29 目標：9 名（実績：11 名）</p> <p>→ H30 目標：10 名 → H31 目標：10 名</p>

#### [取組状況]

- 農産物等の販売額(9月末見込):2.02億円(前年比110%)
- 「オムライス街道」によるオムライス販売数(9月末見込):42,745食(前年比94%)
- 商品・加工品開発件数(H28~H30.9累計(見込)):15件
- 県外からの移住者数(H28~H30.9累計(見込)):8組
- 新規就農者数(H28~H30.9累計(見込)):11名
- クラスタープラン:日高村トマト産地拡大プロジェクトの取組推進
  - ・高知県よろず支援拠点コーディネーターのアドバイスにより、わのわ会トマトソース製造工程の省力化に向けた取組を実施
  - ・日高まるごとイタリアンプロジェクトの実施計画策定に向けたステップアップ補助金の活用(8/28交付決定)
  - ・オムライス街道スタンプラリー第5弾キックオフイベントを実施(6/12)
  - ・オムライス街道スタンプラリー第5弾スタート(H30.6/12~H31.3/31)
  - ・日高村絵本コンクール(テーマ:オムライス)最優秀作品の絵本製作、販売による情報発信(7/12販売スタート)

#### [課題と今後の対応]

- ・日高村アグリネットワークの連携強化  
⇒日高村アグリネットワーク会議の開催
- ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上  
⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図る
- ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発  
⇒クラスタープランの推進による新たな商品や加工品の開発
- ・雇用及び移住者の増  
⇒新規参入企業(㈱イチネンホールディングス)による雇用増

■No. 11 仁淀川流域における林業・木材産業の振興（仁淀川地域全域）

《事業主体》

- ・森林組合
- ・林業事業者
- ・素材生産業者
- ・製材業者
- ・自伐林家等

[目標]

○原木生産量

H26 実績：8.0 万 m<sup>3</sup>

→ H29 目標：10.0 万 m<sup>3</sup>（実績：9.3 万 m<sup>3</sup>）

→ H30 目標：11.0 万 m<sup>3</sup> → H31 目標：12.0 万 m<sup>3</sup>

○池川木材工業(有)原木利用量

H26 実績：1.7 万 m<sup>3</sup>

→ H29 目標：3.0 万 m<sup>3</sup>（実績：2.6 万 m<sup>3</sup>）

→ H30 目標：3.5 万 m<sup>3</sup> → H31 目標：5.0 万 m<sup>3</sup>

[取組状況]

○原木生産量（6月末）：2.6 万 m<sup>3</sup>（前年同期比 132%）

○池川木材工業(有)原木利用量（6月末）：0.8 万 m<sup>3</sup>

（前年同期比 123%）

○施業地の集約化及び原木生産の推進

・市町村・事業者等林業関係担当者会の開催（5/11）

・増産に向けた事業者への聞き取り調査

（13 事業者 4/4～5/11、6/25～7/24）

・森の工場事業者個別ヒアリング（13 事業者 6/1・6・11）

・仁淀川流域管理システムの構築及び生産性向上に向けた打ち合わせ（仁淀川町 3 回）

・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導

（高知中央森組 4 回、仁淀川森組 4 回）

・中央西地区路網整備促進会議（6/26）

・市町村路網整備 WG（2 回）

○林業事業者、人材の育成

・森林組合の作業システム改善指導

（高知中央森組 4 回、仁淀川森組 4 回）

○大型製材工場の稼働率向上

・大型製材工場の進捗管理及び指導（5 回）

[課題と今後の対応]

・正確な森林資源情報の早期把握と増産に向けた更なる施業地の確保

⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供、路網整備の促進

・森林組合の経営改善

⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施

・森林管理及び川上・川下の木材需給調整を担うシステム及び組織（仮称：森林管理センター）の構築と人材の確保

⇒仁淀川森林管理推進協議会及び高吾北地域原木安定供給協議会との連携



	<p>林業成長産業化地域創出モデル事業の活用による組織づくり及び人材育成</p> <p>森林資源情報システムの構築及び施業地の集約化の促進</p>
<p>■No. 12 地域性の高い特用林産物の生産拡大 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・特用林産物生産団体</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○シキミ・サカキ生産量 H27 実績：19.0t → H29 目標：19.5t (実績：18.8t) → H30 目標：20.0t → H31 目標：21.0t</p> <p>○マッシュルーム出荷量 H26 実績：14.3t → H29 目標：14.0t (実績：12.4t) → H30 目標：14.0t → H31 目標：22.0t</p> <p>○原木マイタケ生産量 H27 実績：0.1t → H29 目標：0.26t (実績：0.22t) → H30 目標：0.26t → H31 目標：0.6t</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○シキミ・サカキ生産量 (6月末)：1.5t (前年同期比 49%)</p> <p>○マッシュルーム出荷量 (6月末)：2.6t (前年同期比 68%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特用林産推進チーム会 (高知市 2 回)</li> </ul> <p>○シキミ・サカキ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に係る情報収集 (仁淀川町 2 回、いの町 1 回)</li> <li>・生産者への現地指導 (仁淀川町 15 回、佐川町 3 回)</li> <li>・見本林整備 JA 打合せ (3 回)</li> </ul> <p>○マッシュルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に係る情報収集 (5 回)</li> </ul> <p>○原木マイタケ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町、支援企画員との打合せ (2 回)</li> <li>・氷室の里定期総会 (1 回)</li> <li>・氷室の里への現地指導 (2 回)</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町長者だんだんの里等へ特用林産栽培指導 (3 回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○シキミ・サカキ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の高齢化による生産意欲の減少 ⇒意欲ある生産者への支援強化</li> <li>・栽培技術の向上 ⇒森林技術センター等と連携した病虫害防除、高齢株の台切り、剪定等の栽培技術指導</li> </ul> <p>○マッシュルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上</li> <li>・害虫防除対策 ⇒森林技術センター等と連携した技術指導の継続</li> </ul>

	<p>○原木マイタケ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4品目（マイタケ、アラゲキクラゲ、ハタケシメジ、ナメコ）の複合栽培による安定的な収益の確保</li> <li>・集荷、出荷体制の整備等 ⇒森林技術センター等と連携した植菌・培養等の技術指導の継続</li> </ul>
<p>■No.13 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・自伐型林業に取り組む個人・団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○林業関連新規就業者数 H27実績：5人 → H29目標：12人（実績：10人） → H30目標：18人 → H31目標：24人（H28～31累計）</li> <li>○山林の集約化面積 H27実績：0ha → H29目標：200ha（実績：112ha） → H30目標：300ha → H31目標：400ha（H28～31累計）</li> <li>○ものづくりと連携した起業家 H27実績：0人 → H29目標：－ → H30目標：－ → H31目標：3人（H28～31累計）</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○林業関連新規就業者数（9月末見込累計）：12人</li> <li>○山林の集約化面積（7月末累計）：112ha <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊採用6人（自伐型林業2人、ものづくり関連4人）</li> <li>・地域おこし協力隊任期満了者、地域おこし協力隊による任意団体への高密度森林作業道の整備委託（6/18～）（林業成長産業化地域創出モデル事業の一環として、佐川町が実施）</li> <li>・県外視察：町産材を活用した加工品製造に向けての視察（7/26～7/28）</li> <li>・佐川町自伐型林業研修の開催（9/8～9/9、9/22～9/23予定）</li> </ul> </li> <li>○さかわ発明ラボ <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後発明クラブ開催（毎週木曜日）</li> <li>・町産材を活用したWSの開催2回（5/27、8/19）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の集約化 ⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進</li> <li>・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化、自伐型林業者による組織設立に向けた検討</li> <li>・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒運営体制構築の検討、法人設立に向けた検討</li> </ul>

<p>■No. 14 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業組合宇佐もん工房</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○うるめ商品の販売額</p> <p>H26実績：61,550千円 → H29目標：100,000千円 （実績：77,785千円） → H30目標：90,000千円 → H31目標：100,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○うるめ商品の販売額（9月末見込）：43,539千円 （前年同期比 100.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一本釣りうるめ祭りの開催（5/13～5/31）：12店舗参加</li> <li>・イメージキャラクター「うるめもん」を活用した「うるめマップ（土佐市内のうるめ料理提供飲食店8店舗の紹介）」でのシールラリーの実施</li> <li>・新商品の販売開始（サバ・タイの漬け丼）</li> <li>・売上向上に向けた協議</li> <li>・商談会、イベントへの出展</li> <li>・ギフト用詰合せ商品の販売（酒類とのセット商品等）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化</li> <li>・販路拡大及び販売促進 ⇒県版 HACCP 第2ステージ認証のH30年度中の取得に向け、社内に HACCP チームを編成し取組を推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催</li> <li>・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種（サバ・アジ・タイ等）の一次加工処理及び新商品開発による売上確保</li> </ul>
<p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承（土佐市、いの町、仁淀川町、日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手すき和紙協同組合</li> <li>・高知県製紙工業会</li> <li>・いの町紙の博物館</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○土佐和紙の販売額</p> <p>H26実績：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） →H29目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） （実績：4.6億円（機械すき4.14億、手すき0.46億）） →H30目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） →H31目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億）</p> <p>○手すき和紙協同組合加入の事業体</p> <p>H27 実績：31 事業体→H29 目標：20 事業体（実績 18 事業体） →H30 目標：18 事業体→H31 目標：31 事業体</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○手すき和紙協同組合加入の事業体（7月末）：18 事業体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の博物館入館者数（6月末）：6千人（前年同期比 107%）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐和紙関係者意見交換会の開催準備</li> <li>・紙の博物館内における各種体験メニューの提供 (5/3～5/5) 利用者数：計 373 人</li> <li>・夜の紙博実施に向けた打ち合わせ：2 回</li> <li>・ANEX(不織布展示会 6/6～6/8)での土佐和紙展示 PR (製紙工業会)</li> <li>・高知県伝統工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金活用による短期後継者育成 (4 月:1 名、いの町)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の博物館への集客及び土佐和紙商品の販路拡大 ⇒職人・生産者の顔の見える売り場づくり</li> <li>・紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具活用の検討 ⇒道具の状態確認及び保管台帳の作成、修繕対応可能な道具職人の有無についての確認</li> </ul>
<p>■No. 18 いの町中心市街地の活性化 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町</li> <li>・いの町商工会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地での事業所の新規開業 (H28～31 累計) H26 実績：2 事業者 →H29 目標：2 事業所 (実績：3 事業所) →H30 目標：2 事業所→H31 目標：8 事業所</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地での事業所の新規開業 (9 月末見込)： 3 事業所 (トリミング店、司法書士、雑貨屋)</li> <li>○中心市街地活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町内製紙関係者への事業説明 (4/23) 中心市街地の住民・商店街事業者等への事業説明 (4/25、4/26)</li> <li>・拠点施設 (いの町元町仮倉庫) 改修整備 水量調査 (6 月)、基本設計プロポーザル (6 月)</li> <li>・事業案について関係者間協議(5 月末時点：10 回)</li> <li>・土佐和紙職人育成施設の改修案の見直し決定 (7 月)</li> <li>・事業計画策定に向けて協議会を設立・第 1 回協議会を開催 (8/13) 全 3 回開催予定</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化事業実施に向けた商店街事業者や住民を巻き込んだ体制づくり ⇒中心市街地活性化事業の実施に向けた関係各所との協議体である「中心市街地活性化協議会」において、中心市街地活性化計画を策定 計画に基づく振興策の実施</li> <li>・空き店舗の活用 ⇒空き店舗家賃補助事業の実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生姜焼き街道・生姜スイーツの取組のPR・周知</li> <li>⇒イベントに付随した取組の検討など、商工会、観光協会等関係各所との連携によりさらにPR・周知を強化</li> </ul>
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（有）高知アイス</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冷菓等の販売額（1～12月）</li> <li>H26実績：3.75億円</li> <li>→ H29目標：4.32億円（実績：4.75億円）</li> <li>→ H30目標：5億円 → H31目標：5.3億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冷菓等の販売額</li> <li>（1～6月）：1.98億円（前年同期比95.2%）</li> <li>（内訳）</li> <li>海外（卸・催事）販売額（1～6月）：0.37億円 （前年同期比212.2%）</li> <li>国内販売額（1～6月）：1.47億円 （前年同期比83.5%）</li> <li>売店販売額（街カフェ売上含む）（1～6月）：0.14億円 （前年同期比96.4%）</li> <li>・県外、海外（台湾、ハワイ、タイ、シンガポール等）での商談会、プロモーション活動（6月末時点）：6回</li> <li>・新商品発売（モナカアイス3種）</li> <li>・海外（台湾）新規取引：1件</li> <li>・JETROの専門家海外同行事業を活用した海外の販路開拓</li> <li>・中小機構の支援事業を活用し、海外向け（英語）HP製作</li> <li>・県版HACCP第2ステージ取得への取組（フロマージュ）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外での販路拡大及び新商品の開発、販売</li> <li>⇒関西圏及び名古屋の販路開拓</li> <li>⇒香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓</li> <li>⇒TV、新聞等での広報・宣伝活動</li> <li>⇒県産の原料を使用したドリンクの新商品開発検討</li> </ul>
<p>■No. 20（株）フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大（仁淀川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）フードプラン</li> <li>・仁淀川町</li> <li>・庭先集荷の農家</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（株）フードプランの販売額</li> <li>H26実績：4.4億円</li> <li>→ H29目標：6.0億円（実績：6.2億円）</li> <li>→ H30目標：6.3億円 → H31目標：6.4億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（株）フードプランの販売額</li> <li>（H29.10～H30.7月）：5.5億円（前年同期比109%）</li> </ul>

<p>※地域産業クラスター関連（株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29 年度産振総合補助金を活用し新工場及び旧工場改修（4/5 竣工）</li> <li>・ドレッシングの商品化に向けた品質検査を実施（検査終了後に製造・販売予定）</li> <li>・事業戦略の策定に向けた関係機関との調整（7/3、7/24）→10 月策定予定</li> <li>・クラスタープランにおけるプロジェクト推進部会の開催（6/7、7/10）</li> <li>・県版 HACCP（第 3 ステージ）の認証取得に向けた申請準備</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する取引需要への対応 ⇒関係者協議での進捗管理等により、新工場の円滑な運営および販売戦略推進を支援</li> <li>・県内産野菜確保の仕組みづくり ⇒町内を中心とした野菜生産の仕組みの構築に向けた検討（町内耕作放棄地を活用した新規営農等を視野に関係者協議を継続開催）</li> </ul>
<p>■No. 21 仁淀川町における茶を中心とした農産物の 6 次産業化推進（仁淀川町）</p> <p>≪事業主体≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町</li> <li>・(株)ビバ沢渡</li> <li>・町内の 6 次産業化に取り組む事業者</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要事業者の販売額 H27 実績：50,000 千円 → H29 目標：55,000 千円（実績：64,332 千円） → H30 目標：75,000 千円 → H31 目標：95,000 千円</li> <li>○うち(株)ビバ沢渡の販売額 H27 実績：20,000 千円 → H29 目標：22,000 千円（実績：29,126 千円） → H30 目標：56,000 千円 → H31 目標：57,163 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要事業者の販売額（2～6 月）：37,300 千円 (前年比 150%) うち(株)ビバ沢渡の販売額（2～6 月）：24,254 千円 (前年比 172%)</li> <li>○販促活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・village kochi への出店（(株)ビバ沢渡 5/19、20）</li> <li>・第 3 回「生活の楽しみ展」への出展（東京） (トレトレ(株)6/7～11)</li> <li>・料亭濱長での沢渡茶フェア（(株)ビバ沢渡 6/10～7/16）</li> <li>・仁淀川流域の茶販促イベント（愛媛県）（池川茶園 6/30）</li> </ul> </li> <li>○商品開発、販売促進等による経営の持続安定化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規店舗の出店に向けた準備（(株)ビバ沢渡）</li> </ul> </li> </ul>

	<p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ビバ沢渡の販売拡大 ⇒円滑な拠点運営及び経営戦略の推進</li> </ul>
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・JA コスモス</li> <li>・地元農家</li> <li>・地元酪農家</li> <li>・佐川町商工会</li> <li>・地元商工業者</li> <li>・(有)吉本乳業</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○牛乳類商品販売額 H27実績：1.27億円 → H29目標：1.33億円（実績1.22億円） → H30目標：1.45億円 → H31目標：1.57億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○牛乳類商品販売額（H30.6月末）：26,778千円 （前年比89.7%）</li> <li>・さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催：4回 （5/1、6/20、7/27、8/23）</li> <li>・高知県産品商談会への参加 （(有)吉本乳業及び横皇冷菓、5/29）</li> <li>・「仁淀ブルーライド」での地乳PR（6/3）</li> <li>・一般衛生管理勉強会への参加（(有)吉本乳業、8/3）</li> <li>・商品開発に関する協議：3回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の事業内容の検討、学校教育との連携による新商品開発</li> <li>・地乳の販路拡大 ⇒四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり</li> <li>・衛生管理体制の強化 ⇒県版HACCP第2ステージ（認証取得済）に基づく衛生管理手順の遵守及び第3ステージの認証取得に向けた社内体制の構築</li> </ul>
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)岡林農園</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○岡林農園の販売額 H26実績：1.4億円 → H29目標：1.95億円（実績：2.11億円） → H30目標：1.82億円 → H31目標：1.8億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○岡林農園の販売額（H29.9～H30.7月）： 1.76億円（前年同期比88.4%）</li> <li>・Food&amp;HotelAsia2018（シンガポール）への参加 （4/24～4/27）</li> <li>・高知県産品商談会への参加（5/29）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グッドフード&amp;ワインショー（シドニー）への参加 (6/22～6/24)</li> <li>・酒フェスティバルへの参加（6/21）</li> <li>・居酒屋産業展への参加（8/28～8/30）</li> <li>・名古屋フードビジネスショーへの参加予定（9/19～9/20）</li> <li>・5S 推進による体質改善（通年）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織及び経営基盤の強化 ⇒業務用及び海外部門の販売拡大や 5S、県版 HACCP（第 3 ステージ）取得の推進継続</li> <li>・人材（管理職等）の確保 ⇒大学等の就職説明会への参加 ⇒就職・移住相談会への参加</li> </ul>
<p>■No. 24 ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の生産・販売促進（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エスエス</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の販売額 H26 実績：46,760 千円 → H29 目標：70,000 千円（実績：62,257 千円） → H30 目標：70,000 千円 → H31 目標：90,000 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の販売額 (H29.9～H30.8 月末見込)：68,037 千円 (前年同期比 109.3%)</li> <li>○ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の安定的な製造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日産 550 ケース、月産 13,000 ケースを製造</li> </ul> </li> <li>○新商品の開発・販売のサポート <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹粉を活用した自社新商品の開発を検討</li> <li>・製紙スラッジを使用した製品の試験的な製造、販売を開始</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM 先のアース・ペット(株)との連携強化 ⇒原材料（オガ粉）の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保</li> <li>・原材料（オガ粉）の供給量不足への対応 ⇒オガ粉に代わる原材料として、製紙スラッジを使用したシステムトイレ対応ネコ砂の本格的な製造、販売</li> </ul>
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直販市の販売額 H26 実績：104,382 千円 → H29 目標：200,000 千円（実績：232,191 千円） → H30 目標：220,000 千円 → H31 目標：200,000 千円</li> </ul>



<p>・(株)村の駅ひだか</p> <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p>○フットパス等体験観光客数 H26実績：241人 → H29目標：300人（実績：192人） → H30目標：300人 → H31目標：400人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○直販市の販売額（9月末見込）：114,167千円 （前年同期比97%）</p> <p>○フットパス等体験観光客数（9月末見込）：72人 （前年同期比81%）</p> <p>・来客者数（レジ通過）（9月末見込）：103,879人 （前年同期比97%）</p> <p>・H26.11月オープン以降の来客者数（レジ通過） ▶4/27：70万人突破</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>・直販市の機能強化及び観光情報の発信 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒特産品生産者の高齢化に伴う後継者づくり ⇒観光案内所機能の充実 （村の駅駐車場内に新たに案内所を整備し、駅内に現存する対応スペースの移設を予定）</p>
<p>■No.26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社)仁淀ブルー観光協議会</p> <p>・土佐市</p> <p>・いの町</p> <p>・仁淀川町</p> <p>・佐川町</p> <p>・越知町</p> <p>・日高村</p> <p>・(一社)いの町観光協会</p> <p>・仁淀川町観光協会</p> <p>・(一社)さかわ観光協会</p> <p>・越知町観光協会</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 H26実績：4,153人 → H29目標：4,884人（実績：5,023人） → H30目標：5,421人 → H31目標：5,500人</p> <p>○主要宿泊施設の宿泊者数 H26実績：65,410人 → H29目標：69,414人（実績：37,002人※） → H30目標：70,802人 → H31目標：72,000人 ※H29年度休業等施設を除く前年比101%</p> <p>○主要観光施設の入込客数 H26実績：216,458人 → H29目標：250,577人（実績：240,482人） → H30目標：263,106人 → H31目標：276,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数（7月末） ：2,490人（前年同期比143%）</p> <p>○主要宿泊施設の宿泊者数（7月末速報値）：11,575人 （前年同期比98%）</p> <p>○主要観光施設の入込客数（7月末速報値）：82,049人 （前年同期比103%）</p> <p>・ホームページ、SNS等による情報発信</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行エージェントに対するセールス活動（7月末）： 訪問 135 社（首都圏、中部、関西、中国、四国、九州）、 商談会 98 社（名古屋、広島、岡山、高知、福岡）</li> <li>・県内外の集客施設等と連携した物産観光 P R（7月末）： 2 回（東京、愛媛）</li> <li>・クルーズ船物産観光 P R（7月末）：6 回</li> <li>・仁淀ブルーメールマガジンの配信（7月末）：17 本</li> <li>・仁淀ブルー観光協議会総会等の開催</li> <li>・「仁淀ブルーDM0」観光戦略実行ワーキングの開催</li> <li>・JR トロッコ列車「志国高知 幕末維新号」との連携（列車内ガイドの実施など）</li> <li>・仁淀ブルーライドの開催（6/3、全国 24 都道府県 343 人参加）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会関係者（事務局、市町村、観光協会等、県）のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会で仁淀川地域観光振興計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ⇒「仁淀ブルーDM0」観光戦略案ワーキンググループを開催し、官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図る仕組みを構築するとともに戦略推進の P D C A サイクルを実施</li> <li>・仁淀川地域観光関係者の協議会パートナーとしての連携意識醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売</li> </ul>
<p>■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・特定非営利活動法人新居を元気にする会 など</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設来客者数 H27実績：0人 → H29目標：9万人（実績：13万人） → H30目標：15万人 → H31目標：12万人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設来客数(9月末見込)：75,818人（前年同期比 115%）</li> <li>・直販所レジ通過者数（9月末見込）：21,476人 （前年同期比 98.3%）</li> <li>・直販所売上高（9月末見込）：17,700千円 （前年同期比 100.5%）</li> <li>・飲食店レジ通過数(9月末見込)：13,626人 （前年同期 97.1%）</li> </ul>

	<p>・飲食店売上高（9月末見込）：13,070千円  （前年同期比99.2%）</p> <p>○イベントの実施（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本風景写真協会写真展（4/1～5/5）</li> <li>・スイカメロンフェア（6/10）</li> </ul> <p>○テナント間の連携事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごちゃ南風フェス 2018 春(2周年イベント)  (4/28～4/30)</li> </ul> <p>○施設PRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新居緑地公園フォトコンテストの実施</li> </ul> <p>○直販所の集出荷を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP(南風・土佐市役所)での出荷者募集、募集チラシ配布、出張集荷等を実施</li> </ul> <p>○新居緑地公園リニューアルオープン(6/6)による新規ファミリー層の呼び込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所：駄菓子類の提供  公園へのアイスクリン・かき氷の出張販売</li> <li>・飲食店：スイーツ類のPR</li> <li>・かき小屋：ゴムプールの設置</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口を増加させるための仕組みづくり  ⇒観光案内、情報発信の強化  ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり  ⇒観光体験メニュー(カヤック、BBQ、サイクルオアシス等)の提供  ⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催(3テナントが連携したイベント等)  ⇒高知新港に寄港する客船の乗客誘致(出展・出張レンタサイクルなど)</li> <li>・観光交流施設「南風」(直販所・カフェ)の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開</li> </ul>
<p>■No. 28 土佐市における体験型観光と食観光の推進（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・土佐市商工会</li> <li>・宇佐ホエールウォッチング協会</li> <li>・地域づくり団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○体験型・食観光の入込客数</p> <p>H26 実績：約2,500人</p> <p>→ H29目標：3,400人（実績：2,877人）</p> <p>→ H30目標：4,000人 → H31目標：6,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○体験型・食観光の入込客数（9月末見込）  ：2,524人（前年同期比 約92.9%）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPによる予約受付、予約状況の提供</li> <li>・Facebookによるクジラ、イルカとの遭遇結果の情報共有</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホエールウォッチングのさらなる誘客に向けた体制整備 ⇒船体、トイレの改装 ⇒荒天時の代替メニューの検討</li> <li>・担い手の確保 ⇒地域おこし協力隊をホエールウォッチングへ期間的に従事させるべく募集</li> <li>・塚地峠の体験メニュー化 ⇒ガイドグループの磨き上げ</li> </ul>
<p>■No. 29 酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化 (土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・酔鯨酒造株式会社</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>○施設来客者数 (H29 新規 A P) H28実績：0人→H29目標：－ (実績：－) → H30目標：500人 → H31目標：2,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・醸造棟施設の整備 (H30.9月上旬完了予定) ・平成30年11月酒造見学体験開始予定</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験メニューづくり ⇒多様な関係者との協議の場づくり、メニューの洗い出し等</li> <li>・観光客の受入体制の構築 ⇒受入に必要なサービスや施設等の検討、仮見学スペース・フリースペース (ESL ガーデン) の活用方法の検討</li> <li>・誘客の促進 ⇒誘客計画の作成</li> <li>・商品開発 ⇒土佐市の水・米を使った新酒開発の検討</li> </ul>
<p>■NO. 31 いの町本川地区での山岳観光の推進 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町</li> <li>・いの町観光協会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○道の駅木の香温泉・山荘しらさの利用者数 H26 実績：55,482人 → H29 目標：54,000人 (実績：51,907人) → H30 目標：55,500人 → H31 目標：57,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○道の駅木の香温泉・山荘しらさの利用者数(7月末)： 17,652人 (前年同期比 92.2%)</p> <p>○イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石鎚山系元気ウォーキング大会 (5/20、616名参加)</li> <li>・UF0 ラインを活用したサイクリングイベント UF0 ラインアタックを実施 (7/22、129名参加)</li> </ul>

	<p>○ガイドの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県地域の頑張る人づくり事業費補助金を活用したいの町山の案内人講座の開講(全10回)</li> <li>町内の7名が参加(5/18, 5/31, 6/12, 6/16, 7/12)</li> </ul> <p>○観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本川と吾北での山岳地域での観光について、アドバイザーと関係者で協議を実施</li> <li>・旅行会社によるUF0ラインを活用したツアーの開催</li> </ul> <p>○石鎚山系連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社向けモニターツアーの開催(5/13, 14)</li> <li>・石鎚山系エリアへの観光客誘客事業補助金の取扱開始</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳観光の新たな旅行商品の開発とPR ⇒山の案内人や登山靴などのレンタル商品を活用した旅行会社との商談会に参加し旅行者のニーズを取り入れた商品開発</li> <li>・山荘しらさの耐震・改修に向けた準備による休業 ⇒指定管理料など収支を含んだ運営管理方法の検討</li> </ul>
<p>■No. 32 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実(仁淀川町)</p> <p>≪事業主体≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町観光協会</li> <li>・仁淀川町</li> <li>・仁淀川町内の地域づくり団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○主要観光施設入込数(4施設、4観光資源)</p> <p>(施設:ゆの森、しもなの郷、宝来荘、秋葉の宿)</p> <p>(観光資源:中津溪谷、安居溪谷、桜及び花桃、秋葉まつり)</p> <p>H26実績:70,189人</p> <p>→H29目標:72,300人(実績:79,152人)</p> <p>→H30目標:73,000人 →H31目標:73,700人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○主要観光施設入込数(7月末):41,467人</p> <p>(前年同期比105%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ガイド養成講座の実施に向けた関係者協議(6/5)</li> <li>・観光ガイド養成講座の実施(7/20)</li> <li>・定例会として観光報告会を開催(月1回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要観光スポットにおける受入体制の充実による県外観光客の誘致 ⇒観光ガイド養成講座による既存ガイドのスキルアップ</li> <li>⇒地域としておもてなし観光を進めていくための仕組みづくり(新たなガイド養成等)を検討</li> <li>⇒各観光拠点と連携した町内マップの作成など情報発信の強化を検討</li> </ul>

<p>■No. 33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・さかわ観光協会</li> <li>・佐川町内の地域づくり団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○上町地区への入込客数 H26実績：15,000人 → H29目標：22,500人（実績：27,279人） → H30目標：23,750人 → H31目標：25,000人</p> <p>○上町まち歩きガイド利用者数 H26実績：4,585人 → H29目標：4,200人（実績：5,089人） → H30目標：4,600人 → H31目標：5,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○上町地区への入込客数（7月末）：10,149人 （前年同期比104%）</p> <p>○上町まち歩きガイド利用者数（7月末）：1,669人 （前年同期比101%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山文庫入館者数（7月末）：2,028人（前年同期比66%）</li> <li>・青山文庫企画展「志士たちの遺墨Ⅴ」の開催（6/2～8/26）</li> <li>・青山文庫特別展「明治維新と佐川」の開催（9/1～11/25）</li> <li>・歴まち協議会事務局会の開催：3回</li> <li>・くろがねの会英語自主研修（毎週）</li> <li>・佐川町体験型博覧会開催に向けた体験事業者説明会の開催（9/10予定）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の活用及び周遊コースの仕掛け、体験プログラムや新たな観光施設の検討等によるクラスターのさらなる推進</li> </ul>
<p>■No. 34 越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越知町観光協会</li> <li>・おち駅物販経営協議会</li> <li>・JA コスモス</li> <li>・越知町 など</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○おち駅での販売額 H26実績：65,567千円 → H29目標：1.25億円（29実績：1.12億円） → H30目標：1.1億円 → H31目標：100,000千円</p> <p>○観光ガイドの養成数 H26実績：6人 → H29目標：8人（実績：16人） → H30目標：9人 → H31目標：10人</p> <p>○カヌー・ラフティング利用者数 H27実績：2,288人 → H29目標：2,300人（実績：1,695人） → H30目標：2,300人 → H31目標：2,500人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○おち駅での販売額（4～7月）：30,063千円 （前年同期比73.4%）</p>

	<p>○観光ガイドの養成数（7月）：16人</p> <p>○カヌー・ラフティング利用者数（4～7月）：528人 （前年同期比91.2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おち駅物販経営協議会・総会（4回）</li> <li>・おち駅による、スノーピークキャンプ場利用者に向けたバーベキューセットの販売開始（8月～）</li> <li>・カヌー、ラフティング開始（カヌー：4/28～、ラフティング：4/28～）</li> <li>・松山街道のガイドツアー等に関する打ち合わせ（6/5、6/13、7/12）</li> </ul> <p>○横倉山トレッキングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターツアー実施（4/14）</li> <li>・パンフレット完成（4/21）</li> <li>・予約受付開始（4/23）</li> <li>・ふれあい高新にてツアー実施（7/18）</li> <li>・龍馬パスポートへの参加予定（9月～）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>体験型観光の利用者数増加 ⇒PRの強化及び実施に向けた支援 おち駅の販売強化 ⇒広報手段や設備更新の検討</p>
<p>■No. 35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越知町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャンプ場宿泊者数 H29実績：0人→H30目標：4,900人→H31目標：5,400人</li> <li>○宮の前公園センターハウスレジ通過者数 H31目標：42,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャンプ場宿泊者数（4～7月）：2,476人</li> <li>○スノーピーク監修のアウトドア施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ノ瀬清流公園キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶オープン（4/22）</li> <li>▶宿泊棟：工事完了（5/1）</li> </ul> </li> <li>・宮の前公園センターハウス <ul style="list-style-type: none"> <li>▶建築工事 入札（5/28）、契約議決（6/12）</li> </ul> </li> <li>・宮の前公園センターハウス物販に関する検討・準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶役場・スノーピークとの協議（4回）</li> <li>▶卸業者や他の直販市への訪問・聞き取り（2回）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○日ノ瀬清流公園キャンプ場の活用促進及び経済波及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内事業者によるキャンプ場イベント広場での出店</li> <li>・キャンプ場利用者の町内での食材等購入や周遊促進に向けた関係者協議</li> </ul> </li> </ul>

	<p>○日ノ瀬清流公園キャンプ場の通信環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話各社への早期の電波環境改善要望（6月） <ul style="list-style-type: none"> <li>↳各社とも現状をふまえた可能な対応を検討調整中</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H31.4月の宮の前公園センターハウスオープンに向けた事業進捗 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒役場との情報共有及び進捗管理の確認</li> <li>⇒流域物販に向けた事業者との調整</li> </ul> </li> <li>・日ノ瀬清流公園キャンプ場の活用促進及び経済波及 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒町内事業者や商工会など関係団体との連携支援</li> </ul> </li> <li>・日ノ瀬清流公園キャンプ場の通信環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒携帯電話会社との継続協議</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 36 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・(株)屋形船仁淀川</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○乗船者数</p> <p>H26実績：3,261人</p> <p>→ H29目標：6,000人（実績：6,071人）</p> <p>→ H30目標：6,000人 → H31目標：4,500人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○乗船者数（9月末見込）：3,978人（前年同期比98%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド付き乗船者数（9月末見込） <ul style="list-style-type: none"> <li>：407人（前年同期比200%）</li> </ul> </li> <li>・ガイド人数（9月末見込）：6人</li> <li>・ホームページリニューアル（外国語対応）の検討</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の受入体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒遊覧ガイド募集のチラシを配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>ケイビングガイド2人が乗船して遊覧ガイドの勉強をする予定</li> </ul> </li> <li>⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会との連携強化</li> <li>⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設（地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中）、売店など観光拠点としての整備を検討</li> <li>⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行</li> </ul> </li> </ul>



2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 8 本川きじの販路拡大（いの町）</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>8/20 交付決定</p>	<p>知名度向上・販路拡大に向けたホームページ改修・新たな営業ツールの製作・県内外でのイベント出店・営業活動などの実施</p>	<p>1,885 (872)</p>
<p>■No. 10 日高村まるごとブランド化（日高村）</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>8/28 交付決定</p>	<p>特産品であるトマトを活かした村づくりの推進を目指すための日高まるごとイタリアンプロジェクト実施計画の策定</p>	<p>2,021 (1,010)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] AP8：本川きじの販路拡大

（理由）安定した生産体制の確保のため、衛生管理向上と生産能力拡大に向けた施設改修を計画的に行う。

[修正] AP18：いの町中心市街地の活性化

（理由）中心市街地活性化事業の進捗状況に併せ修正を行うと共に、取組内容の整理を行う。

[修正] AP31：いの町本川地区での山岳観光の推進

（理由）観光施設と連携した体験型観光の推進と施設整備のため、当初年次計画の遅れに伴い今後の計画に沿った見直しを行う。

4 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/23)
- ・いの町商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/24)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/25)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/29)
- ・第1回開かれた学校づくり推進委員会(伊野商業高等学校)で第3期計画 ver. 3 の説明(7/19)

5 相談案件：5 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	産業	未来投資型交付金の活用について
2	4/19	農業	地域農業を地域活性化につなげる取組について
3	5/17	農業	文旦農家の起業について
4	5/21	商業	商業施設の移転先について
5	6/15	農業	茶の実オイルを活用した地域活性化への支援について



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大					→	販売額 (H25:7,444千円)(H26:4,913千円)	13,580千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
県版HACCP(第2ステージ)の	県版HACCP(第3ステージ)又は国際基準HACCP取得に向けた検討・取得						
安定した生産体制の確保							
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							



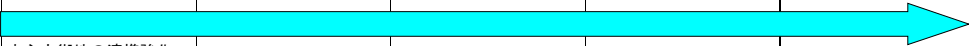
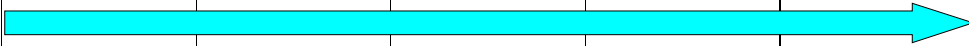
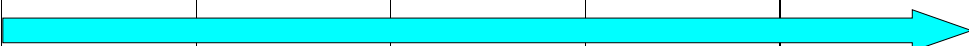
第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大					→	販売額 (H25:7,444千円)(H26:4,913千円)	18,600千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
県版HACCP(第2ステージ)の取得	県版HACCP(第3ステージ)又は国際基準HACCP取得に向けた検討・取得						
安定した生産体制の確保							
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							
					→		
衛生管理向上と生産能力拡大に向けた施設改修							
施設整備に向けた関係者協議、基本設計・実施設計・施設改修							

# 修正項目(案)

## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 いの町中心市街地の活性化 《いの町》 ※地域産業クラスター関連(いの町生業生産・販売拡大プロジェクト)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	いの町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。	・いの町 ・いの町商工会	アクションプランの取組開始:H24 ・イベント「[い]よどがわ七色ロード」の実施(H24~25) ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24.12月) ・小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し、中心市街地の活性化プランを策定(H25) ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき和紙職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協議を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・いの町商店街を含む町内の飲食店(21店舗)による「~いのは生業やき~なないろ生業焼き街道スタンプラリー」を開催(H26~28) ・いの町商工会による空き店舗活用への家賃補助(2年間家賃の半額補助。上限5万円)をH27.4月から開始。2店舗が事業を活用して開業。(H27) ・「紙のまち博覧会」の後継事業を行う実行委員会「いの通信局」を立ち上げ、大國さまの大祭に合わせて紙、職人、食をPRする「Kami祭」を開催(H27~29) ・いの町全域で空き店舗、空き家調査を実施(H27) ・産業競争力強化法に基づき、いの町が関係団体と連携して行う、新規創業者に対する支援計画を策定した。経済産業省が認定する見込み(H28.1月) ◆全国展開支援事業の取組を通じて事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。また、商店街の注目度が上がり、新規開店、店舗の改装、移転など新たな展開を行う事業者が現れるとともに、空き店舗に関する問い合わせも増え、活気が出てきつつある。 ・産業振興アドバイザー事業の活用により移住促進情報サイト「ハッピーいの町ターン」をリニューアル(H28) ◆移住促進にとどまらず住民のための総合情報サイトとしても機能強化された。 ・いの町中心市街地再構築検討委員会を立ち上げ、いの町中心市街地再構築プランを策定(H28) ・いの町中心市街地活性化プランの実現に向けた事業計画のブラッシュアップ、関係者での協議(H29)	・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用	◆中心市街地の連携強化  ◆「いの通信局」によるイベント等の定着  ◆町内への開業の誘致



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
中心市街地の連携強化						<b>中心市街地での事業所の新規開業</b> (H26:2事業所)	<b>8事業所(H28～31累計)</b>
暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の運営・体制の見直し	情報発信等の機能強化						
「いの生姜焼き街道」の推進							
生姜スイーツ開発・販売、PR活動							
「いの通信局」によるイベント等の定着							
定期的な「いの通信局」各部会の開催							
「いの通信局」によるKami祭等のイベント開催							
町内への開業の誘致							
空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施	顧客ニーズに合った店舗の誘致						
創業、移住及び補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応							
空き店舗活用への家賃補助事業の実施							
町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場等に係る固定資産税相当額)による支援							
中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援							
いの町中心市街地再構築プランの策定	いの町中心市街地再構築プランに基づく施設整備・運営の検討						



修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 いの町中心市街地の活性化 《いの町》</p> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">修正後</p>	<p>いの町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。</p>	<p>・いの町 ・いの町商工会</p>	<p>アクションプランの取組開始:H24 ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24～H29) ・全国展開支援事業を活用し、中心市街地活性化プラン策定(H25) ・紙、職人、食、仁淀川の各部会で商品開発やイベント企画実施。「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・生姜焼き街道スタンプラリー開催(H26:21店舗～) ・空き店舗家賃補助制度開始(商工会・H27～) ・実行委員会「いの通信局」を立ち上げ、紙、職人、食をPRする「Kami祭」開催(H27～) ・いの町全域で空き店舗、空き家調査実施(H27) ・いの町が産業競争力強化法に基づき、創業支援事業計画を策定(H28～) ◆事業者等の商品開発・営業等への意欲向上、関係者間の連携強化に繋がる。商店街への新規開店等新たな動きが出るとともに、空き店舗への問合わせも増え、活気が出てきつつある。  ・産業振興アドバイザー事業を活用し移住促進情報サイト「ハッピーいの町ターン」リニューアル(H28) ◆総合情報サイトとしても機能強化された。  ・いの町中心市街地再構築検討委員会を立ち上げ、いの町中心市街地再構築プラン策定(H28) ・いの町中心市街地活性化プランの実現に向けた事業計画のブラッシュアップ、関係者での協議(H29) ・中心市街地活性化協議会の設立(H30)</p>	<p>・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用</p>	<p>◆中心市街地の連携強化</p> <p>◆「いの通信局」によるイベント等の定着</p> <p>◆町内への開業の誘致</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>中心市街地の連携強化</p> <p>暮らしのかけ橋交流館「ならないろ」の運営・体制の見直し</p> <p>情報発信等の機能強化</p> <p>「いの生姜焼き街道」の推進</p> <p>生姜スイーツ開発・販売、PR活動</p>					<p>中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所)</p>	<p>8事業所(H28～31累計)</p>	
<p>「いの通信局」によるイベント等の定着</p> <p>定期的な「いの通信局」各部会の開催</p> <p>「いの通信局」によるKamijie等のイベント開催</p>							
<p>町内への開業の誘致</p> <p>空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施</p> <p>顧客ニーズに合った店舗の誘致</p> <p>創業、移住及び補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応</p> <p>空き店舗活用への家賃補助事業の実施</p> <p>町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場等に係る固定資産税相当額)による支援</p> <p>中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援</p>							
<p>いの町中心市街地再構築プランの策定</p>	<p>いの町中心市街地再構築プランに基づく施設整備・運営の検討</p>	<p>中心市街地活性化協議会設立及び中心市街地活性化計画策定</p>	<p>中心市街地活性化計画に基づく施策の実施</p>				





第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H28:55,482人)	57,000人
木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討		木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化				
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス						
木の香温泉及び山荘しらすの観光情報発信拠点化(ビジターセンター等)の検討・整備、観光情報発信・PR						
木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し						
駐車場の拡充・整備						
山荘しらすの耐震工事実施設計		山荘しらすの整備				
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H28:55,482人)	57,000人
新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし						
新たな体験メニューの検討		体験メニューの試行	体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み			
山岳ガイド組織の設立		山岳ガイドの養成・ガイド実践				
インターネット等を活用したPR・情報発信						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H28:55,482人)	57,000人
木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討		木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化				
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス						
木の香温泉及び山荘しらすの観光情報発信拠点化(ビジターセンター等)の検討・整備、観光情報発信・PR						
木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し		木の香温泉の駐車場の拡充・整備				
山荘しらすの整備の検討		山荘しらすの耐震工事実施設計	山荘しらすの整備			
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H28:55,482人)	57,000人
新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし						
新たな体験メニューの検討		体験メニューの試行	体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み			
山岳ガイド組織の設立		山岳ガイドの養成・ガイド実践				
インターネット等を活用したPR・情報発信						



## 高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 1 4

高幡地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全41項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取組を進めている。

J A土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農水産物の出荷の増のほか、イートインコーナーでの軽食の提供などにより、販売額などが順調に推移している。

また、四万十栗のブランド化と関連産業を含めた地域産業クラスターの形成を図るため、栗の生産拡大とともに、新たに整備した加工施設で栗のペースト加工に取り組んでいる。

畜産分野では、四万十町において養豚農家自らが産振総合補助金を活用して整備した加工・直販所が順調に売上を伸ばしているほか、養豚規模の拡大と生産効率の改善を図った畜舎で、母豚の増頭や農場 HACCP の認定取得に向けて取り組んでいる。さらに、四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大の取組では、産振総合補助金を活用して整備した新加工場がこの3月末に完成し、現在、産振アドバイザーを活用しながら現在新商品の開発に取り組んでいる。また、梶原町では、畜産業の維持振興と兼業農家の所得向上を図るため、横貝の畜舎等の増築と繁殖雌牛の増頭が進んでいる。

林業分野では、四万十町において、H30.3月にオープンした森林組合の四万十ヒノキ展示・商談施設を活用した新規取引先の開拓が進んでいる。また、オーテピア高知図書館へ木製書架、黒潮町新庁舎等へ内装製品を納入したほか、世界的な有名なブランド「シモンズ」への四万十ヒノキシリーズベッド納品数が好調であるなど、売上が増加しており、大正集成材工場の年間売上額も31年度到達目標である3億円を超える結果となった。

水産業分野では、生産者や出荷業者等において、新規就業者の確保や、県内外の取引先や商談会に参加する等の定期的な外商活動を行っており、販売量が増加している。

商工業分野では、平成29年7月にオープンした中土佐町の情報発信や地産外商の中心拠点「道の駅なかとさ」が、オープン後約1年が経過した本年6月末現在で施設全体の売り上げが380百万円を、レジ通過者数が35万人を超えるなど順調に推移している。今後は、その他の既存の地元スポット（大正町市場など）とのさらなる相乗効果が図られるよう、道の駅案内所での町内観光地のきめ細やかな案内に加えて、連携策の検討を進めていく。

観光分野では、須崎市で浦ノ内湾を海洋スポーツの拠点とする整備が進んでおり、昨年度は大島地区の施設整備が概ね完了し、現在、坂内地区の施設整備が進んでいる。海洋スポーツに関する国内の合宿の誘致や東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の誘致を進めていくとともに、スポーツ大会の開催や体験型観光等の推進による地域の活性化を目指して取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA土佐くろしお</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)販売額</li> <li>H27実績:85.6億円</li> <li>→H29目標:88.2億円(実績:89.3億円)</li> <li>→H30目標:90.9億円 → H31目標:92億円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要農産物3品目販売額(6月末):63.1億円</li> <li>・目慣らし会:15回</li> <li>・現地検討会:3回</li> <li>・IPM技術の実証ほの調査:8か所</li> <li>・環境制御技術の実証ほ等の調査:22か所</li> <li>・環境制御技術及び病害対策の啓発資料配付: 計10,042部</li> <li>・JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会開催:1回 (活動計画の検討・実施及び目標の共有)</li> <li>・JA土佐くろしお連絡会:3回</li> <li>・環境測定装置説明会開催:2回</li> <li>・環境制御機器の導入推進:事業導入に向けた取りまとめ</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術の高位平準化</li> <li>⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施</li> </ul>
<p>■No.2 JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)土佐くろしお村村営みのり</li> <li>・JA土佐くろしお</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>(株)土佐くろしお村村営みのり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全作業受託面積</li> <li>H27実績:5ha → H29目標:14ha(実績:12.97ha)</li> <li>→H30目標:14ha → H31目標:10ha</li> <li>○一部作業受託面積</li> <li>H27実績:28ha → H29目標:30ha(実績:28.25ha)</li> <li>→H30目標:38ha → H31目標:54ha</li> </ul> <p>(JA土佐くろしお)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直販所販売額</li> <li>H26実績:77,185千円</li> <li>→H29目標:201,000千円(実績:306,711千円)</li> <li>→H30目標:306,500千円 → H31目標:195,100千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全作業受託面積(6月末):14.6ha(前年比112.6%)</li> <li>○一部作業受託面積(6月末):38.2ha(前年比135.5%)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○直販所販売額(6月末):86,994千円(前年比108%)            キッチンを除く(6月末):80,706千円(107%)            キッチン(6月末):6,287千円(133%)</p> <p>〔「村営みのり」農作業受託〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役会(5/8)、取締役会及び総会(6/21)</li> <li>・中山間農業複合拠点に向けた取組</li> <li>・坂ノ川農業改良組合との業務委託</li> <li>・拠点事業に向けたコンサル</li> <li>・田植機2台、防除機1台の導入協議</li> <li>・新荘生産組合との業務委託に向けた検討(H31年度)</li> </ul> <p>〔「とさっ子広場」直販所〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会(4/4)、第2回通常総会(4/23)</li> <li>・2周年記念祭(5/18)</li> <li>・キッチン従業員による6次産業化実践セミナー参加 (6/13、7/26)</li> <li>・とさっ子広場出荷者による直販所視察研修(6/14) 参加者:23名</li> </ul> <p>〔課題と今後の対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な受託作業の仕組みづくり ⇒多様な受託作業に対応可能な体制の構築 簡易作業(水管理等)の季節雇用(作業委託)</li> <li>・直販所の売上向上 ⇒月別売り上げ分析に基づく計画出荷と出荷拡大 直販所で販売する総菜の充実</li> </ul>
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA津野山</li> </ul>	<p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額 H26実績:2.7億円 →H29目標:3.5億円(実績:3.6億円) →H30目標:3.7億円 → H31目標:3.2億円</li> <li>○農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額: H26実績:8,099千円 →H29目標:18,067千円(実績:15,976千円) →H30目標:18,067千円 → H31目標:20,000千円</li> <li>○所得400万円以上の農家数 H26実績:6戸 →H29目標8戸(実績:12戸) →H30目標:10戸 → H31目標:8戸</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>○主要農産物5品目販売額(6月末)：240 千万円  ○農業分野補完品目販売額(7月末)：1,492 千円  (加工用ワサビのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津野山地域営農連絡協議会開催：3 回</li> <li>・津野山地域営農連絡会幹事会：1 回</li> <li>・生産部会現地講習会等の開催：3 回</li> <li>・実証ほの設置：4 カ所</li> <li>・担い手育成、複合経営拠点等に係る協議の実施  協議会：2 回、関係者打合せ：2 回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の確保  ⇒産地提案書の作成(禰原町)・見直し(津野町)・追加</li> </ul>
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)アースエイド</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>○売上高  H26 実績：5,719 千円  → H29 目標：30,000 千円(実績：77,658 千円)  → H30 目標：35,000 千円 → H31 目標：40,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(6月末)：16,590 千円(前年同期比 41%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規取引先の開拓：3 件</li> <li>・新商品の開発：1 品目(葉にんにく餃子)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良質な人材の確保  ⇒会社の魅力を PR する広報戦略の展開</li> </ul>
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おのおのみエコロジーファーマーズ</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>○エコ米販売量  H27 実績：12.9 t → H29 目標：22 t(実績：18.5 t)  H30 目標：24 t → H31 目標：27 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催：1 回</li> <li>・執行委員会の開催：1 回</li> <li>・圃場の巡回指導：1 回</li> <li>・教育現場との交流活動：5 回 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶高知県立大学(COME☆RISH) (3 回)</li> <li>▶中学校：水生生物調査 (1 回)</li> <li>▶小学校：清流度調査・水生生物調査 (1 回)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の拡大 ⇒エコロジーファーマーズの取組周知 (HPや口コミによる賛同者拡大の取組)</li> <li>・作付面積の拡大 ⇒生産拡大に向けた営農指導</li> <li>・ブランド力向上 ⇒コンクール等、新たな取組の検討 H30「未来につながる持続可能な農業推進コンクール 「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」への応募 ⇒在庫管理の徹底</li> </ul>
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梶原町雉生産組合</li> <li>・梶原町</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 H26 実績：14,367 千円 → H29 目標：18,000 千円 (実績：16,165 千円) → H30 目標：20,000 千円 → H31 目標：22,000 千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 (6 月末)：1,554 千円 (前年比 63.4%)</li> <li>○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産羽数の増加 生産者数：6 軒 (6 軒中休んでいた生産者 1 軒が再開見込)</li> </ul> </li> <li>○県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得に向けた取組等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理に係る研修の受講 (6/5)</li> <li>・アドバイザー現地指導 (9/4)</li> <li>・平成 30 年度食品表示研修受講 (6/13 入門編受講)</li> </ul> </li> <li>○外商の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「召しませ雲の上のキジグルメ」の展開 (通年)</li> <li>・土佐の食 1 グランプリ出店 (4/1)</li> <li>・梶原町観光びらき出店 (4/14)</li> <li>・高知県産品商談会参加 (5/29) (見積依頼 1 件、ギフト継続依頼 1 社)</li> <li>・よろず支援拠点で HP 及び SNS 活用相談 (8/22)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓 ⇒商談会出展やサンプル提供先への営業の継続</li> <li>・認知度及びブランド力の向上 ⇒SNS 等を活用した情報発信</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.8 肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人津野山畜産公社</li> <li>・梶原町</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出荷頭数 H27実績：105頭 → H29目標：105頭(実績：90頭) → H30目標：105頭 → H31目標：136頭</li> <li>○販売額 H27実績：100,969千円 → H29目標：93,700千円(実績：99,609千円) → H30目標：93,700千円 → H31目標：131,143千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出荷頭数(6月末)：24頭(前年比240%)</li> <li>○販売額(6月末)：34,664千円(前年比182%)</li> <li>・事務所、子牛畜舎及び分娩畜舎：9月末完成予定</li> <li>・繁殖牛70頭導入予定(H29 50頭導入済み) 20頭導入(7月)</li> <li>・(一社)津野山畜産公社理事会：5/25、総会：6/11</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖用・肥育用子牛の高騰による地域農家の負担増 ⇒地域内農家への供給に向けた子牛の増頭</li> <li>・職員定年退職による人材不足(H30) ⇒職員の採用</li> </ul>
<p>■No.9 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・J A津野山</li> <li>・津野町</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○茶製品販売額 H26実績：13,596千円 → H29目標：33,958千円(実績：35,026千円) → H30目標：34,000千円 → H31目標：34,000千円</li> <li>○荒茶販売額 H26実績：51,218千円 → H29目標：53,431千円(実績：45,859千円) → H30目標：46,000千円 → H31目標：54,000千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○茶製品販売額(6月末)：7,705千円(前年同期比：54.2%)</li> <li>○荒茶販売額(6月末)：32,623千円(前年同期比：86%)</li> <li>・大手企業との協賛事業実施(商談会、交流イベント)</li> <li>・販売促進の展開(イベント販売)(6月末)：3回</li> <li>・高知県産品商談会への参加(1回)</li> <li>・お茶講座の実施(4回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶製品の販路拡大 ⇒イベント参加から販売先(主に卸売業者)の開拓に重点をシフト</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒茶の販売単価の向上</li> <li>⇒つの茶の販売戦略計画に基づく買い取り支援</li> <li>⇒かぶせ茶への転換の呼びかけ</li> </ul>
<p>■No.10 みどり市を核とした「地消地産」の推進（四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A四万十</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（四万十の栗プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「産直コーナー」の販売金額</li> <li>H26実績：221,286千円</li> <li>→ H29目標：250,000千円（実績：246,719千円）</li> <li>→ H30目標：270,000千円 → H31目標：300,000千円</li> <li>○「手づくりキッチン」の販売金額</li> <li>H26実績：30,047千円</li> <li>→ H29目標：33,000千円（実績：44,573千円）</li> <li>→ H30目標：34,000千円 → H31目標：35,000千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「産直コーナー」の販売金額（6月末）：60,008千円 （前年同期比：98.9%）</li> <li>○「手づくりキッチン」の販売金額（6月末）：11,113千円 （前年同期比：95.9%）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり市総会：1回</li> <li>・みどり市産直の運営に係る検討会：3回</li> <li>・手づくりキッチンの運営に係る検討会：3回</li> <li>・100万人達成イベント（5/21、記念品贈呈）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の生産出荷量の増加</li> <li>⇒継続的な栽培技術支援</li> </ul>
<p>■No.11 四万十の栗再生プロジェクト（四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十の栗再生プロジェクト推進協議会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（四万十の栗プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原材料供給量（JA集荷量）</li> <li>H26実績：17t</li> <li>→ H29目標：31t（実績：39t）</li> <li>→ H30目標：38.2t → H31目標：45t</li> <li>○加工品売上高</li> <li>H26実績：33,320千円</li> <li>→ H29目標：69,000千円（実績：62,683千円）</li> <li>→ H30目標：69,000千円 → H31目標：100,000千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○加工品売上高（7月末）：20,021千円（前年同期比169%）</li> <li>・モデル園生育調査：1回</li> <li>・特選栗指導打合せ：1回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗の生産出荷量の増加</li> <li>⇒低樹高栽培に向けたせん定技術の普及</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域資源活用推進と加工場等の整備 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連 (四万十ポークブランド推進プロジェクト)</p>	<p>[目標] ー</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・根茎腐敗病対策などに寄与する土壌に関する研究体制の構築 (H31.3月末予定) に向けて大学などと協議中</li> </ul> </li> <li>○加工施設整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農山漁村振興交付金 (国庫) の申請 (国内示 6/22)</li> <li>・あぐり窪川との定例会 (月 1 回) : 4 回</li> <li>・加工施設建設用地地権者との協議 : 2 回</li> <li>・土地収用事業認定申請 (6/28 事前申請済)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入補助事業のスケジュールを踏まえた適切な進捗管理</li> <li>・加工施設建設用地の取得交渉</li> <li>・加工場の衛生管理の強化 ⇒HACCP 研修受講など</li> </ul>
<p>■No. 14 四万十町畑作振興プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十野菜合同会社</li> <li>・ (株) ハマヤ</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○合同会社販売額 H26 実績 : 0 千円 → H29 目標 : 96,978 千円 (実績 : 68,038 千円) → H30 目標 : 108,222 千円 → H31 目標 : 118,911 千円</li> <li>○合同会社雇用者数 H26 実績 : 0 人 → H29 目標 : 12 人 (実績 : 10 人) → H30 目標 : 16 人 → H31 目標 : 18 人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○合同会社販売額 (5 月末) : 9,566 千円 (前年同期比 : 714%)</li> <li>○合同会社雇用者数 (6 月末) : 10 人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会 (6 月末) : 3 回</li> <li>・ 事業計画打合せ (6 月末) : 3 回</li> <li>・ 有機勉強会 (6 月末) : 3 回</li> <li>・ 5 割減個別指導 (6 月末) : 11 回</li> <li>・ 商談会 (6 月末) : 4 回</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物の生産拡大 ⇒栽培技術向上への支援</li> </ul>
<p>■No. 15 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十ポークブランド推進協議会</li> <li>・ 農事組合法人四国デュロックファーム</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○(農)四国デュロックファーム</li> </ul> <p>【売上高】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27 実績 : 518,785 千円 → H29 目標 : 549,095 千円 (実績 : 551,573 千円) → H30 目標 : 551,545 千円 → H31 目標 : 551,545 千円</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・農事組合法人平野協同畜産</p> <p>※地域産業クラスター関連(四万十ポークブランド推進プロジェクト)</p>	<p>○(農)平野協同畜産</p> <p>【母豚数】</p> <p>H27実績：420頭</p> <p>→ H29目標：450頭(実績：483頭)</p> <p>→ H30目標：500頭 → H31目標：500頭</p> <p>【出荷頭数】</p> <p>H27実績：8,400頭</p> <p>→ H29目標：9,550頭(実績：8,644頭)</p> <p>→ H30目標：10,800頭 → H31目標：11,000頭</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(6月末)：118,505千円(前年同期比89.3%)</p> <p>○母豚数(6月末)：490頭(前年同期比108.6%)</p> <p>○出荷頭数(6月末)：2,230頭(前年同期比104.3%)</p> <p>○四万十ポークブランド推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町クラスター意見交換会：1回(5/10)</li> <li>・四万十ポークブランド推進協議会総会：1回(6/25)</li> </ul> <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への参加：4回</li> <li>・新商品開発に関するセミナー受講等：1回(7/13)</li> </ul> <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場HACCPに係る打合せ、チーム会：4回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工場及び直販所の販売額の増加</li> <li>⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保</li> </ul> <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷頭数の増頭</li> <li>⇒衛生管理と生産体制のさらなる向上</li> </ul>
<p>■No.16 四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)ぶらうん</p>	<p>[目標]</p> <p>○加工品売上高</p> <p>H28実績：49,691千円</p> <p>→ H29目標：49,575千円(実績：51,073千円)</p> <p>→ H30目標：72,002千円 → H31目標：84,677千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品売上高(6月末)：12,907千円(前年同期比：87.9%)</li> <li>・産振アドバイザーの活用(新商品開発)：1回(4月)</li> <li>・産振シンポジウムにて事例発表(5/15)</li> <li>・高知県産品商談会への参加(5/29)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化セミナー実践コース受講：全9回(6/13, 7/26, 8/28, 9/18(予定) 他5回)</li> <li>・イベント等への参加：1回</li> <li>・その他商談会への参加：4回 (7/6 ちばさんセンター旭食品商談会、6/20 東京 食の魅力発見商談会、9/26(予定) 東京 タツミフード)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の安定生産及び販売体制の強化 ⇒「6次産業化セミナー」の受講</li> <li>・農場、加工場の衛生管理の強化 ⇒HACCP 研修受講など</li> </ul>
<p>■No. 17「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町森林組合</li> <li>・須崎地区森林組合</li> <li>・四万十町</li> <li>・中土佐町</li> <li>・地元事業者</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) H26実績：13,999m<sup>3</sup> → H29目標：27,000m<sup>3</sup>(実績：25,923m<sup>3</sup>) → H30目標：27,000m<sup>3</sup>→ H31目標：15,400m<sup>3</sup></li> <li>○集成材工場の売上高 H26実績：4億円 → H29目標：2.9億円(実績：3.5億円) → H30目標：2.9億円 → H31目標：3億円</li> <li>○F S C等認証森林面積 H26実績：6,678ha → H29目標：7,200ha(実績：7,189ha) → H30目標：7,200ha → H31目標：8,013ha</li> <li>○販売連携事業者数 H26実績：0社 → H29目標：2社(実績：1社) → H30目標：2社 → H31目標：3社</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域森林資源の原木生産量(6月末)：7,262m<sup>3</sup> (前年同期比：127%)</li> <li>○集成材工場の売上高(6月末)：44百万円 (前年同月比：110%)</li> <li>○FSC等認証森林面積(6月末)：7,189ha(前年同月比：100%)</li> <li>○販売連携事業者数(6月末)：1社(累計)</li> <li>・四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数(9月末見込)：180回</li> <li>・ベッドメーカー(シモンズ)へのベッド納品台数(9月末見込)：63台</li> <li>・集成材工場展示場において住宅相談会を開催：1回(6/10)</li> <li>・集成材工場展示場を活用した親子木工教室：1回(8/4)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会:1回、総会:1回 四万十ヒノキの輸出に向けた関係者との協議 : 2回(7/19, 7/26)</li> <li>・ 韓国企業が(協)高幡木材センター、関西木材建設、大正集成材工場へ視察商談(4/9)</li> <li>・ 中土佐町役場新庁舎、久礼保育所及び美馬旅館別館に四万十ヒノキを導入</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十ヒノキ集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場を活用した外商活動の強化 ⇒新規バイヤー獲得に向けた産地商談会の開催</li> </ul>
<p>■No. 20 四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知精工(株)</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品販売高 H26実績:5,701千円 → H29目標:9,500千円(実績:6,920千円) → H30目標:9,000千円 → H31目標:10,000千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品販売高(6月末):1,084千円(前年同期比:52.2%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PRの強化に向けHPを改修を検討中</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販路の開拓及び生産量の拡大 ⇒イベントへの出店、HP等でのPR及び製薬会社等への商談</li> <li>・ 人材の確保 ⇒地域おこし協力隊の募集</li> </ul>
<p>■No. 24 野見湾産養殖カンパチの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大谷漁協</li> <li>・ 大谷漁協ネイリ部会</li> <li>・ (株)みなみ丸</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>(大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26実績:4,320千円 → H29目標:57,612千円(実績:42,583千円) → H30目標:81,608千円 → H31目標:86,960千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高(6月末):10,103千円(前年比:56.9%) (*昨年5月はふるさと納税で950万程度の売上げがあり、特別多かった事情あり)</li> <li>・ 県内、外商談会への参加(3回) サンプル送付(2件)</li> <li>・ 奈良コープでの試食会の開催(3回:6日)</li> <li>・ 鮮魚及びフィレ等の加工品により、販路を拡大</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・販路の開拓 ⇒商談会への参加</p>
<p>■No. 25 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協深浦支所</li> <li>・土佐鯛工房</li> <li>・乙女会</li> <li>・(株)大東冷蔵</li> <li>・(有)小島水産</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宇佐・浦ノ内水産資源活用クラスター)</p>	<p>[目標]</p> <p>(土佐鯛工房)</p> <p>○販売数量</p> <p>H26実績：60千尾</p> <p>→ H29目標：80千尾(実績：71千尾)</p> <p>→ H30目標：90千尾 → H31目標：100千尾</p> <p>(乙女会)</p> <p>○販売数量</p> <p>H26実績：53千尾</p> <p>→ H29目標：300千尾(実績：244千尾)</p> <p>→ H30目標：300千尾 → H31目標：300千尾</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売数量</p> <p>土佐鯛工房(6月末)：17千尾(前年比：114%)</p> <p>乙女会(6月末)：65千尾(前年比：235%)</p> <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外のバイヤーによる産地見学会：2回</li> <li>・新規漁業就業者の確保：長期研修受講者2人</li> </ul> <p>[乙女会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィレ等に加工した商品の販売拡大</li> <li>・須崎市ふるさと納税返礼品として「乙女鯛」を全国発送</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者及び生産量の確保</li> <li>⇒県主催のセミナー等による継続的な雇用募集</li> </ul>
<p>■No. 28 大正町市場商店街活性化事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大正町市場組合</li> <li>・中土佐町商工会</li> <li>・中土佐町</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>○大正町入込客数(浜ちゃん食堂)</p> <p>H26実績：20,586人</p> <p>→ H29目標：26,000人(実績：24,961人)</p> <p>→ H30目標：27,000人 → H31目標：28,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○大正町入込客数(浜ちゃん食堂)(6月末)：5,977人 (前年同期比：86.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジショップへの継続支援</li> <li>・チャレンジャー募集(9月頃予定)の準備</li> <li>・アンケート調査の継続実施に向けた取組</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街フリーペーパー「お宮さん便り」の発行 (隔月・道の駅への配置)</li> <li>・各店舗へのショップカードの配置</li> <li>・観光案内・移住相談窓口開設(ぜよびあ1階にて土曜のみ)</li> <li>・新店舗(立ち飲みスペース)開設(5月～週末のみ)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街活性化に向けた関係者の意識の共有 ⇒活性計画等策定に向けた枠組みづくり</li> </ul>
<p>■No. 29 中土佐町SEAプロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中土佐町</li> <li>・(株)SEAプロジェクト</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p>H28: 0円</p> <p>→ H29 目標: 193,500千円(実績: 296,533千円)</p> <p>→ H30 目標: 309,600千円 → H31 目標: 340,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○売上額(6月末): 83,549千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内SEAプロジェクト運営会実施: 3回</li> <li>・1周年記念イベント(7/15、7/22)</li> <li>・イベント実施: 2回(4/15、5/3)</li> <li>・イベント出店に向けた出荷者協議: 1回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体の賑わいの創出に繋がる仕組みづくり ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携</li> <li>・道の駅の着実な経営 ⇒産振アドバイザー等の活用</li> <li>・テナントへの事業サポート ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等</li> <li>・既存の地元施設との連携による相乗効果の発揮 ⇒道の駅案内所での町内観光地の案内、道の駅HPでの町内イベントへの誘導</li> </ul>
<p>■No. 30 「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・ど久礼もん企業組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○商品開発数</p> <p>H26 実績: 1商品</p> <p>→ H29 目標: 1商品(年1商品)(実績: 2商品)</p> <p>→ H30 目標: 1商品(年1商品)</p> <p>→ H31 目標: 年1商品(4商品)</p> <p>○商品売上高</p> <p>H26 実績: 32,180千円</p> <p>→ H29 目標: 31,000千円(実績: 22,848千円)</p> <p>→ H30 目標: 31,000千円 → H31 目標: 50,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>○商品売上高(6月末):5,723千円(前年同期比94.2%)  (内訳)店舗 :2,095千円(前年同期比88.7%)  出荷 :3,627千円(前年同期比97.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのPR販売 2回</li> <li>・タタキ体験施設「陣や」オープン(7/28)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発</li> <li>・販路の拡大  ⇒産振アドバイザーの活用、セット商品の開発  ⇒衛生面に配慮した加工施設整備の検討</li> </ul>
<p>■No.32 津野町地産地消・外商販売戦略  (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)津野町ふるさとセンター</li> <li>・(株)満天の星</li> <li>・津野町</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>○直販所総販売額  H26実績:1.53億円  → H29目標1.55億円(実績:1.42億円)  → H30目標1.45億円 → H31目標:1.62億円</p> <p>○直販所販売額(高知店3店舗)  H26実績:0.91億円  → H29目標0.86億円(実績:0.85億円)  → H30目標:0.88億円 → H31目標:1億円</p> <p>○満天の星売上  H26実績:1.89億円  → H29目標2.17億円(実績:2.45億円)  → H30目標:2.62億円 → H31目標:2.27億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○直販所総販売額(6月末):0.36億円(前年比92.8%)  ○直販所販売額(高知店3店舗)(6月末)  :0.20億円(前年比93.5%)</p> <p>○満天の星売上(6月末):0.70億円(前年比114.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者経営会議等:8回</li> <li>・販促イベント(15回、延べ44日)新茶祭り、特産市、博多大丸TBSおめざ感謝祭など</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズに応えた生産・供給体制  ⇒各店舗の販売状況の分析  ⇒特産品開発に向けた農産物(サトイモ)の栽培  ⇒東京農大連携による商品開発の検討</li> <li>・統合JAの大型直販所オープンに向けた対策  ⇒町内直販所連絡協議会による検討</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 高幡地域における広域観光の推進 (高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》 ・高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要観光施設入込客数 H26実績:1,954,206人 →H29目標:2,100,000人(実績:2,310,933人) →H30目標:2,417,398人 → H31目標:2,459,000人</li> <li>○宿泊者数 H26実績:40,925人 →H29目標:60,000人(実績:72,287人) →H30目標:74,509人 → H31目標:51,300人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要観光施設入込客数(6月末):665,093人 (前年同期比:106%)</li> <li>○宿泊者数(6月末):18,435人(前年同期比:107.1%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥四万十観光協議会推進部会の開催(4/10)</li> <li>・「ほっと高知」、「JAFプラス四国版」、「西日本おでかけマンスリー」、「道の駅マップ四国版」へのエリア情報掲載(4~6月)</li> <li>・関係機関へのヒアリングの実施(5~6月)</li> <li>・高知県観光説明会等参加(4/18高知、5/17福岡、5/29名古屋、6/19広島、6/20岡山)</li> <li>・奥四万十地域の観光調査・分析及び観光戦略策定 委託業務プロポーザル審査会の実施(6/12) 委託契約締結(6/26) (奥四万十観光協議会事務局へのヒアリング、市町及び関係者への聞き取り調査、ワークショップの実施(7月~))</li> <li>・土佐の観光創生塾参加(6月~)</li> <li>・愛媛県内道の駅へのセールス(12カ所)</li> <li>・観光関係者を対象とした域内観光地のモニターツアー実施(7/13)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光推進組織力の強化 ⇒推進部会の定期開催 ⇒中長期観光戦略の策定</li> <li>・魅力ある観光資源の発掘と磨き上げ、商品化及び情報発信 ⇒商談会・説明会への参加 ⇒旅行会社(メディア・タウン誌)の招聘、広域ガイドブックの多言語化 ⇒観光施設等やイベントでのアンケート調査の実施</li> <li>・地域観光に携わる人材の育成 ⇒域内観光地の研修ツアーの実施</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 35 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》 ・須崎市</p> <p>※地域産業クラスター関連(宇佐・浦ノ内水産資源活用クラスター)</p>	<p>[目標]</p> <p>○交流人口 H26実績:16,000人 →H29目標:18,000人(実績:17,456人) →H30目標:19,000人 →H31目標:23,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○交流人口(5月末):3,024人(前年同期比140%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県と須崎市関係各課との協議:1回</li> <li>・スポーツセンターを活用した地域活性化策の検討会:1回</li> <li>・スポーツ合宿(5月末):84人泊</li> <li>・個人向け体験プログラムの利用者数(5月末):103人</li> <li>・オリパラ事前合宿視察受入:1カ国(シンガポール)</li> <li>・施設整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶大島地区(1,000mカヌーレーン、4/20完成)</li> <li>▶坂内地区(管理棟新設・艇庫改修工事、7/25完成) 新艇庫・トレーニングルーム新設、10月完成予定)</li> </ul> </li> <li>・地域おこし協力隊の配置(2名、4月～)</li> <li>・新たな体験メニューの導入 ウォーターバルーン・BIG SUP(4月～) 海上アスレチック(7/23)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入体制の充実・強化 ⇒合宿受入窓口一本化に向けた協議</li> <li>・PRの強化 ⇒関係者と広報戦略に関する協議、営業力強化に向けた検討</li> <li>・地域への経済波及効果を生み出す仕組み作り ⇒関係団体や事業者との協議</li> </ul>
<p>■No. 39 清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感!～観光集客アップ作戦～(津野町)</p> <p>《事業主体》 ・津野町</p>	<p>[目標]</p> <p>○主要宿泊施設年間宿泊数 H26実績:8,114人 →H29目標:9,885人(実績:10,072人) →H30目標:9,970人 →H31目標:10,710人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○主要宿泊施設年間宿泊数(6月末):2,477人(前年比100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天狗高原・四万十川源流点活性化プロジェクト協議会開催第4回(4/27)、第5回(7/13) 津野町観光計画案、天狗荘施設整備等の協議</li> <li>・住民、事業者に対する津野町観光振興に向けたアンケートの実施(5月)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津野町観光有識者会議開催(6/21)</li> <li>・天狗荘リニューアル基本構想策定委託業務プロポーザル審査(7/30)</li> <li>・津野町観光振興計画アクションプランへの対応(7月～)天狗荘関連の取組等</li> <li>・幕末維新博の取組み 片岡直輝直温生家リニューアル、企画展の開催 *4/1～6/30「片岡兄弟の軌跡」 (来館者1,075人(6月末))</li> <li>吉村虎太郎邸関連津野山古道散策イベント、企画展の開催 *7/15～8/31「虎太郎と維新の群像」</li> <li>・津野町スタンプラリーⅡの開催(H30.4.14～H31.1.31)</li> <li>・イベントの開催 新茶まつり、茶畑ウォーキング、特産市など</li> <li>・広報の実施 ラジオ(県内外、FM毎週木曜・AM第1・3火曜)、SNS、HPによる情報発信など計97回</li> <li>・トックトック定期周遊・周遊レンタカーの実施</li> <li>・牧野植物園と津野町との連携協定の締結(7/30)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津野町観光計画(7月策定)に位置づけられた施策への取組 ⇒重点プロジェクト(天狗荘周辺、四万十川源流点周辺エリアの施設整備と磨きあげ)への取組</li> <li>⇒津野町グルメや全天候型の観光素材、体験メニューの造成</li> <li>⇒受入体制の整備(観光組織、観光ガイド、セラピーガイドの育成等)</li> </ul>
<p>■No.40 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町</li> <li>・(株)海洋堂</li> <li>・(株)奇想天外</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホビー館の年間入場客数 H26実績:44,033人 →H29目標:50,000人(実績:28,723人) →H30目標:50,000人 →H31目標:50,000人</li> <li>○常勤雇用者数 H26:実績5人 →H29目標:5人(実績:7人) →H30目標:5人 →H30目標:5人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホビー館の年間入場客数(7月末):9,340人 (前年同期比:80%)</li> <li>○常勤雇用者数(9月末見込):7人</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展開催：3回 「美似と江戸展」(3/17～5/28) 「アートプラ大賞展」(7/21～10/1)</li> <li>・イベントの開催(5/5、ビンゴ大会やゴメンジャー等) (アートプラ大賞 2018 作品展) (夏休みイベント恐竜フィギア色塗り教室)</li> <li>・渋滞対策の実施(シャトルバスの運行及び警備員の配置)</li> <li>・イベントの計画(四国まるごと美術館) ～タツノコジェニック!88カ所アートめぐり～</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化</li> </ul>

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業) 該当なし

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[修正]No.34 高幡地域における広域観光の推進(高幡地域全域)

(理由) 高幡地域の広域観光については、高幡広域市町村圏事務組合が担っていたが、組織体制の強化及び事業内容の充実により広域観光をさらに推進していくため、管内5市町及びその他関係機関で組織する官民協働の組織として平成30年2月27日に「奥四万十観光協議会」が設立された。

このため、事業主体を「高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)」から「奥四万十観光協議会、須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町」に変更する。

4 県民参画に向けた取組

- ・梶原町商工会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(5/24)
- ・津野町商工会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(5/24)
- ・四万十町商工会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(5/25)
- ・四万十町観光協会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(6/25)
- ・須崎市商工会議所(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(6/28)

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/6	水産加工	水産加工施設への支援制度について
2	4/12	商業	新規店舗開設に関わる支援策について
3	7/12	水産加工	水産加工施設への支援制度について
4	7/24	商業	新規事業開拓・物流拡大への支援策について

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>34 高幡地域における広域観光の推進 《高幡地域全域》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">修正前</p>	<p>高幡地域内の観光地、自然、食、人などの観光資源を組み合わせて新たな商品を作成するとともに、高幡地域ならではの魅力をPRすることで知名度の向上及び観光客数の増加を図る。そして、奥四万十博で培われたノウハウを活かし、地域の商品を県内外に情報発信するとともに、旅行会社への積極的な営業活動を展開することで誘客を促進し、広域への経済効果を波及させていく。</p>	<p>・高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)</p>	<p>アクションプランの取組開始:H26 ・観光情報の管理及び情報発信(H26~29) ◆H26.10月に観光HPが完成し、情報等の集約、集計がスムーズに行える体制が整った。</p> <p>・商品及び観光資源の営業販売(H26~27) ◆県外旅行会社営業(H26.20回)、PRにより旅行会社のパンフレットに掲載された。</p> <p>・2016奥四万十博開催に向けた取組(H25~27) ・高幡地域の広域観光組織として「高幡広域観光推進本部会」を設立(H25) ・高幡広域観光推進本部会を開催し、地域博覧会開催が決定(H25) ◆地域博覧会を推進していく組織として「奥四万十博推進協議会」を設立し、実施態勢が整った。(H26) ・奥四万十博実施計画を策定(H27)</p> <p>・2016奥四万十博の開催(H28) ・2016奥四万十博オープニングイベントの実施(4/10)来場者数:25,000人 ◆インフォメーションセンターを「道の駅かわらその里すさき」に設置し、観光案内を実施することで、高幡広域全域へ誘客する体制が整った。 ◆県内、岡山、愛媛、香川などのテレビ局でのTVCMの広告や、ラジオや新聞などメディアを活用した広報を数多く実施し、県内外での奥四万十博PRに繋がった。 ◆首都圏や関西の旅行会社への営業や、観光キャラバンへの参加することで、観光商品の作成・販売に繋がった。 ◆ミッション8スタンプラリーやレンタカープランなど、様々なキャンペーン企画を実施することにより、エリア内の周遊促進、宿泊増加に繋がった。</p>	<p>・構成各市町における体験プログラム等の商品化力の向上 ・奥四万十博終了後も継続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化</p>	<p>◆観光情報の発信</p> <p>◆商品の作成・磨き上げ・セールス</p> <p>◆2016奥四万十博開催及び博覧会終了後の広域観光組織の機能強化</p>



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光情報の発信					→	主要観光施設入込客数 (H26:1,954,206人)	2,459,000人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5市町及び観光関係団体からの観光情報の収集、管理</li> <li>・観光素材の写真や関係情報のデータベース化</li> <li>・Webやパンフレット、メディアを活用した広域観光情報の発信</li> </ul>							
商品の造成・磨き上げ・セールス					→	宿泊者数 (H26:40,925人)	51,300人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品及び周遊プランの造成・磨き上げ</li> <li>・観光資源や商品のエージェントへのセールス</li> </ul>							
2016奥四万十博開催及び博覧会終了後の広域観光組織の機能強化					→		
博覧会の開催	博覧会終了後も持続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化						



修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>34 高幡地域における広域観光の推進 《高幡地域全域》</p>	<p>高幡地域内の観光地、自然、食、人などの観光資源を組み合わせて新たな商品を作成するとともに、高幡地域ならではの魅力をPRすることで知名度の向上及び観光客数の増加を図る。そして、奥四万十博で培われたノウハウを活かし、地域の商品を県内外に情報発信するとともに、旅行会社への積極的な営業活動を展開することで誘客を促進し、広域への経済効果を波及させていく。</p>	<p>・奥四万十観光協議会 ・須崎市 ・中土佐町 ・徳原町 ・津野町 ・四万十町</p>	<p>アクションプランの取組開始：H26 ・観光情報の管理及び情報発信(H26～29) ◆H26.10月に観光HPが完成し、情報等の集約、集計がスムーズに行える体制が整った。</p> <p>・商品及び観光資源の営業販売(H26～27) ◆県外旅行会社営業(H26.20回)、PRにより旅行会社のパンフレットに掲載された。</p> <p>・2016奥四万十博開催に向けた取組(H25～27) ・高幡地域の広域観光組織として「高幡広域観光推進本部会」を設立(H25) ・高幡広域観光推進本部会を開催し、地域博覧会開催が決定(H25) ◆地域博覧会を推進していく組織として「奥四万十博推進協議会」を設立し、実施態勢が整った。(H26) ・奥四万十博実施計画を策定(H27)</p> <p>・2016奥四万十博の開催(H28) ・2016奥四万十博オープニングイベントの実施(4/10)来場者数：25,000人 ◆インフォメーションセンターを「道の駅かわらその里すさき」に設置し、観光案内を実施することで、高幡広域全域へ誘客する体制が整った。 ◆県内、岡山、愛媛、香川などのテレビ局でのTVCMの広告や、ラジオや新聞などメディアを活用した広報を数多く実施し、県内外での奥四万十博PRに繋がった。 ◆首都圏や関西の旅行会社への営業や、観光キャラバンへの参加することで、観光商品の造成・販売に繋がった。 ◆ミッション8スタンプラリーやレンタカープランなど、様々なキャンペーン企画を実施することにより、エリア内の周遊促進、宿泊増加に繋がった。</p>	<p>・構成各市町における体験プログラム等の商品化力の向上 ・奥四万十博終了後も継続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化</p>	<p>◆観光情報の発信</p> <p>◆商品の造成・磨き上げ・セールス</p> <p>◆2016奥四万十博開催及び博覧会終了後の広域観光組織の機能強化</p>

修正後



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光情報の発信					→	主要観光施設入込客数 (H26:1,954,206人)	2,459,000人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5市町及び観光関係団体からの観光情報の収集、管理</li> <li>・観光素材の写真や関係情報のデータベース化</li> <li>・Webやパンフレット、メディアを活用した広域観光情報の発信</li> </ul>							
商品の造成・磨き上げ・セールス					→	宿泊者数 (H26:40,925人)	51,300人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品及び周遊プランの造成・磨き上げ</li> <li>・観光資源や商品のエージェンツへのセールス</li> </ul>							
2016奥四万十博開催及び博览会終了後の広域観光組織の機能強化					→		
博览会の開催	博览会終了後も持続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化						



## 幡多地域アクションプランの進捗状況等

H30. 9. 14

幡多地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

幡多地域の地域アクションプラン（47事業）は、各種助成制度やアドバイザー制度、各種研修会などの活用を事業者に提案することにより、新商品づくりや、県版 HACCP の認証取得、新たな設備投資を進める事業者が出てきており、事業のレベルアップへの動きが加速している。また、それぞれの事業者による県内外での営業活動や地産外商公社等主催の商談会への出展などにより外商の動きにつながっている。

農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘の作付面積の拡大やブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指した、官民協働による取組を引き続き進めている。「ぶしゅかん」は、昨年より稼働を始めた加工拠点施設での県版 HACCP 認証の取得に取り組んでいる。畜産関係では、土佐清水市の長期肥育鶏「土佐極鶏あしずりキング」は、昨年、産業振興総合補助金を活用して整備した加工処理・保管施設が5月から稼働し始め、7月下旬からは関西方面に本格的な出荷を開始している。市では、7月末に新しくブランド推進組織を立ち上げ、今後、市内外への情報発信、販路拡大に取り組んでいく。

林業分野では、大月町の土佐備長炭の販路拡大が進んでおり、課題となっている原木の確保については、苗木の植樹に継続して取り組むほか、製炭の取組をより地域に知ってもらう啓発活動も検討されている。

水産分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の水産加工事業者を中心とした外商活動や、県外の飲食事業者との連携により、販路を拡大するとともに雇用の創出にもつながっている。さらに、地域の事業者や関係団体、行政が一丸となり、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった、地域の資源を活かした地域産業クラスターを目指す取組も継続して進めている。「メジカ」は、昨年の極端な不漁を脱し、平年並みの漁獲量に回復している。市では、宗田節を原材料とする新商品の開発を進めており、現在、試作品が完成し、今後、地元での製造と県外飲食店などと連携した宗田節のプロモーションや販売展開に取り組んでいく。

商工業分野では、四万十市の商店街関係者が連携し、中心商店街の遊休地を活用した拠点施設の整備に向けて取り組んでおり、中核となる飲食施設の企画づくりなどが進められている。

観光分野では、「幡多広域観光協議会」を核として、6市町村や観光関係団体の連携のもと、引き続き着地型の旅行商品や体験メニューづくり、旅行会社等へのプロモーション、海外からのインバウンド誘致の取組を展開していく。スポーツツーリズムは、新たに、集落活動センターと連携を進めるなど、受入を更に充実する取組を進めている。また、竜串観光プロジェクトでは、H32年度にオープンを予定している新足摺海洋館を始め、今後、順次、整備が予定されている各種施設の計画にあわせて、地域の事業者が連携した周遊の仕組みづくりに取り組むため、4月に観光クラスター推進協議会を設立し、地域の観光クラスター整備計画策定に向けた関係者の協議が進んでいる。

一方、7月の西日本豪雨の影響から、宿毛市や大月町の水産加工事業者に被害が出たほか、宿泊キャンセルなどで観光事業者への影響も出ており、事業の平常化に向け、継続的に支援を行っている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石田蘭園</li> <li>・蘭遊六志会</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (1~12月)</li> <li style="padding-left: 20px;">H26 実績: 80,438 千円</li> <li>→H29 目標: 100,000 千円 (実績: 61,449 千円)</li> <li>→H30 目標: 110,000 千円 →H31 目標: 165,000 千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (H30.1~5月期): 32,799 千円 (前年比 135.1%)</li> <li>○販路開拓と販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品</li> </ul> </li> <li>○生産体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外拠点とのリレー出荷システムの構築に向けた取組</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益率アップに向けた更なるコスト削減策の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒海外の生産拠点からの安定的な苗供給体制の確立</li> </ul> </li> <li>・切り花出荷の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大</li> </ul> </li> <li>・新たな取引先の獲得 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒県外でのフェアや商談会への参加に加え、ネットショップを活用、個人顧客獲得に向けた営業活動を展開</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.2 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有) 成田果樹園</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (8~7月)</li> <li style="padding-left: 20px;">H27 実績: 44,179 千円</li> <li>→H29 目標: 47,000 千円</li> <li style="padding-left: 20px;">(実績: 59,061 千円※H29.8~H30.6、前年同期比 118.7%)</li> <li>→H30 目標: 59,000 千円 →H31 目標: 65,000 千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産振アドバイザー制度を活用し、地元の農産物(柑橘など)を使った飲料を開発中</li> </ul> </li> <li>○既存商品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機栽培、減農薬栽培への継続的な取組</li> <li>・宿毛市ふるさと納税返礼品への出品</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上アップに向けた新たな市場開拓 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒「シトラスビューティー」(柑橘等を利用した美容と健康の増進)のPR活動の実施及び商品購入に繋げていくための戦略づくり</li> <li>⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進</li> <li>⇒産振アドバイザーを活用した新事業向け商品の開発</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)足摺農園</li> <li>・土佐清水市</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生産羽数 H27実績：－ →H29目標：680羽(実績：0羽) →H30目標：2,400羽 →H31目標：3,000羽</li> <li>○加工出荷額 H27実績：－ →H29目標：2,620千円(実績：0円) →H30目標：10,872千円 →H31目標：17,436千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生産羽数：雛の肥育を開始(H29.12月～) (月120羽程度(最寒気の2月を除く)) 本格出荷開始(7/24～)</li> <li>○生産体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新加工処理施設の稼働開始(5/28～)</li> <li>・協力農場(鹿児島県知覧市)による技術指導(7/11)</li> </ul> </li> <li>○流通体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売先(関西の卸事業者)の生産現場視察、販売協議(6/21)</li> <li>・ブランド化に向けた関係機関による協議会設立(7/31)</li> <li>・ブランド名商標登録申請(9月中旬(予定))</li> <li>・販売先が主催する飲食店向け商談イベントへの出展(9/19予定)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工処理体制の確立(衛生管理体制等) ⇒本格稼働する加工処理施設の円滑な運営支援 県版HACCP取得に向けた支援(セミナーへの誘導等)</li> <li>・販路の確保 ⇒販売先等と連携した営業活動、商談会への出展</li> <li>・ブランド化の推進 ⇒ブランド化協議会でのプロモーション事業計画の検討 ⇒産振アドバイザー制度の活用(市民への普及、知名度のアップ)</li> </ul>
<p>■No.4 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十市</li> <li>・四万十ぶしゅかん生産者組合</li> <li>・四万十ぶしゅかん(株)</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>(四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栽培面積(3月末時点) H27実績：490a →H29目標：1,020a(実績：977a) →H30目標：1,170a →H31目標：1,440a</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(四万十ぶしゅかん株)</p> <p>○生産量(4~3月 ※収穫期間は8~10月)  H27実績: 18,700kg  →H29目標: 31,500kg (実績: 23,380kg)  →H30目標: 37,540kg →H31目標: 46,800kg</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○栽培面積(5月末): 977a (前年比100.0%)</p> <p>○生産量(5月末): 0kg (収穫時期未到来)</p> <p>○産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市苗木補助メニュー(ぶしゅかん産地化推進事業: 地方創生交付金)の活用(4月~)</li> <li>・栽培基準検討会の開催(7/19)</li> </ul> <p>○生産量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培状況の現地確認(4/17)</li> <li>・生産者組合役員会(6/5)及び総会(6/8)の開催</li> </ul> <p>○展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・催事販売等の実施(5月末): 6回</li> <li>・商談会へ出展(5月末): 2回</li> <li>・ぶしゅかん解禁祭の実施(8/18)</li> </ul> <p>○各種媒体でのPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビでの特集(4/9)、県内テレビCM(6/20~)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の生産技術、ノウハウの習得  ⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施</li> <li>・100年ぶしゅかんブランドの確立  ⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上  ⇒出荷基準の徹底</li> <li>・販売戦略の構築  ⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立  ⇒商品コンセプトの再構築</li> <li>・ぶしゅかんの認知度の向上  ⇒地元の飲食店等での活用促進  ⇒メディアを活用したぶしゅかんのPRの継続実施</li> <li>・生産コストの削減、衛生管理体制の強化  ⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設の安定稼働  ⇒県版HACCP認証申請に向けた支援</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財) 三原村農業公社</li> <li>・三原村</li> <li>・JA高知はた</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>(三原村農業公社) (JA 高知はた)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生産量 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績 103 t</li> <li>→H29 目標 240 t (実績: 128 t)</li> <li>→H30 目標 300t→H31 目標 495t</li> </ul> </li> <li>○販売金額 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績 16,738 千円</li> <li>→H29 目標 50,000 千円 (実績: 59,792 千円)</li> <li>→H30 目標 100,000 千円→H31 目標 129,388 千円</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生産量: 0t (収穫時期未到達)</li> <li>○販売金額: 0 円 (収穫時期未到達)</li> <li>○地域農業支援システムの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公社を核とした農業支援システムづくりの検討 ユズ園地リースシステム協議 (5/1 7/4)</li> <li>・ユズの栽培管理技術の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 公社・研修生にむけて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 公社 <ul style="list-style-type: none"> <li>剪定講習会 (4/25 8 人)</li> <li>園地巡回指導 (4~6 月 3 回)</li> <li>剪定指導 (5/25 3 人)</li> </ul> </li> <li>② 研修生 <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回指導 (4/17 2 人)</li> <li>篤農家訪問研修 (5/8 2 人)</li> <li>剪定指導 (5/25 2 人)</li> <li>新規就農者との合同勉強会 (7/20 2 人)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) JA 柚子部会員にむけて <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培講習 (5/18 32 人)</li> <li>個別巡回 (4~6 月 3 回 3 人)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○青果出荷体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選果施設利用協議 (6/22、8/6 12 名)</li> </ul> </li> <li>○基盤整備等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域所得向上支援事業における農地造成関連工事等発注(農道舗装工事 8 月、農地造成工事 10 月予定)</li> </ul> </li> <li>○新規就農者の経営安定(就農 5 年以下) <ul style="list-style-type: none"> <li>・整枝剪定・防除指導巡回 (4~6 月 8 回 のべ 20 人)</li> <li>・経営指導巡回 (6/4 1 人)</li> <li>・研修生との合同勉強会 (7/20 3 人)</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○ユズ商品加工・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピール菓子(販売中)の販路開拓 バイヤーを通じて関東・東北・北海道方面にサンプル配布するなどPR中</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○ユズ共同選果施設運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選果員の人員確保・選果機効率アップ</li> </ul> <p>⇒生産者での粗選果・搬入ロットの確保など選果施設運営協議</p>
<p>■No.7 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大月町備長炭生産組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○販売量</p> <p>H26実績:75.7t</p> <p>→H29目標:120t(実績:108.8t)</p> <p>→H30目標:120t →H31目標:200t</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○販売量(4~6月):30t(前年度比:104%)</p> <p>○生産力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産組合の定例総会の開催(事業計画等の協議)(5/14)</li> <li>・クレーン車両(3t)導入</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○原木(ウバメガシ)の安定的な確保</p> <p>⇒山林の確保に向けた関係先との調整</p> <p>⇒長期的な視野に立った資源の造成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウバメガシ搬出作業道の整備</li> <li>・ウバメガシの育苗場の整備(700㎡)</li> </ul> <p>⇒製炭事業や山林資源の活用について地域に知ってもらう啓発活動の検討</p> <p>○生産の安定化と増産、品質の確保、販路拡大</p> <p>⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識・技術の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西や四国内の飲食店視察を検討</li> </ul>
<p>■No.8 すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業(宿毛市・大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すくも湾漁業協同組合</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p>H26実績:1.04億円</p> <p>→H29目標:1.1億円(実績:0.68億円)</p> <p>→H30目標:1.1億円 →H31目標:1.22億円</p> <p>○加工量(原魚ベース)</p> <p>H26実績:191.4t</p> <p>→H29目標:560t(実績:572t)</p> <p>→H30目標:560t →H31目標:400t</p>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高(4~6月): 14,763千円(前年同期比: 92.1%)</li> <li>○加工量(原魚ベース)(4~6月): 99t(前年同期比: 98.0%)</li> <li>○すくもプロジェクト(ブリフィレ加工) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の加工について関係者協議(4/3, 5/24)</li> <li>→今年度加工目標: 14万尾</li> <li>→加工尾数(4~6月): 29,940尾</li> <li>・省人力化及び作業効率化に向けた関係者協議(5/23, 6/14)</li> <li>→電気タモ及び自動メ機のデモ機導入の検討</li> <li>→電気タモデモ機導入試験開始(7/19~)</li> </ul> </li> <li>○高知県版 HACCP の承認取得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3ステージ取得(6/22)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すくもプロジェクト(ブリ) <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒周年加工の実現に向け原魚確保や加工体制を調整</li> <li>⇒電気タモデモ機導入試験結果の分析(8月中旬以降)</li> <li>⇒自動メ機は引き続きデモ機の導入を検討</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.9 すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すくも湾漁業協同組合</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26実績: 37,553千円</li> <li>→H29目標: 40,600千円(実績: 34,158千円)</li> <li>→H30目標: 40,000千円 →H31目標: 50,000千円</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高(4~6月): 8,294千円(前年同期比: 113.7%)</li> <li>○加工品のPR <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿毛市産業祭に出店(4/29)</li> </ul> </li> <li>○未利用魚の有効利用(サメ、アイゴ、ニベなど) <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の基盤整備事業を活用したサメ肉の有効利用について関係者で協議(5/22)</li> <li>→新商品の開発委託や販売先の確立</li> <li>・その他魚価の低い魚介類の加工 <ul style="list-style-type: none"> <li>→アイゴは水揚げが安定せず、安定的な加工が難しいが需要はあるのでこれからも加工に取り組む</li> <li>→ニベは魚価高騰のため加工断念</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品のPR <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒県内外のイベントへの出店</li> </ul> </li> <li>・未利用魚の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒サメ肉は学校給食や飲食店を販売先に検討中</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)沖の島水産</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(7~6月) H26実績:2.5億円 →H29目標:3.5億円(実績:4.3億円(H29.7~H30.5)) →H30目標:5.0億円 →H31目標: :6億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○商品開発と販売促進 ・県外の展示会・商談会及び催事への出展(4~6月:13件) ・産振アドバイザーの活用(HPリニューアル)</p> <p>○生産体制の充実、強化 ・県版HACCP認証取得に向けた取組を継続</p> <p>○その他の取組 ・スキューバダイビングのPR</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・自社レストラン以外の販路開拓 ⇒通信販売(ネット、DM)等の強化</p> <p>・衛生管理体制の充実 ⇒HACCP取得に向けた取組の強化に向けた社員教育の実施</p> <p>・漁労部門の周年雇用の確保 ⇒スキューバダイビング事業の充実、強化</p>
<p>■No. 11 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)勇進</p> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>○売上高(5~4月) H26実績:0円 →H29目標:1.26億円(実績:1.21億円) →H30目標:1.5億円 →H31目標: :2.56億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(5~6月):16,700千円(前年比128.5%)</p> <p>○販路拡大 ・県内外大手スーパーマーケット、県外外食関係事業者などへの販促活動の継続実施 ・県内外の商談会への出展(4~6月:2件) ・取引先との調整及び取引交渉の促進(4~6月:13件) ・商人塾短期集中セミナーin幡多受講開始(6/28~)</p> <p>○生産体制の確立 ・社員教育実施の検討</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化 ⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進 ・衛生管理体制の確立 ⇒HACCP 取得に向けた社員教育の実施 ・生産体制の充実、強化 ⇒責任者の配置、人材育成の強化
<p>■No. 13 キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・八重丸水産(株)</p> <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○きびなごケンピ売上高（9～8月）            H26実績：25,950千円            →H29目標：27,500千円（実績：26,675千円）            →H30目標：28,500千円 → H31目標：29,820千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○きびなごケンピ売上高（H29.9月～H30.6月）            : 17,990千円（前年同期比78.1%）</p> <p>○販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷</li> <li>・日曜市（太刀魚、ウツボ、イワシ等）での出店（毎週日曜日）</li> <li>・県内外の商談会への出展</li> <li>・業務用筋への参入を目指した展示会視察</li> <li>・生産体制の拡充による販売拡大</li> </ul> <p>○市場ニーズに対応した新商品の開発・商品の改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品（イカのポン菓子）の改良及び販売</li> <li>・商品形態のバリエーション充実及び販売</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高利益率生産に向けた新商品の開発や既存商品の改良            ⇒新商品の開発や既存商品の磨き上げ、商品形態のバリエーションの充実</li> <li>・事業拡大へ向けた業務用筋への参入            ⇒業務用商品とするために必要な条件等の収集</li> <li>・経理等を含めた経営力のワンランクアップ            ⇒販売管理システムの導入等による体制強化を含めた経営力の向上</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐大月海産</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品売上高(1~12月) H26実績:14,549千円 →H29目標:25,000千円(実績:26,486千円) →H30目標:30,000千円 → H31目標:33,000千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品売上高(1~6月):12,924千円 (前年同期比119.4%)</li> <li>○販促営業、情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売</li> <li>・県内商社を通じた販路拡大及び販売促進</li> <li>・県内外のホテル業界への参入</li> <li>・通年用リーフレットの配布</li> <li>・お中元商品のDM発送、宣伝・販売(6~8月)</li> <li>・県外商談会出展も視野に、高品質重視の百貨店等への販促活動を検討</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理体制の充実強化 ⇒県版HACCP上級ステージを目指すための設備導入</li> <li>・利益アップに向けた新たな個人顧客の獲得 ⇒ネット販売の再構築、ふるさと納税を活用した販売促進への波及</li> </ul>
<p>■No. 16 直七の生産、加工、販売の促進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直七生産(株)</li> <li>・直七の里(株)</li> <li>・直七PJ(株)</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直七果実生産量(1~12月) H27実績:117t →H29目標:200t(実績:163t) →H30目標:200t →H31目標:200t</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直七果実生産量:0t(収穫時期未到来)</li> <li>○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木配布に伴う説明会(5/29)</li> </ul> </li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の展示会・商談会の出展及び試食販売の開催(4~6月):4件</li> <li>・地元の葬祭業者の香典返しとして、直七セットが採用(4月)</li> <li>・直七高付加価値化(広告宣伝)推進事業を活用し、海外への見本市に出展(4月)</li> </ul> </li> </ul> <p>今後は新聞、フリーペーパー等への広告出稿を予定</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原料（直七）供給の安定化 ⇒新規生産者の増加及び生産方針の教育の徹底、計画的な作付面積の拡大による原料供給の安定化</li> </ul>
<p>■No. 17 昭和初期からの地域伝統商品の販売 拡大等事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)菱田ベーカリー</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26 実績：3,000 千円 →H29 目標：38,000 千円（実績：49,770 千円） →H30 目標：50,000 千円 →H31 目標：60,000 千円</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（4～6月）：11,528 千円（前年比 96.6%）</li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の主な商談会及び催事への出展（4～6月：3件）</li> </ul> </li> <li>○新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新等支援事業費補助金を活用（フードショー 2018(6/20～6/21) 参加）し、バイヤーとの意見交換を行ったことにより「大納言」のリニューアルの検討につながった</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羊羹パンのさらなる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化 ⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取組の強化</li> <li>・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒官公庁、自主防災組織等への売り込み</li> </ul>
<p>■No. 18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水ホールディングス(株)</li> <li>・土佐食(株)</li> <li>・(株)土佐清水元気プロジェクト</li> <li>・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会</li> <li>・土佐清水市</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <p>（土佐食(株)＋(株)土佐清水元気プロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26 実績：17.92 億円 →H29 目標：22.1 億円（実績：18.39 億円）（2社合計） →H30 目標：19.8 億円（2社合計） →H31 目標：25 億円（2社合計）</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（4～5月）：507,786 千円（前年比 188.4%）</li> <li>○経営戦略の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地入札会及び宗田節まつりを実施（4/14）</li> <li>・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会議（5/29）</li> <li>・宗田節プロモーション会議での、新商品開発及びプロモーションに関する協議（6/4、7/30） 年内の新商品発表を予定</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メジカ漁師の研修生の受入：2名</li> </ul> <p>○商品開発及び販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種商談会に土佐食と元気プロジェクトが共同で参加</li> <li>・宗田節ロードスタンプラリーの開催（10/31まで）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料となる原魚の確保 ⇒H29の極端な不漁と比べH30は平年並みであり、積極的に原魚を購入し原材料の安定を図る</li> <li>・土佐清水メジカ産業プロジェクト推進協議会を中心に、関係団体が連携してハード・ソフト事業を推進 ⇒メジカ関連産業に関する施設整備の円滑な推進 新商品の製造設備整備に向けた事業計画策定の支援 品質・うまみの独自基準づくり 市民向けプロモーションの展開の支援 「宗田節ロード」参画店舗の拡大勧誘の支援</li> <li>・衛生管理の強化 ⇒県版 HACCP 認証取得に向けた誘導</li> <li>・商品力の強化と販路拡大に向けた取組の強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開</li> <li>・土佐清水ホールデングス(株)を中心とした土佐食と元気プロジェクトの経営資源の再構築</li> </ul>
<p>■No. 19 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ウェルカムジョン万カンパニー</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○販売額（1～12月）</p> <p>H26 実績：47,600千円</p> <p>→H29 目標：70,000千円（実績：88,076千円）</p> <p>→H30 目標：80,000千円 →H31 目標：70,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○販売額（1～5月）：31,998千円（前年比96.5%）</p> <p>○外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節まつりでの商品販売（4/14）</li> <li>・にっぽん丸入港歓迎行事への出店（5/29）</li> <li>・H30 高知県産品商談会への出展（5/29）において、新商品発表（めんつゆボトル・スーパー向け）</li> <li>・スーパーよさこい（表参道）へ出店（8/25～26）</li> <li>・ギフトショー（東京ビックサイト）への出展（9/5～7）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな販路の開拓（めんつゆ、ポン酢） ⇒県外での商談会や催事等への参加 ⇒利益率の高いプライダル商品等に注力</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産機器及び商品包装のリニューアル ⇒県補助金の申請支援</li> </ul>
<p>■No. 20 地域産品を活用した加工商品の開発 販売・流通システム構築推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐清水沸騰社中</li> <li>土佐清水外商流通組合</li> <li>土佐清水市</li> <li>(株)郷土活性化組合</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ 産業クラスタープロジェクト及び宿毛・大 月養殖ビジネス高度化プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○流通システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>清水さば活魚輸送及び店内いけす改善のための産振アド バイザー制度の活用(1回目(7/27)、計3回実施予定)</li> </ul> </li> <li>○地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>宗田節新商品開発及びプロモーションに関する、ワール ドワン店舗での展開に関する協議(6/4)</li> <li>土佐清水ワールド東京新橋店オープン(9/25 予定)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流通システムの構築 ⇒生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組 みづくり ⇒活魚輸送の効率化、輸送コストの削減等に向けた輸送 方法の検討</li> <li>地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ⇒生産者や加工事業者との連携の仕組みづくり ⇒お客様のニーズに合った新商品の検討</li> </ul>
<p>■No. 21 海洋資源を活かした遊漁等による体 験型交流推進事業(土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐清水市</li> <li>土佐清水市観光協会</li> <li>民間事業者</li> <li>漁業協同組合等</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ 産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○来客数 H28実績:300人 →H29目標300人(実績1,060人) →H30目標1,200人 →H31人目標1,600人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○来客数(4~7月):359人(前年同期比:72%)</li> <li>○ポスト幕末維新博を見据えた、遊漁船業やその他体験観 光メニュー等の磨き上げと旅行商品化 <ul style="list-style-type: none"> <li>足摺釣りブリ組合と遊漁事業化(見学・体験)を協議 (5/14)</li> <li>遊漁船業等の旅行商品開発支援業務を民間旅行会社に 委託(5/31契約) →足摺釣りブリの旅行商品化に向けた取組を実施 (本年度中に、商品プラン策定、モニターツアー等 を実施予定)</li> <li>足摺釣りブリ組合と遊漁事業及び旅行商品化に関する 課題について意見交換(6/21、7/27)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足摺釣りブリの旅行商品化 ⇒商品プラン案の作成、モニターツアーの実施</li> <li>・足摺釣りブリの遊漁事業化 ⇒遊業事業の整理（見学、釣りの実施）など</li> </ul>
<p>■No. 22 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)しまんと美野里</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栗加工品製造量（6～5月） H26実績：4.0 t →H29目標：7.0 t（実績：5.4 t） →H30目標：7.0 t →H31目標：8.0 t</li> <li>○原材料（生栗）仕入量（6～5月） H26実績：6.5 t →H29目標：11 t（実績：8.6 t） →H30目標：11 t →H31目標：12 t</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品の高付加価値化と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HACCP 認証の取得に向けた取組（7/20 第2ステージ取得）</li> <li>・ 四万十市「おかみさん祭り」で焼き栗実演販売（4/20）</li> <li>・ 高知市内の菓子店とのコラボ商品（ミレーサンド、タルト、キャラメル、チーズケーキ）を道の駅を中心に販売</li> <li>・ 商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講</li> <li>・ 新商品（栗のソフトクリーム）完成（7/18）</li> <li>・ 原材料長期保存のための冷却設備導入協議（8/6）</li> <li>・ 西土佐農商工連携検討会での栗仕入協議（8/9）</li> <li>・ 商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講</li> </ul> </li> <li>○栽培しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市によるモデル栗園整備に向けた予定地の整地化（4月）</li> <li>・ 農家定例会の開催（6/27）</li> <li>・ 西土佐農商工連携検討会（8/9）</li> </ul> </li> <li>○地域の他素材を使った商品づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブルーベリー、梅、マルセイユメロンの下処理</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定的な栗の仕入れ ⇒市、JA 高知はたなど関係機関との連携強化（西土佐農商工連携検討会での定期的な協議など） ⇒モデル栗園の円滑な整備 ⇒栗栽培の先進地視察</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒集荷農家の増加に向けて、作業道整備や獣害対策網の設置等の実施</p> <p>⇒収穫時期の大学生や地域おこし協力隊等を活用した人手不足対策の検討</p> <p>・道の駅を中心とした販売促進、PR</p> <p>⇒売上拡大に向けた新商品開発(焼酎)</p> <p>・閑散期対策の検討</p> <p>⇒イタドリに関しては、地域内での栽培開始を見越した、加工・保管の体制づくり及び、大宮地区の栽培に関する情報収集、連携に向けた協議</p> <p>⇒イタドリに関しては、地域内での栽培開始を見越した、加工・保管の体制づくり及び、大宮地区の栽培に関する情報収集、連携に向けた協議</p> <p>⇒栗以外の製品の加工の検討</p>
<p>■No. 23 四万十牛の生産・販売拡大事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)四万十牛本舗</li> <li>・西土佐中央牧場</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>((株)四万十牛本舗)</p> <p>○売上高</p> <p>H26 実績：131,446 千円</p> <p>→H29 目標：180,000 千円 (実績：179,290 千円)</p> <p>→H30 目標：180,000 千円 →H31 目標：200,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売拡大と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内スーパー(サンプラザ)との精肉取引が6月から2倍に増加(半頭/月→1頭/月)</li> <li>・旭食品との商談(5月)</li> <li>・第7回チーム・シェフコンクールへのエントリー (9月予定)</li> </ul> <p>○原材料供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育頭数の拡大 (6月末174頭→目標12月末200頭へ)</li> <li>・西部家畜保健衛生所による主に生産面に関する随時支援</li> <li>・牧場従業員の1名雇用増(5月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育頭数の拡大</li> <li>・販売店舗・加工施設の移転拡大</li> </ul> <p>⇒事業計画整理に向けた支援</p> <p>⇒HACCP第3ステージ取得に向けた研修等への誘導</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化に向けた取組 ⇒ブランド化に向けた協議の場づくりの検討 商品開発や店舗のPR及び販促活動の強化</li> <li>・売上拡大に向けた道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくりの支援 ⇒道の駅等での商品の売り方検討(BBQ等)</li> <li>・人手不足(惣菜部門が2名不足) ⇒ハローワーク及び求人ネットの活用</li> </ul>
<p>■No. 24 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)西土佐ふるさと市</li> <li>・四万十市</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26実績: 0円 →H29目標: 160,000千円(実績: 150,184千円) →H30目標: 150,000千円 →H31目標: 150,000千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高(4~6月末): 45,035千円(前年同期比110.0%)</li> <li>○地域ならではの商品づくり、販売活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開業2周年イベント「よっておきゃく」の開催(4/8)</li> <li>・運営会議の開催(4/9, 5/14, 6/11, 7/2, 8/6, 9/3)</li> <li>・新商品(鮎のコンフィ)販売開始(4/29~)</li> <li>・月次まつりの開催 (4/8 2周年祭、5/27 新たままつり、6/24 鮎まつり、7/29 夏のなりものまつり、8/12 41℃フェア夏の感謝祭、9/23 予定 くりかに合戦)</li> <li>・ギフト商品の販売(7月中旬) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品開発(米なすスモージー)(8/12)</li> <li>・アツいまちサミットへの参加(6/2 東京)</li> <li>・青森道の駅つるた 道の駅物産交流(6/23~24)</li> <li>・ナスフェス(8/5)</li> <li>・サイクルイベント「2リバービューライド」参画(9/9 予定)</li> <li>・旭川食べマルシェ出店(9/15-17 予定)</li> <li>・第72回全国レクリエーション大会(9/23 予定)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○周辺施設・商店街等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛奥伊予肉街道への参加(4/21~11/30)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発及びそれにかかるアドバイザー派遣、設備導入への支援メニューの提案</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒集客アップのためのイベント等の開催</p> <p>⇒スタッフのスキルアップのため、商人塾・土佐 MBA の研修参加への誘導</p> <p>⇒外商支援のため、「まるごと高知」の活用提案</p> <p>・周辺整備の計画づくり</p> <p>⇒将来を見据えた整備計画の作成</p>
<p>■No. 25 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・しまんと百笑かんぱに(株)</p> <p>・四万十市地域商品研究会</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>(しまんと百笑かんぱに(株))</p> <p>○商品売上高</p> <p>H26 実績：30,000 千円</p> <p>→H29 目標：58,000 千円 (実績：47,970 千円)</p> <p>→H30 目標：70,060 千円 →H31 目標：83,371 千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○商品売上高 (4 月末)：4,419 千円 (前年同期比 105.4%)</p> <p>○自社商品の開発強化</p> <p>・だしのドリップパックの試作 (高知県食品産業総合支援事業を活用)</p> <p>○生産体制の強化</p> <p>・パート従業員を 1 名増員 (7 月)</p> <p>○販売拠点整備と販路拡大</p> <p>・商談会への参加 3 回 (6 月末) 4 回 (7~9 月予定)</p> <p>・HACCP 研修への参加 (8/22, 23 予定)</p> <p>・台湾高知県フェア (11 月予定) の開催に向けた、地域の企業への呼びかけ (5/29)</p> <p>○四万十市地域商品研究会</p> <p>・市との実施計画及び予算の協議 (2 回)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>・だし試作品の製造に必要な機器購入の補助申請の支援</p> <p>・商談会出店支援策の提案</p> <p>・新加工保管施設の安定稼働</p> <p>⇒県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得に向けた支援</p> <p>・地域商品研究会の活動強化</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・WAN LIFE</p>	<p>[目標]</p> <p>○商品売上高（1～12月） H26実績：2,088千円 →H29目標：30,000千円（実績：15,601千円） →H30目標：30,000千円 →H31目標：10,352千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の事業者と連携した商品開発 四万十市：原木しいたけ 土佐清水市：宗田節 宿毛市：鯛、きびなご、シイラ 黒潮町：天日塩 その他県内：四万十鶏、はちきん地鶏、四万十ポーク、各種野菜</li> </ul> <p>○販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・催事販売への出店（4/21-22、5/12）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の増加 ⇒通販サイトのさらなる強化 ⇒主食商品の開発（商品ラインナップのさらなる充実） ⇒航空会社など企業向けの営業活動を強化</li> <li>・県産原材料の確保による新商品展開 ⇒原材料生産者の情報収集</li> </ul>
<p>■No. 27 四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)LLPしまんと</p>	<p>[目標]</p> <p>○商品売上高（3～4月） H26実績：24,297千円 →H29目標：27,000千円（実績：25,000千円） →H30目標：30,000千円 →H31目標：37,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高（4月末）：3,340千円（前年同期比144.7%）</p> <p>○販路開拓及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・催事販売への出品（6/1）</li> <li>・3社との新規取引を開始（5月末）</li> <li>・県外食品会社等による産地視察への対応（7月末） ：3件</li> </ul> <p>○組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パート従業員2名増員予定</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員確保（高知求人ネットの活用）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産コストの縮減 ⇒生産の効率化に向けた設備導入の検討</li> <li>・売上の増加 ⇒PB・OEMの受注PRも含めた営業活動の展開</li> </ul>
<p>■No. 28 素材の特性を活かした地域色豊かな 冷凍加工食品の開発・製造・販売事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》 ・(有)和</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品売上高(6～5月) H26実績：11,744千円 →H29目標：17,800千円(実績：24,632千円) →H30目標：20,000千円 →H31目標：23,852千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品売上高(4～5月)：6,176千円(前年比102.7%)</li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の催事での実演販売の実施 11回</li> <li>・商談会への参加 1回</li> <li>・農商工連携事業として高幡地域の事業者と連携して開発した商品のOEM生産の継続及びPR</li> </ul> </li> <li>○商品開発及び改良 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケンボロー豚のパッケージやストーリーの検討</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 商人塾幡多を受講(6/28～)</li> <li>・土佐MBA 経営戦略概論を受講(6/1)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開</li> <li>・生産拡大・効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版HACCPの取得に向けた取組の強化</li> </ul>
<p>■No. 29 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》 ・四万十市 ・四万十にぎわい商店(株)</p>	<p><b>[目標]</b> —</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○推進組織体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役会(4/13、6/13、7/17) 取締役会での県支援制度の説明(7/17)</li> </ul> </li> <li>○事業効果を高める仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国経済産業局、中小機構四国との国事業活用に関する協議(4/23)</li> <li>・商店街振興計画の策定の検討(6/15～)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実効性の高い事業実施計画の策定 ⇒取締役会及び運営会の定例開催 ⇒拠点整備事業と整合性のある商店街振興計画の策定</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保 ⇒移住促進・人材確保センター等のチャンネルの活用提案</li> <li>・実施設計及び工事に係る財源の確実な確保</li> </ul>
<p>■No. 30 大月町まるごと販売事業（拠点ビジネス）（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一財）大月町ふるさと振興公社</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 H26 実績：1.86 億円 →H29 目標：2.07 億円（実績：1.96 億円） →H30 目標：2.2 億円 →H31 目標：2.5 億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（4～6月）：49,509 千円（前年同期比 98.5%）</li> <li>○地場産品総合販売ビジネス（ファンづくり） <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおつきふれあいマーケットの実施(毎月第3日曜日)</li> <li>・集客アップに向けた各種イベントの実施</li> <li>・イベント等での出店</li> <li>・ギフトカタログ等での販売(夏:6～10月、冬:11月～)</li> <li>・商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講(若手職員1名)</li> </ul> </li> <li>○町内事業者と連携した特産品開発生産ビジネス <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年用の通販ビジネスの強化</li> <li>・HACCP 研修受講の検討</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒将来を見据えた道の駅新戦略づくり ⇒SNS を活用した更なる情報発信の強化</li> <li>・カタログ、ネット販売やふるさと納税関連の企画販売等の強化 ⇒カタログ、ネット販売の再構築及びふるさと納税を活用した販売促進への波及 ⇒ネット通販の再構築でのアドバイザー活用の検討</li> <li>・既存施設の改修の検討 ⇒町と連携し課題を整理し、改築も含めた検討の実施</li> </ul>
<p>■No. 31 三原村のどぶろくによる地域活性化事業（三原村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐三原どぶろく合同会社</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（6～5月） H27 目標：8,630 千円（実績：4,540 千円） →H29 目標：8,630 千円（実績：14,989 千円） →H30 目標：8,630 千円 →H31 目標：8,630 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（4～5月）：1,935 千円（前年同期比 121.9%）</li> <li>○販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への参加</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントへの出展 (ふれあい大マーケット (4/15)、天神橋おかみさんまつり (4/21)、宿毛市産業祭 (4/29)、三原村特産品フェア (7/14, 15))</li> <li>○組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県版 HACCP 研修受講 (8/22, 23)</li> </ul> </li> <li>○広報・PR <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント出展時にパンフレット等配布</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営戦略の構築 ⇒情報発信力の強化、三原村へ来てどぶろくを飲んでもらえるような仕掛け、酒屋や料理店等との連携</li> <li>・新商品の開発・販売 ⇒季節限定商品や加工品等新たな商品の開発</li> <li>・販路の拡大 ⇒県外での PR 活動、商談会等への参加、集落活動センターとの連携</li> <li>・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 取得に向けた各種セミナー等への参加 ⇒加工設備等の改修の検討</li> </ul>
<p>■No. 32 地域産トマトの加工・販売の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ベストグロー</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (5~4月) H26 実績 : 32,850 千円 →H29 目標 : 45,000 千円 (実績 : 84,408 千円) →H30 目標 : 60,000 千円 →H31 目標 : 65,000 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (4月) : 8,615 千円 (前年同期比 94.9%)</li> <li>○生産体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT 導入に関する検討 (4/11)</li> <li>・県版 HACCP 研修受講 (8/22, 23)</li> <li>・県版 HACCP 取得に係るアドバイザーの現地確認 (9/28 予定)</li> </ul> </li> <li>○青果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町での生産、出荷</li> </ul> </li> <li>○販売促進と商品開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・与力水産を通じたシンガポール事業者へのトマトピューレ等の紹介 (5/23)</li> <li>・商談会参加 (県商談会 (5/29)、アグリフード EXPO 東京 (8/22, 23))</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演依頼対応 産業振興計画シンポジウム (6/1) GPEC 施設園芸・植物工場展 (7/12))</li> <li>・イベントへの出展、出品 三原村特産品フェア (7/14, 15)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の生産・販売体制の充実・強化 ⇒各種商談会への参加等による販路開拓 ⇒加工施設及び加工品保管施設の改修又は新設の検討</li> <li>・トマトピューレの販路拡大 ⇒トマトピューレの家庭用販売の検討 トマトピューレを活用した商品の開発検討</li> <li>・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 取得に向けた各種セミナー等への参加</li> </ul>
<p>■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業 (黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)ソルティープ</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (3～2月) H27 実績：12,000 千円 →H29 目標：19,500 千円 (実績：18,652 千円) →H30 目標：20,000 千円 →H31 目標：23,000 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (4～6月)：5,848 千円 (前年同期比 118%) <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩づくり体験の受入 ⇒体験受入(4～6月)：203 人 (前年同期比 250.6%)</li> </ul> </li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サントリー酒類(株)商談会(大阪)(5/8)</li> <li>・関西居酒屋産業展(大阪)(5/15～17)</li> <li>・高知県産品商談会(高知)(5/29)</li> <li>・県外事業者(土佐里：東京都)産地視察対応(5/5)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の知名度アップとさらなる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進</li> <li>・生産施設の拡充 ⇒結晶ハウスの増設及び関連施設の整備 (産振総合補助金活用検討)</li> <li>・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)なぶら土佐佐賀</li> <li>・黒潮町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績：118,658 千円</li> <li>→H29 目標：204,824 千円（実績：213,570 千円）</li> <li>→H30 目標：209,945 千円 →H31 目標：209,945 千円</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（4～6月）：59,786 千円（前年同期比 97.2%） <ul style="list-style-type: none"> <li>・4周年祭の実施（4/15）</li> <li>・クロネコキャラバン参加（5/19）</li> <li>・JAF イベント参加（6/10）</li> <li>・和ソフト・文旦ソフト詰め合せ <ul style="list-style-type: none"> <li>明神水産お中元カタログ掲載（6月）</li> </ul> </li> <li>・和ソフト・文旦ソフトテイクアウトコーナー販売（7月）</li> </ul> </li> <li>○町内関連施設等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバル」との連携（道の駅での紙のこいのぼり販売、フェスティバル会場での道の駅割引券配布、5/3）</li> <li>・道の駅ビオスおおがたとの情報交換会（6/15）（開催予定・4回/年）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘客促進のための魅力ある店舗づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒幡多地域の観光情報等発信機能の強化</li> <li>⇒地元事業者や関係機関との連携強化</li> <li>⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 35 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業（黒潮町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)土佐佐賀産直出荷組合</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（3～2月） <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 実績：84,159 千円</li> <li>→H29 目標：120,000 千円（実績：80,567 千円）</li> <li>→H30 目標：125,000 千円 →H31 目標：130,310 千円</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高（4～6月）：24,881 千円（前年同期比：94.6%） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク、高知求人ネットへの求人掲載</li> <li>・外国人研修生（ベトナム）2名受入（9月）</li> <li>・集落活動センター北郷よりバジルの購入始める（7月）</li> </ul> </li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋生協総会出席商品 PR（4/6）</li> <li>・高松中小企業機構練習商談（4/24）</li> <li>まるごと日本、F&amp;F 商談（5/16）</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風水プロジェクト商談 (5/14)</li> <li>・京王永山ナチュラルランド商談 (5/14)</li> <li>・生活舎商談 (5/15)</li> <li>・四国中央市 貿易協会主催選定商談会 (5/22)</li> <li>・BIO マーケット (大阪) 来社、工場見学、商談</li> <li>・ササビーリーグ (高知) 商談会 (6/14)</li> <li>・食の魅力発見商談会 (6/19・20)</li> </ul> <p>○衛生管理の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的衛生管理プログラム研修 (5/9)</li> <li>・県版 HACCP 勉強会 (5/10・11)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先との取引強化及び新規取引先の開拓 ⇒主要取引先との連携強化による取引量の増大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進</li> <li>・従業員教育の強化 ⇒県版 HACCP 第3ステージに基づく衛生管理手順の遵守 及び社員教育の継続的な実施</li> </ul>
<p>■No. 36 地域資源を活かした防災関連商品推進事業 (黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮町</li> <li>・(株)黒潮町缶詰製作所</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○売上高</p> <p>H26 実績 : 0.13 億円</p> <p>→H29 目標 : 97,632 千円 (実績 : 68,514 千円)</p> <p>→H30 目標 : 90,000 千円 →H31 目標 : 1 億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○売上高 (4~6月) : 30,471 千円 (前年同期比 169.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T シャツアート展出店 (5/3~6)</li> <li>・はだしマラソン出店 (5/3)</li> <li>・四万十うなぎひつまぶし 1万2千缶納品 (5月)</li> </ul> <p>○商品開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿毛産イワシを活用した商品 (自社)</li> <li>・岡山産カキを活用した商品 (OEM)</li> </ul> <p>○県内外での PR 販売・営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯防災総合展出店 (大阪) (6/7~8)</li> <li>・高知県食品表示研修会 (高知) (6/13)</li> <li>・FOMA セミナー参加 (東京) (6/14)</li> </ul> <p>○防災食品普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県栄養士ネットワーク参加 (四万十市) (6/24)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP の取得に向けた取組の強化 (他商品) ⇒継続的な社員教育の実施</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外への販売促進強化 ⇒備蓄用、グルメごとにターゲットを絞った販路開拓</li> <li>・地域資源を活用した商品開発 ⇒地域内の事業者との連携強化</li> </ul>
<p>■No. 37 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト（幡多地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）幡多広域観光協議会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト、土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入込客数（1～12月） H26実績：1,274,622人 →H29目標：1,296,000人（実績：1,193,000人） →H30目標：1,296,000人 →H31目標：1,296,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>教育旅行受入（4～5月）：5校、381人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品造成・販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土佐の観光創生塾」への参加</li> </ul> </li> <li>○誘客促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般旅行：高知県観光説明会（5/17福岡、5/29名古屋、6/27広島、6/28岡山） 維新博商談会（高知・4/18） 〃 モニターツアー（4/19～20） 旅行会社視察受入（5/22～23）</li> <li>・教育旅行：教育旅行セールス（6/18～19） 訪日教育旅行現地説明会（台湾・6/20～22）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊観光につなげる旅行商品づくり ⇒「土佐の観光創生塾」の参加関係団体等と連携した周遊観光商品づくり</li> <li>・誘致促進に向けた取組 ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 ⇒愛媛県南予地域と連携したPR活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進PRの展開</li> <li>・関係団体と連携した組織強化 ⇒多様な関係者と連携し、日本版DMO候補法人登録を活かした観光地づくり</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 38 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト (幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社) 幡多広域観光協議会</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入込客数 H26 実績：4,600 人 →H29 目標：11,000 人(実績：11,821 人) →H30 目標：12,800 人 →H31 目標：8,470 人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入込客数：(4～7月) 2,556 人</li> <li>○地域の受入体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入関係者勉強会(弁当関係 5/30、宿泊関係 6/28)</li> </ul> </li> <li>○広域連携による取組の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮町スポーツツーリズム推進会議(4/17)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工芝も含めた施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進</li> <li>・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制の充実 ⇒受入体制充実に向けた各市町村との連携強化</li> <li>・観光コンベンションや各種競技団体など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続</li> <li>・地域の受入体制づくり ⇒新たな集落活動センターとの連携</li> </ul>
<p>■No. 40 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水市</li> <li>・(一社) 土佐清水市観光協会</li> <li>・NPO 竜串観光振興会</li> <li>・竜串自然再生協議会</li> </ul>	<p>[目標]</p> <p>(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入込客数(1～12月) H26 実績：9.5 万人 →H29 目標：106,250 人(実績：94,539 人) →H30 目標：11 万人 →H31 目標：12.5 万人</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○竜串地域の観光クラスター形成に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・竜串海洋観光クラスター協議会(4/9、5/9、7/4)</li> </ul> </li> <li>○竜串地域との連携体制づくり(協議会等で協議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社用竜串観光案内パンフレットの作成</li> <li>・体験型観光プログラムづくり</li> <li>・各種ツアー、イベントの受入</li> <li>・竜串再開発に関する行政連絡会(6/4)</li> </ul> </li> <li>○スノーピークを核としたアウトドア施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・爪白キャンプ場整備(建築工事)工事着手(7月～)</li> <li>・県観光拠点等整備事業費補助金を活用した県内外キャンプ場でのPR</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(9月～、4か所(大分2か所、新潟、越知町)で実施予定)</p> <p>モニターツアー及びジオガイド養成</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制構築 ⇒定期的な地元説明会の開催による情報提供 ⇒イベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり</li> <li>・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成(土佐の観光創生塾の活用等) ⇒地域住民を巻き込んだ体験型プログラムの造成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成</li> </ul>
<p>■No. 42 土佐清水ジオパーク推進事業 (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水市</li> <li>・土佐清水ジオパーク推進協議会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>(土佐清水市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ジオパークガイド登録者数(3月末時点) H26実績:0人 →H29目標:20人(実績:21人) →H30目標:25人 →H31目標:30人</li> <li>○ジオツアー年間参加者数 H26実績:0人 →H29目標:360人(実績:134人) →H30目標:500人 →H31目標:1,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進協議会総会(4/6)の開催</li> <li>・日本ジオパーク新規加盟申請プレゼンテーション(5/19) →1次審査通過→現地調査(7/11～13)</li> <li>・関係機関打ち合わせ(5/24)</li> <li>・協議会役員会(5/31)</li> <li>・協議会臨時総会(6/8)</li> <li>・総力戦会議(6/8、14、21、28)</li> <li>・模擬現地審査(7/5)</li> <li>・県観光拠点等整備事業費補助金申請(8月) モニターツアー及びジオガイド養成</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定に向けた取組 ⇒9/20に日本ジオパークネットワーク委員会で認定の可否が決定</li> <li>・推進体制の強化 ⇒継続した取組ができる体制の確立</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 47 集落活動センターによる地域の産業振興 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社) 三原村集落活動センターやまびこ</li> <li>・農事組合法人三原やまびこ</li> </ul>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 <ul style="list-style-type: none"> <li>H28 実績：6,350 千円</li> <li>→H29 目標：－ (実績：20,775 千円)</li> <li>→H30 目標：20,000 千円 →H31 目標：21,000 千円</li> </ul> </li> <li>○体験プログラム利用者数 (4～3月) <ul style="list-style-type: none"> <li>H28 実績：0 人</li> <li>→H29 目標：－</li> <li>→H30 目標：0 人→H31 目標：50 人</li> </ul> </li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○売上高 (4～6月)：4,177 千円 (前年実績なし)</li> <li>○体験プログラム利用者数：0 名 (前年実績なし)</li> <li>○販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商人塾短期集中セミナーin 幡多の受講 (若手職員 1 名)</li> <li>・土佐 MBA 商人塾参加 (第 1 回、第 2 回)</li> <li>・酒類販売免許申請準備</li> <li>・三原村特産品フェアの開催 (7/14, 15)</li> </ul> </li> <li>○交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光部会立ち上げ (4/1)</li> <li>・土佐の観光創生塾 (基礎編) 参加 (6/20、7/18)</li> <li>・農泊作業部会及び農泊推進協議会への参加</li> <li>・先進地視察 (越知町&amp;佐川町 (6/20))</li> <li>・移住者交流会の開催 (6/24)</li> <li>・村内イベントの開催 (ビアホール (7/21))</li> </ul> </li> <li>○1次産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ししとうの収穫開始 (5月～)</li> <li>・食味計導入の準備</li> <li>・おいしい米づくりの試験栽培の開始 (4月～)</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営戦略の構築 ⇒土佐商人塾への参加、村内各事業者との連携、カフェの継続的な運営体制づくり</li> <li>・新商品の開発・販売 ⇒新たな村の特産品となり得る商品の開発・磨き上げ</li> <li>・体験プログラム利用者確保に向けた体験メニューの掘り起こし、人材 (ガイド等) の育成 ⇒土佐の観光創生塾への参加、観光部会での協議</li> </ul>

2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）  
該当なし

3 地域アクションプランの追加・修正・削除（予定）項目

[修正] ■No. 17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業（宿毛市）

（理由）衛生管理の強化および生産効率の向上に向けた施設の整備を計画に追加

■No. 18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）

（理由）新商品製造設備の整備を計画に追加

■No. 23 四万十牛の生産・販売拡大事業（四万十市）

（理由）販売店舗・加工施設の整備を計画に追加

■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業（黒潮町）

（理由）結晶ハウス整備及び関連施設の整備を計画に追加

4 県民参画に向けた取組

・幡多信用金庫との包括協定協議会で第 3 期計画 ver. 3 の説明（6/7）

・幡多信用金庫との情報共有会議（8/24）

5 相談案件：3 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/20	農業分野	米卸販売事業者から、地域アクションプラン加入に関する相談
2	5/28	農業分野	ファインバブルを活用した柑橘類の栽培について
3	6/7	水産加工	新たな魚種の加工品作りについての相談

## 修正項目(案)



### 【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業 《宿毛市》	昭和40年代から製造し、地元で愛されている「羊羹パン」など昭和レトロをコンセプトとした商品の販売を拡大し、全国に展開していくことで、独自ブランドを確立するとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。	・(有)菱田ペーカリー	アクションプランの取組開始:H28 ・産振総合補助金(ステップアップ事業)を活用し、首都圏駅ナカでテストマーケティングを実施(H28) ・県産業振興アドバイザー制度を活用し、マスメディアを活かした販売戦略について検討(H28) ・ものづくり競争力強化支援事業賞助成金(高知県産業振興センター)を活用し、プレハブ冷凍庫を導入(H28) ・県外出展等販促活動(H28~) ・新商品開発(H28~) ・県版HACCP第2ステージの認証取得(H29) ・従業員を対象としたHACCP講習会を開催(H29)	・商品の認知度の向上 ・販路の拡大	◆販路拡大  ◆新商品の開発
修正前					





項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業 《宿毛市》	昭和40年代から製造し、地元で愛されている「羊羹パン」など昭和レトロをコンセプトとした商品の販売を拡大し、全国に展開していくことで、独自ブランドを確立するとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化を図る。	・(有)菱田ペーカリー	アクションプランの取組開始:H28 ・産振総合補助金(ステップアップ事業)を活用し、首都圏駅ナカでテストマーケティングを実施(H28) ・県産業振興アドバイザー制度を活用し、マスメディアを活かした販売戦略について検討(H28) ・ものづくり競争力強化支援事業賞助成金(高知県産業振興センター)を活用し、プレハブ冷凍庫を導入(H28) ・県外出展等販促活動(H28~) ・新商品開発(H28~) ・県版HACCP第2ステージの認証取得(H29) ・従業員を対象としたHACCP講習会を開催(H29)	・商品の認知度の向上 ・販路の拡大 ・生産体制及び衛生管理の強化	◆販路拡大  ◆新商品の開発
修正後					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大						売上高 (H28:3,000千円)	60,000千円
商談会等への参加、県外での店頭販売 自社サイトによるインターネット販売の開始・拡大							
新商品の開発 アドバイザーの導入							
昭和レトロをコンセプトにした新商品の開発 羊羹パン等の商品改良							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大							60,000千円
商談会等への参加、県外での店頭販売 自社サイトによるインターネット販売の開始・拡大 衛生管理の強化および生産効率の向上に向けた施設整備の検討							
新商品の開発 アドバイザーの導入							
昭和レトロをコンセプトにした新商品の開発 羊羹パン等の商品改良							
					施設整備		

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト 《土佐清水市》</p> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正前</p>	<p>土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売促進を一体的に取り組み連携体制を構築することで地産地消外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。</p>	<p>・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 【土佐食(株)】 ・水産物処理加工施設用機器導入(H22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、機器等を導入したことで、ペットフード安全法改正に適応でき、かつ新商品開発も可能となった。 ◆H25～26実績で、原魚取扱量(3,500t)及び売上高(16.8億円)ともにH27目標値を上回っており、雇用についても197人と、H27目標値をほぼ達成し、地域の産業振興に大きく貢献している。 ・食品部門の販路販売拡大のための、アジア圏をターゲットとした市場調査 ・道の駅「めじかの里土佐清水」の指定管理者(H26.7.1～H29.3.31)となり、H26.7.19にリニューアルオープン。  【(株)土佐清水元気プロジェクト】 ・集出荷システムの構築及び関連施設整備(H21) ◆H21産業振興総合補助金を活用し、農産物の集出荷システムを構築。農業者の所得向上や、水産物の冷凍事業により漁業者の所得向上にもつながっている。 ・特産品開発及び流通販売システムの構築(H21～) ◆約30種類の商品を販売。H25には『土佐の清水さば漁師漬け』が、H27には『宗田だし小夏ノンオイルドレッシング』が展示会等で評価を受けるなど、宗田節関連商品が順調に売上が伸びている。 ・OEM生産事業の取組(H24～) ◆高知県産業振興センター所管助成事業を活用し、体制づくり及び商品開発。OEM生産が地域貢献(地域内事業者の商品開発・販路拡大の手助け)につながっている。 ・一次加工体制の構築(H26～) ◆県漁協が整備した一次加工施設の運営を開始。未利用資源・低価格魚を冷凍事業との連携(既存施設の有効活用)により、一次加工品として販売し、売上増、雇用創出につながっている。  【宗田節をもっと知ってもらいたい委員会】 ・宗田節PRの推進組織「宗田節をもっと知ってもらいたい委員会」設立(H22) ◆積極的なPRにより、宗田節の認知度が一定向上した。 ・一般消費者向け宗田節新製品を開発(H23～24:7商品開発) ◆継続した商談会への参加により売上が順調に推移している。(新商品売上高 H24:8,870千円→H25:18,360千円→H26:24,950千円)  【土佐清水ホールディングス(株)】 ・土佐清水メジカプロジェクト推進協議会の設立(H29)</p>	<p>・土佐清水全体でのメジカ関連産業の事業化に向けた仕組みづくり  【土佐食(株)】 ・ペットフード以外の商品販売促進  ・施設の老朽化対策  【(株)土佐清水元気プロジェクト】 ・原料の確保及び生産効率の向上(生産量の拡大)  ・OEM生産事業、一次加工事業の強化  ・売れ筋商品の販売拡大  ・流通販売システムの強化と受入態勢の構築  【宗田節をもっと知ってもらいたい委員会】 ・宗田節のさらなる認知度の向上</p>	<p>◆経営戦略の策定 【土佐清水ホールディングス(株)】</p> <p>◆商品開発及び販促活動</p> <p>◆水産物処理加工関連施設等整備 【(株)土佐清水元気プロジェクト】</p> <p>◆農産物等処理加工関連施設等整備</p> <p>◆新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化</p> <p>◆販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化</p> <p>◆宗田節のPR活動、ブランド化の推進 【宗田節をもっと知ってもらいたい委員会】</p>



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
経営戦略の策定				→	販売額 (H22:14.78億円) (H26:17.92億円)	25億円
経営戦略策定に向けた経営資源の選択、戦略の策定及び見直し						
商品開発及び販促活動				→		
商品開発、販促活動(各種商談会等への参加。土佐食糧、榑土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による商品PR及び営業活動など)						
商品開発に必要な施設整備の検討・実施						
水産物処理加工関連施設等整備				→		
水産物処理加工関連施設及び機器導入の検討・実施						
農産物等処理加工関連施設等整備				→		
必要施設の整備検討・実施						
新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化				→		
商品開発、ブランド登録など						
商品開発に必要な施設整備の検討・実施						
OEM生産事業・一次加工事業の販路開拓・販売促進						
販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化				→		
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外見本市や各種商談会等への参加、商品PR及び営業活動など</li> <li>県アンテナショップ等を活用したマーケティング調査など</li> <li>土佐食糧、榑土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市と連携した販売促進</li> <li>提携業者との連携による経営戦略の検討</li> </ul>						
流通販売システムの強化及び受入態勢の構築						
宗田節のPR活動、ブランド化の推進				→		
食育活動や外商活動の継続した実施						
土佐食糧、榑土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による県内外への宗田節PR活動の展開、プロモーション活動との連携						



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト</p> <p>《土佐清水市》</p> <p>※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)</p>	<p>土佐清水市の主要な産業の一つであるメジカ関連産業を核として、原材料の確保から加工食品の製造、販売促進を一体的に取り組む連携体制を構築することで地産地消外商を強化し、雇用の創出と地域経済の活性化を図る。</p>	<p>・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 【土佐食(株)】 ・水産物処理加工施設用機器導入(H22) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、機器等を導入したことで、ペットフード安全法改正に適應でき、かつ新商品開発も可能となった。 ◆H25～26実績で、原魚取扱量(3,500t)及び売上高(16.8億円)ともにH27目標値を上回っており、雇用についても197人と、H27目標値をほぼ達成し、地域の産業振興に大きく貢献している。 ・食品部門の販路販売拡大のための、アジア圏をターゲットとした市場調査 ・道の駅「めじかの里土佐清水」の指定管理者(H26.7.1～H29.3.31)となり、H26.7.19にリニューアルオープン。  【(株)土佐清水元気プロジェクト】 ・集出荷システムの構築及び関連施設整備(H21) ◆H21産業振興総合補助金を活用し、農産物の集出荷システムを構築。農業者の所得向上や、水産物の冷凍事業により漁業者の所得向上にもつながっている。 ・特産品開発及び流通販売システムの構築(H21～) ◆約30種類の商品を販売。H25には『土佐の清水さば漁師漬け』が、H27には『宗田だし小夏ノンオイルドレッシング』が展示会等で評価を受けるなど、宗田節関連商品が順調に売上を伸ばしている。 ・OEM生産事業の取組(H24～) ◆高知県産業振興センター所管助成事業を活用し、体制づくり及び商品開発。OEM生産が地域貢献(地域内事業者の商品開発・販路拡大の手助け)につながっている。 ・一次加工体制の構築(H26～) ◆県漁協が整備した一次加工施設の運営を開始。未利用資源・低価格魚を冷凍事業との連携(既存施設の有効活用)により、一次加工品として販売し、売上増、雇用創出につながっている。  【宗田節をもっと知ってもらいたい委員会】 ・宗田節PRの推進組織「宗田節をもっと知ってもらいたい委員会」設立(H22) ◆積極的なPRにより、宗田節の認知度が一定向上した。 ・一般消費者向け宗田節新製品を開発(H23～24:7商品開発) ◆継続した商談会への参加により売上が順調に推移している。(新商品売上高 H24:8,870千円→H25:18,360千円→H26:24,950千円)  【土佐清水ホールディングス(株)】 ・土佐清水メジカプロジェクト推進協議会の設立(H29)</p>	<p>・土佐清水全体でのメジカ関連産業の事業化に向けた仕組みづくり  【土佐食(株)】 ・ペットフード以外の商品販売促進  ・施設の老朽化対策  【(株)土佐清水元気プロジェクト】 ・原料の確保及び生産効率の向上(生産量の拡大)  ・OEM生産事業、一次加工事業の強化  ・売れ筋商品の販売拡大  ・流通販売システムの強化と受入態勢の構築  【宗田節をもっと知ってもらいたい委員会】 ・宗田節のさらなる認知度の向上</p>	<p>◆経営戦略の策定 【土佐清水ホールディングス(株)】</p> <p>◆商品開発及び販促活動</p> <p>◆水産物処理加工関連施設等整備 【(株)土佐清水元気プロジェクト】</p> <p>◆農産物等処理加工関連施設等整備</p> <p>◆新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化</p> <p>◆販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化</p> <p>◆宗田節のPR活動、ブランド化の推進 【宗田節をもっと知ってもらいたい委員会】</p>

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
経営戦略の策定					→	販売額 (H22:14.78億円) (H26:17.92億円)	25億円
経営戦略策定に向けた経営資源の選択、戦略の策定及び見直し							
商品開発及び販促活動					→		
商品開発、販促活動(各種商談会等への参加。土佐食糧、榑土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による商品PR及び営業活動など)							
商品開発に必要な施設整備の検討・実施					→		
水産物処理加工関連施設等整備							
水産物処理加工関連施設及び機器導入の検討・実施					→		
宗田節新商品製造設備整備計画の検討 施設整備							
農産物等処理加工関連施設等整備					→		
必要施設の整備検討・実施							
新たな特産品開発とOEM生産事業・一次加工事業の推進・強化					→		
商品開発、ブランド登録など							
商品開発に必要な施設整備の検討・実施					→		
OEM生産事業・一次加工事業の販路開拓・販売促進							
販売促進と流通システム構築に向けた取組の強化					→		
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外見本市や各種商談会等への参加、商品PR及び営業活動など</li> <li>県アンテナショップ等を活用したマーケティング調査など</li> <li>土佐食糧、榑土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市と連携した販売促進</li> <li>提携業者との連携による経営戦略の検討</li> </ul>							
流通販売システムの強化及び受入態勢の構築					→		
宗田節のPR活動、ブランド化の推進							
食育活動や外商活動の継続した実施					→		
土佐食糧、榑土佐清水元気プロジェクト、土佐清水市の連携による県内外への宗田節PR活動の展開、プロモーション活動との連携							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大及び新商品開発					売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
県内外への販促活動							
精肉店・飲食店の売上拡大							
商品開発							
原材料供給体制の強化					売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
生産量の拡大							
安定した生産の継続							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大及び新商品開発					売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
県内外への販促活動							
精肉店・飲食店の売上拡大							
商品開発							
		新販売店舗及び加工施設の整備計画検討		施設整備	売上高 (H26:131,446千円)	200,000千円	
原材料供給体制の強化							
生産量の拡大							
安定した生産の継続							





第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産施設の拡大					結晶ハウス整備	売上高 (H27:12,000千円)	23,000千円
製塩施設整備	結晶ハウス整備検討						
体験施設の整備					結晶ハウス整備 ・体験専用の結晶ハウス整備 ・雨天時対策及びバリアフリー化		
	体験施設の整備	体験施設の整備検討					
販路開拓・販売促進					各種商談会への参加		
	連携事業者との協働による商品開発						
パンフレット及びポスターの作成					ホームページの作成		
担い手対策					製塩作業を実践しながら人材(担い手)の育成		



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産施設の拡大					結晶ハウス及び関連施設整備	売上高 (H27:12,000千円)	23,000千円
製塩施設整備	結晶ハウス整備検討						
体験施設の整備					結晶ハウス整備 ・体験専用の結晶ハウス整備 ・雨天時対策及びバリアフリー化		
	体験施設の整備	体験施設の整備検討					
販路開拓・販売促進					各種商談会への参加		
	連携事業者との協働による商品開発						
パンフレット及びポスターの作成					ホームページの作成		
担い手対策					製塩作業を実践しながら人材(担い手)の育成		